

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

## The Diary of Hisakatsu Hijikata (Ⅲ)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土方, 久功 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15021/00000972">https://doi.org/10.15021/00000972</a>

## 第 I 部

# 土方久功日記Ⅲ



## 土方久功日記 第13冊

1929年4月16日～7月26日（昭和4年）

### 解説

この第13冊には、昭和4年（1929）4月16日から7月26日までが収められている。

冒頭は、前冊からの続きで、初めてのパラオ本島（バベルダオブ島）行きの事が書かれている。久功はこの旅で初めて南洋らしい南洋を味わった。短い旅ではあったが、久功には得たものは多かったと思われる。

本島の中では、ことに北端に近いガラルド、アコールの風景を大変気に入った。4月25日、アコールへ行ったときのことを、『日記』に次のように書いた。

一寸長イ禿山。スバラシイ禿山。アルミヅノ禿山ヨリモ、モットイイ禿山。赫土ノ道。タコノ木。照リツケル日。涼シイ風。山ヲ降りキルトアコールノ村ニツク。白砂ト椰子林ノ立派ナ海岸。オギワルヨリモ、マルキョクヨリモ立派ナ海岸。

久功は、後にも、しばしばアコールを訪れている。

パラオへ来てから丁度二か月経った5月19日、久功は、島民と同じものを食べる生活を始めることとなった。『日記』には、次のように書かれている。

夕方、隣リノ娘ニ、毎日町ニ買物ニ出ルノガ面倒ダカラ、君達ノタベルモノヲ毎日モッテ来テ貰ヘナイダローカ、ソシテ月ニイクラカオ金ヲ上ゲテモイイガ、ト云ッタラ、イイ、ト云フ。ソノママ忘レテタ飯ヲ早くニ済マセたら、暫クシテ娘ガタビオカト魚ノアブリ身トヲモッテ来テクレタノデ、オ腹モスイテ居ナカッタガ、又食ベタ。

これからコロールにいる時は、毎日、久功は、隣の娘（オバックルビールとディランゲルール）が持ってくる食べ物を食べることとなった。

その三日後、紹介状を持って、高崎病院長のところでドイツの民族学者クレーマーの本を見せてもらう。『日記』には、次のように記されている（5月22日）。

夕食後、原氏（海軍中佐）ノ紹介状ヲモッテ高崎氏（病院長）ヲ訪ネル。高崎氏ノ処デハ、ミクロネシヤニ関スルクレーマーノ本ヲ見セテ頂ク。スバラシイモノダ。無数ノ写真板ト其処ニ出テ居ル数々ノ珍ラシイモノトハ羨マシイモノダ。今デハ見ル事モ出来ナイ様ナ面白イ猫ヤ猿ノ彫刻ダノ、沢山ノ人形ヲツケタ大ランプダノ。日本ノ南洋庁デハ何ヲ持ッテ居ルカ、私ノ来カタハ確カニアンマリ遅過ギタ。日本ノ博物館ハモットスバシコク、セメテハ一通リノモノダケデモ今ノウチニ集メテ置カナクテハ、モウ既ニ既ニ何モアリヤシナイ。（括弧内は、引用者注）

久功が、熱心にパラオの民具等の収集を始めたのは、これが一つの契機になったと考えてよからう。

6月になると、念願かなって、南洋庁の嘱託に採用されることとなった。仕事の内容は、島内の学校所在地を2、3か月ずつ滞在し、木彫制作の講習をすることであった。伏田パラオ支庁長が久功にふさわしい仕事を考え、南洋庁の嘱託として採用することになったのである。しかし、辞令が6月21日付で出ていたにもかかわらず、久功の初出勤が24日であったこと等、いくつか不自然なところがある。『日記』からは知ることができない事情があったように思われる。

久功は、パラオで職を得るために、日本にいた時から盛んに就職活動を行っていて、やっと実現した。『日記』には、「例ノ仕事ラシイ、ヤッテ貰フトノ事、有難イ」と記している（6月15日）。3日後には、「支庁カラボーイガ来テ、明日支庁へ来ルヨウトノ事、有難イ、イヨ〜来タ。」と記している。翌日、パラオ支庁へ行き、仕事の内容も決めてきた。そして、晩には祝杯をあげた。

ともかくも、久功は、コロール、ガラルド、マルキョクを3か月ずつ、公学校の所在地をまわり、それらの地方に入りこんで調査をすることとなった（『わが青春のとき』、『著作集』第6巻、234頁）。6月29日から、コロールの公学校で、本科3年生、補習科1、2年生及び木工養成所生徒に講習をすることとなった。そして、7月5日からは、一般希望者の講習も開始し、多忙な日々を送ることとなった。

久功は、近くに住んでいた古老から話を聞いていたが、そのうちの一人モドロン爺さんについて、『日記』に、次のように書いている（6月25日）。

モドロン爺サンハ、若イ時三度迄戦争ニ出タ事ガアルト云フカラ、大分古イ。マダ、斯ウ云フ爺サンガ居ル間ハ、ポツ〜トデモ昔ノ様子ガ聞ケル。ト全時ニ、此ノ爺サン達ガ一人死ヌ度ニ古イパラオハ死ンデ行クノデ、遅クモ今年十年シテカラダッタラ、古イパラウヲ知ル事ハ殆ド不可能ニモナルダロウ。

久功は、古老達からの聞き取り調査が、急務であることを痛感し、さらに、それを行うのは自分しかいない、という義務感のようなものを感じていたのであろう。

〔表紙〕

〔13 千九百二十九年四月十六日ヨリ 全年七月二十六日迄

昭和4年 HISAKATSU. H.〕

〔表紙裏〕

〔drong 45

55

47

45

詩

59

37・・・・

25・・・・29〕

〔見返し〕 (  $\overset{ti}{\text{ト}}$  ) (  $\overset{tu}{\text{ウ}}$  )

タ	チ	ツ	テ	ト
$\overset{ga}{\text{ガ}}$	$\overset{gi}{\text{ギ}}$	$\overset{gu}{\text{グ}}$	$\overset{ge}{\text{ゲ}}$	$\overset{go}{\text{ゴ}}$

$\overset{nga}{\text{カ}}\triangle$	$\overset{ngi}{\text{キ}}\triangle$	$\overset{ngū}{\text{ク}}\triangle$	$\overset{nge}{\text{ケ}}\triangle$	$\overset{ngo}{\text{コ}}\triangle$
------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

ワ	ヰ	$\overset{(wu)}{\text{ウ}}$	エ	ヲ
---	---	----------------------------	---	---

ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
---	---	---	---	---

サ $\triangle$	シ $\triangle$	ス $\triangle$	セ $\triangle$	ソ $\triangle$
tha	thi	thū	the	tho
タ $\triangle$	チ $\triangle$	ツ $\triangle$	テ $\triangle$	ト $\triangle$

〔4月〕

十六日<sup>1)</sup>

八時半頃起キル。

何か味噌汁ニ入レル様ナ野菜ハナイカ

アリマセン

パパイヤノ実ヲツ取ッテ来イ。

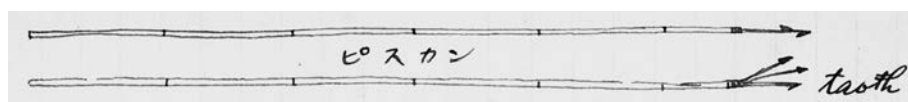
オコンレイガスルへト木ニ登ッテパパイヤヲ取ッテクル。十時過ギパパイヤノ味噌汁デ、朝食ト午食トヲ一緒ニ食ベル。

十一時半、佐久間氏<sup>2)</sup>ハ歩イテ一足先キニマルキ $\triangle$ ヨクニ向ハレル。私ハココカラ自分ノ荷物ダケ持ッテカヌーデ行ク事ニナル。カヌーハ村送リノ由。

一時ニナッテモカヌーノシラセガナイノデ、オコンレイヲ下ニヤッテ催促サセル。ガ、カヌーハアルガ、誰モイヤダト云ッテ行く人ガアリマセントノ事。ドウモ仕方ガナイ。今度ハ私ガ出テ行ッテルバクニ談判スル。二時ニナッテ、ヤットカヌーガ出ル。

十五六ノ子供ガ二人乗ッテ、前後デ棹ヲサシテ行ク。

ソロソロ引キカケタリーフ内ノ浅イ海ヲ、強イ日ニ照ラサレテ行ク。水ハ綺麗デ下ノ砂ハ真白ダ。真白イ砂ニ青黒イ藻ガ生ヘテ居ル。日ノ光ガキラ〜其ノ<sup>薄</sup>藻ト其ノ砂ヲ照リ出シテ居ル。其処ニ海ノ底ニカヌートカヌーヲ操ル<sup>島</sup>民ノ子供ノ影ガ、波ニユラ〜揺ラレテ居ル。リーフノ外ニハ白波ガ音ヲタテテ碎ケテ居ル。



ボラ、ボラ！ 前ノ子供ガ叫ブト共ニ、早くモピスカンヲ取ッテ、ピューット投ゲタ。当ラナイ。ガ子供ハ魚ガ居サヘスレバ、ビュービュー投ゲテ行ク……。

三時半ニヤットマルキ<sup>△</sup>ヨクニ着ク。ココ迄クルト、始メテ浜ヲシイ白浜ヲ見ル。真白ナ砂浜ニ椰子ノ林ガ続ク。

マングロープノ中ノ水道、水道ノ奥ノボートハウスト違ッテ、カヌーモ水際マデハ着カナイ。靴ヲ脱ギズボンヲ膝マデマクッテ、ジャボ〜渡ッテ浜ニ上ル。

椰子林ノ向フニ公学校ノ庭ガ続イテ居ル。佐久間氏ハ早く来テ居ラレ、潮ガダン〜引クノ<sup>心</sup>配シテ居ラレタ。デ直チニカヌーヲ出スヨウニ交渉シテ下サル。ヒビガイッテ<sup>テ</sup>ヨク〜水ノ漏ルカヌーヲ、椰子殻ノ繊維デ修繕シテ出発スル。四時<sup>□</sup>十分過ぎ。ココデ佐久間氏トオ別レスル。潮ガ悪イノデオキ<sup>△</sup>ワルノ浜マデカヌーヲモッテ行ク事ガ出来ナイデ、ズット手前ニ着イタノガ五時二十分過ぎ、一寸休ミ、新道ヲ二三分モ歩イテ村ニ入ル。

此ノ村ハ整然トシタ真直ナ道ノ両側ニ、二列ニズット家が立ち、豚ト鶏ガ多イノデ一寸変ッテ居ル。豚ノ仔ガキュー〜云ヒナガラ、<sup>□</sup>五六匹モ一緒ニナッテ走ッテ行クノナドハ、一寸面白イ。サイパンノ南ガラパンノカナカノ村ノヨウナ感じガスル。

六時二十分、佐久間氏カラノ紹介状ヲ持ッテ、丸本ト云フ樵夫サンノ所ヲ尋ネル。夕飯ヲ御馳走ニナリ、暫ラクブリデ布団、枕デ十一時前就寝。✓

## 二十九日

天長節。今朝方マデザン〜降ッタ雨ガ、カラット晴レテ気持ヨク暑イ。十時、町ノ景気デモ見ニプラット出ヨウトスルトコロヘ、杉浦大工サン<sup>3)</sup>ガ来テ十二時半迄話シコンデユク。午後一時半頃カラ出テ、昌南倶楽部<sup>4)</sup>ノ余興ヲノゾイテ見ル。モウ終リデ、模擬店ナドハスッカリ了ッテ居ル。最後ノ梅ノ春ノ踊ダケ見テ、佐久間氏ノ処ヘヨル。

晩八十時迄本寫メグリノ日記ヲツケテ、戸ヲシメテ今日コソ早寝ト思ッテ居ルトコロへ、杉浦大工サンガ平寫サンノ所ヘ行ッテ帰りダトテ、自分デ彫ッタ達磨トスケッチブックヲモッテ来ル。一生懸命ニ話シタリ聞イタリシテ、一人デ喜ンデー時半迄居ル。

毎晩ノオ客様デヤリキレナイガ、稚氣ト熱心トガアルダケニ、昨日ノオ客ノヨウニ無性ニイヤデモナイ。ニシテモ、相当相手ニクタビレル。

↘

### 十七日

朝食ハ鶏ヲツブシテパイヤト煮テケレル。此ノ鶏ヲツカマヘルノガ乱暴ナモノデ、寫民ガ吹矢打ツ。ウマイモノデ翼ニアタツテ、矢ガササツテ居ル。鶏ハ死ナナイデ逃ゲマハル。ソレヲ疲レキルマデ休マセズニ草ノ中、縁ノ下ト□逃ゲル先キ逃ゲル先キヲ追ヒマハシテ遂ニ捕ヘ、捕ヘタト思フト仇デモ捉ヘタ様ニ、竹ノ□棒デ頸ヲ四五回ブンナグツテ、ワケモナク、併シ酷ゴタラシク殺シテシマフ。

ア・パイ<sup>5)</sup>ヲ見ル。一寸面白イ絵モアツタガ、時間ガナカッタノデ写サナカッタ。十時、カヌーデ出発。<sup>〔欄外に記す〕</sup>〔ココモカヌーガツカナイノデ、浜マデノ間ヲ十七位ノ寫民ニオシブシテ渡シテ貰フ。〕十六七ノ子供ガ二人デ昨日ノ様ニ、ビスカンデ遊ビ〜十二時十五分カ<sup>△</sup>ラルドニ着ク。南貿<sup>6)</sup>ノ支店デサイダーヲ飲ンデー休ミシ、石道ヲ二十分程モ歩イテ、一時過ギガボクドニ入ル。佐久間氏カラ紹介ヲ頂イテ居タノデ、測量部<sup>〔丈夫〕</sup>ノ村山氏ヲ尋ネ、早速昼飯ヲ御馳走ニナル。カイシャルノ村長ノ家カラガサウデアツタガ、ココラアタリニハ不可解ナ新習ガアル。其レハ、寫民ガ自分達ノ小屋ガケノ側ニ、広縁ノツイタ日本建<sup>達</sup>□トタン屋根ノ立派？ナ家ヲタテテ居ルノダ。サテ、自分達ト来タラ申合ハセタ様ニ、決シテ此ノ立派ナ家ニハ住マハナイデ、相カハラズノ小サナキタナイ家ニ、何人デモセセコマシ□ク住ッテ居ル。マルデ使ヒモシナケレバ手入レモシナイ此ノ立派ナ家ハ、大概蟻カ蜂ガ巢ヲクフ様ニナツテ居ルノdeal。ダガ幸ナコトニ、斯ウイフ奇妙ナ新習ガ流行スルノデ、我々ハ何処ニ行ッテモ、寫民ト一緒ニ寝起スル様ナ事ガナクテスムノdeal。此ノ測量隊ノ陣モ斯ウシタ立派ナ日本建デ、テント張りノ炊事場ト椰子ノ葉ガケノ浴ミ場トヲ造ツテ、自炊生活ヲスル訳ダ。

村山サンガ大将デ、奥サンモ一緒ニ此ノ山奥迄来テ居ラレル、ソレカラ<sup>〔欄外に記す〕</sup>〔独身者ノ〕村上サント、土肥サント、川崎サン。村山サン達は、明後日此処ヲ引上ゲテアルコロンニ入ラレルソーナノデ、其後ハアカラップニデモ入ラウト思フ。デ三時頃カラ村山サン、土肥サント一緒ニアカラップノ村ニ行キ、<sup>〔欄外に記す〕</sup>〔コロールノ〕オバックカラノ紹介状ノアルマルクブノ処ヘ行ッテ見ル。マルクブ爺サンハカヤンカ<sup>△</sup>ルヘ行ッテ留守ダソーデ、三十四五才位ノセガレガ居タガ、日本語ガワカラナイ。<sup>達</sup>□幸ヒオバックノ一番小サイ弟ガ居タノデ、ヤット此ノ七八ツノ子供ニ通訳シテ貰フ。処ガ又、オバックノ手紙ハローマ字デ書イテアルガ、ローマ字ノワカルモノガ又居ナイノダ。デ私ガ此ノ意味モワカラナイ寫民



語ノ六カシイ発音ヲ、ローマ字ヲタドッテポツポツ読ンデヤル。ダガ不思議ナ事ニ、一々微笑ヲ以テウナヅイテ居タガ、完全ニワカッタト見エテ、大キクウナヅイテ向フノ方ヲ指シテ何か云フ。子供ガトリツグ——アノ家が奇麗デイイカラ何時デモ来テオ宿リナサイ。行ッテ見ルト、寫民風ノタコ屋根ノ家デハアルガ、御多聞ニモレヌ、「住マハナイ家」ト見エテ、中ハ奇麗ナ板敷キデ、埃コソアラウニシテモ、汚レ目一ツナイ。ココナラ結構泊レル。デ明後日カラ来ルカラト云ッテクル。ソコヘウドイガ丁度コロールカラ帰ッテ来タノデ、今一度話ヲシテ置ク。

ソレカラ三人デ浜ニ降り、白砂ヲカキマハシテ貝ヲトル。シジミノ様ナ小サナ青イボカシノ入ッタ貝ガ幾ラデモアル。三十分バカリノ間ニ、バスケニー一杯トッテカボクドヘ帰ル。入浴、サッキトッテ来タ貝ノ汁ノ夕食。今迄トチガッテ、若イ人達バカリ沢山ノデ賑ヤカナ夜、其ノ上此ノイナカデ蓄音機ヲ聞カウトハ思ハナカッタ。ソレモトウロイメライダ、ヴィクターノレコードダ、コロンビアノレコードダ。十一時半就寝。

#### 十八日

ブラへシテシマフ。

午後一時頃ヨリ、昨日村長会議カラ帰ッタ村長ノ報告演舌ガ、前ノアバイノ石畳デアル。一寸昼寝。三時半頃ウリマンマデ出テ行ッテ、<sup>〔新音〕</sup>金井氏ヲオ尋ネスル。

#### 十九日

今日ハ□測量ノ一行ガアルコロンニ引越ス日ダ。一緒ニ行カナイカト誘ハレテ其ノ気ニナル。一ツニハ、マルクブノ所ニハ日本語ノワカルモノガナイノデ、チト心細イ為、一ツニハ、ガラルド迄ハ、又出直シテモ来ラレルガ、アルコロンハ一人デハ一寸行ク機会ガナサソーニ思ヘタノデ、此ノ機会ニトツパナ迄行ッテ了フ気ニナッタ。

朝ノウチニ荷物ヲカタヅケ、十時ニハ人夫達ニ西海岸ノアバイニ持タセテ出シテシマフ。十二時頃、皆デ出カケル。潮ハマダ一寸満チソーニナイノデ、ア・バイデ弁当ヲ食ベテシマッテ、ゴロへシテ待ッテ居ル。皆ハ麻雀ヲ出シテ遊ンデ居ル。三時十分過ギセイリングボートデ出発。五時ニハマカ<sup>△</sup>ンランノ村ニ入ル。例ノ寫民ノ「住マハナイ家」。

<sup>〔欄外に記す〕</sup>

[alchorn 寫民ハアル・オルント発音スル。Nger holong Ngerehelong]

#### 二十日

アバイヲ見、東ノ方ノ禿山、植エツケタラシイ少シバカリノ椰子ト、斑ラナ蜻ノ木ノ外ニハ草ダケシカ生ヘテ居ナイ禿山ニ行ッテ見ル。ココカラ見ルト、コノ小サナ半島ノハナ迄見エル。

〔欄外に記す〕ウ  
〔カ<sup>△</sup>ツメル〕

午後二時カラガツメル迄行クツモリデ——「伝説ノ石」ヲ誰モ知ラナイノデ、ガツメルニチャムロガ居ルト聞キ、今ノチャムロハ最近ニ入ッテ来タモノダトハ聞イテ居タガ、兎モ角行ッテ見ル気ニナッタ——出タ処、道ヲ始メカラ取り違ヘテ、ガレール（グリール）ノ村ニ入ッテ終ッタ。

幸ヒ巡警ガ居タノデガツメルヘ行ク道ヲ尋ネタガ、驚イテ居テ駄目。後デ知ツタノデハ、海岸カラハ道ガ無イノダッタ。其ノ上、此ノ巡<sup>□</sup>警ハ日本語ガ解ラナイノデ、細カイ事ヲキク事ガ出来ナイノデ、カ<sup>△</sup>ルバオヘ行ク道ヲキイテ見ル。今度ハ巡警ガドンへ先ニ立ッテ案内スルカラツイテ行クト、側道ニ入ッテタ<sup>○</sup>ロ芋<sup>○</sup>□ノ田道ヲウネへトユク。成ル程、之レデハ説明出来ナイ。暫ラク行ッテ草ノ茂ッタ坂道ヲ登ルト石畳ノ道ニ出、直グニ大キナ石畳ノ道ニブツカル。ブツカッタ所ニ休台ガ出来テ居ル。巡警ハ何カベチャクチャ言ッテ帽子ヲ脱イデ、サッサト其ノ台ニ腰ヲカケル。私モ休ムンダナト思ッテ腰カケル。直キニ右手ノ方カラ二人ノ若イモノガ通りカカルト、巡警ハソレヲツカマヘテ通訳サセタ。ダガ此ノ若者トテ日本語ガワカル事甚ダカスカダッタノデ——ダガ兎モ角モ話ハ出来タ。『ガツメルハ遠クテ逆モ行カレナイ。□□□□<sup>右ヘ行ケバ</sup>別ニアテモナクテ歩イテ居ルナラ、此ノ辺ヲ少シ歩イテ帰ッタライイダロウ。』『ソコデ右ヘ行ケバ何処ニ行クカ。』『カ<sup>△</sup>ルバオ。』『左ニ行ケバ何処ヘ行クカ』『マガンラン。』『マガンランダッテ？』『ソウデス、アナタハ大変ナ廻リ道ヲシテ此处ニ□来タノダ。』『何処カ此ノ辺ニ何カ見ルヨウナ□□□所ガアルカ。』『別ニアリマセン、私ハイソガシイカラ是レデ帰リマス、少シ歩イテ帰ッタライイデセウ。今朝オ皿ヲ持ッテ来テクレト云ハレタノハ、アナタダロウ？』サウダ私ハ今朝、村山サンニ頼ンデ、型ノ違ッタ古イ木ノ皿ヲ二ツ三ツ見ツケテ貰フヨウニ云ッテ置イタノダッタ。『モウ二枚見ツケタカラ、後デモッテ行キマス』『ア、有難ウ』

ソコデ私ハ右ノ方ニ歩イテ行ク。ガツメルハ方角違ヒダッタト聞イテハ元氣ガナクナル。私ハブラへ石畳ノ道ヲ歩イテ行ク。直グ村ニ入ル。『此ノ村ハ何ト云フ村カ』『アイブク<sup>△</sup>』、芭蕉ニ取りマカレタアバイガアル。入ッテ見ル。石畳ノ道ヲドンへ先キニ行ク。左手ニ一寸這入ッタ所ニアバイ。石段ヲオリルト波止場。ポートハウストアバイ。『此处ハ何テ云フ処ダ』『知ラナイ』手ヲ振ッテ居ル。『アンクレル、テアンブルウ？』『テアン・ブルウ？ ガルバオ』、此处ガガルバオノ波止場ダッタ。石積ミデ囲ッタ舟ツケ場ノ中ニマングローブガ少シバカリ生ヘテ居ル。石積ミノコチラニハ、椰子ガ高ク葉ヲ広ゲテ居ル。一寸趣ノアル眺メダ。

帰り、タロ芋田圃ノ側ノ留<sup>〔溜〕</sup>水デ婆サン水浴。

五時過ぎ帰ッテクル。

月ガ明ルイ。梟ガ盛ニナク。✓

三十日

雨ヒドク降ツタリ、止ンデ照ツタリ。

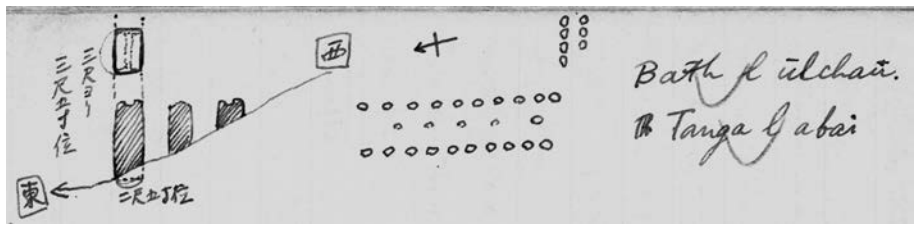
昼前、支庁長<sup>7)</sup> 訪問。話し遠シ。

夕方、高松氏ノ処迄行ツタガ留守、病院ニユキ、三浦君ノ処デ暫ラク話シテクル。夜、浜武クン来。

二十一日 日曜日

今日ハ川崎サントセイリングボートデ、コロールニ帰ル日ダ。曇ッテ居ルガ、結句涼シクテイイカモ知レナイ。伝説ノ石——巨石遺跡<sup>8)</sup>ハ此ノマカ<sup>△</sup>ンランカラ三十分モアレバ行カレルト聞イタノデ、村山サント二人デ写真器<sup>(機)</sup>ヲモッテ出カケル。マカ<sup>△</sup>ンランカラ北ノ方ニ出ルト、例ノ通りノ禿山ガアル。此ノ禿山ノ東寄りノ中腹ニ伝説ノ石ハアツタ。寫民達ハ之ニツイテハ何モ知ラナイ。ソシテ寫民達ニトッテ知ラナイモノ、解ラナイモノハ、総テ神様ノ仕業ナノダ。少ナクトモ今ノ寫民ニハ之レダケノ大キナ石ヲ——此ノ辺ニハコンナ岩ノ露出シテ居ル所ハナイヨウダカラ、下カラ運ンダモノニ違ヒナイ——相手ニスルダケノ元氣モナケレバ、就中、信仰——ソウダ確カニ、謂有不便ト、謂有労力トヲ賭ケネバナラナイ斯ンナ仕事、然モ局外者ニハ無意味トシカ見えナイ斯ンナ仕事ハ、宗教的ナ信心ガナクテハ決シテ出来ルモノデハナイ——モナイ。寫民達ハ、自分達ノ祖先ガ神デアッタ頃ノア・バイデアルト想像スル。ケレドモア・バイハ正シク東西ニ向ッテ居ルニ反シテ、之ハ殆ド南北ニ——多少東ニ振レテ居ル様ニ思フガ——向ッテ居ル。而テアバイガ正シク東西ニ向ッテ居ル事ガ、古イ信仰□ニモトヅク慣例、残物デアルトスレバ、此ノ遺跡ノ主人達ハ、多分今ノパラウノ人間デハナイデアロウ。

(欄外に記す)ニ行ツタ時  
[アコール□□□□ノ浜ヲアカラップノ方ヘヌケル海岸ノハツ□レマデ行クト、大キナ<sup>(岩)</sup>岸ガ露出シテ水ガ出テ居ルガ、其ノ岩ハ正シク巨石柱ノ石ノ或ルモノト全ク全質デアル。]



兎モ角、石柱ハ八角柱デ、□東西面二尺五寸位、南北面三尺ヨリ三尺五寸位（モット大キイカモ知レナイ）、高サハ山ノ中腹ニアル為、上図ノ様ニ一様デナイガ、下列ハ六七尺、中列ハ五尺五寸位、上列ハ四尺位ヒアル。倒レタリ、割レタリ、非常ニ荒廢シテ居ルガ、東西三□列、南北十本ヅツデアル。但シ中列八十本ハナイ、ドウモ色々ノ点カラ

之ハ始メカラ五六基シカ無カッタモノカト思ハレル。

柱ノ上部ニハ□南北ニ向ッテ大キナ溝ガアル。此ノ溝カラ溝ヘト梁ヲ渡シタモノラシイガ、其レラシイ石ガ全然ナイ所ヲ見ルト、梁カラ上ハ木材ヲデモ使用シタモノダロウ。東西三列ノ間ハ二間半位、総五六間。南北ハ外側三十間位ヒアルダロウ。

(欄外に記す)

[ Bañ l ūlchaū. □ Tanga l abai ]

此ノ一郭ノ外ニ北側ニ是ト直角ニ、ツマリ東西ニ全ジ石柱——但シ間隔狭ク丈低シ——ガ二列アリ、上部ノ溝モ全ジク東西ニ向ッテ居ル。

チニアンノ列柱ト何か直接関係ガアリハシナイカ、又ハボリネシヤノ石門、石鳥居、ト何処カデツナガルモノカ。タヒチノピラミッドトハ全然無関係ノモノカ。ダンダン考ヘテ行キタイガ、雲ヲツカム様デヨリドコロガナイ。

石質ハ全ク一様トハ云ヘナイ。下列ノ一本ナドハ、殆ド□完全ニ残ッテ居ルニ反シ、他ノモノハ、此ノ辺ノ事ダカラ石灰質ヲ多分ニ含ンデ居ルノダロウ、流水ニデモ浸ッテ居タ様ニ、流レ形ニ浸蝕サレテ居ルノモアル。

十時、川崎サント二人デー行ニサヨナラヲシテ、ガルパオニ出ル。潮ハマルデ□引イテ居ル。コレデハ舟ガ来ッコハナイ。ア・バイニ入ッテ休ンデ居ル。雨が降ッテクル。十二時ニナル。握飯ヲ食フ。潮ハ満チナイ。雨が小止ミニ止ム。又雨が来ル。風ガ出ル。潮ガポツポツ満チニ来ル。風ガ強クナル。雨が大きクナル。ボートハ来ナイ。僅カナ止ミ間ヲミテ寫民ノ家ニ引上ゲル。四時半頃。乾イタ菓子ノヨウナバナナ。川崎サンハ何トカトカ云ヒナガラ、十本程モ食ベテシマフ。米ヲ出シテ焚イテ貰ヒ、魚ヲ焼イテ貰フ。目ノ下八寸モアル大キナ魚ヲ一尾ヅツ。腸サヘトッテナイノダカラ、況シテ大キナ鱗ハ鱗ナリニ焦ゲテ光ッテ居ル。食フ。味ガナイ。六時。

七時ニハヒドイ雨ニナル。子供二人来テ珍ラシゲニシテ遠クニ居タガ、イツカ板ノ間ニ裸デ寝テシマフ。私達モアンペラ<sup>9)</sup>ノ上ニ横ニナッテウトウトスル。


九時、起キルト雨が止ンデ居ルノデ用便シヨウト思フ。私達ノ居ル所モ「住マハナイ家」ナノデ、側家マデ行ッテ、便所ガアルカト聞イテ見ル。「ナイ」。「海岸マデ行クノカ?」,「此ノ奥ノ何処デデモイイ。」私ハ懷中電灯ヲ灯シ灯シ、バナナ林ノ中ニ場所ヲ見ツケル。笑ッテハイケナイ。何処デデモイイトナルト、何処ニシヨウト思フモノダ。私ハヤリカケル。ト一陣ノ風ト共ニ又々ドット豪雨がヤッテクル。逃ゲル事モ出来ナイ。ピチヨ〜ニ□濡レテ帰ッテクル。十四ダト云フ女ノ子ガ、子供達ヲアンペラノ上ニ直シ、掛アンペラヲカケテヤル。(コノアンペラハ、タコノ葉デ編ンダモノデ、下ニ敷クノハ目ガ荒クテ——五分位——幅ガ狭イ。上ニ掛ケルノハ目ガ細クテ——二分位——幅ガ広い)ソシテソノ傍ニ自分ノヲ敷キ、毛布ヲ出シテ、聖書(アルファベットデ土語ヲ綴ッタ)ヲ読ミハジメル。此ノ子ヲツカマヘテ十一時頃マデ喋ッテ居ル。

外ハイヨ〜嵐ニナル。

## 二十二日

嵐。雨ガ止ムト帰り仕度ヲスルガ、チキニ又降り出ス。朝飯ハ米ト魚ヲ塩水デ煮タノト。此ノ魚ハ大変ウマカッタ。十二時、イラケツガ雨具ヲ二枚着テ迎ヘニクル。雨モ小サクナッテ居タノデ、濡<sup>レ</sup>透ッタ雨具ヲキテ、荷物ハ預ケタマママガンランヘ帰ル。道ニ二所、徑ニ尺カラアル古木ガ倒レテ居ル。椰子ノ葉ガチラカッテ居ル。パパイヤノ木ガ倒レテ居ル。青イマンゴーヤミカンガコロガッテ居ル。マガンランノ宿デモ、大キナレモンノ木ガ根コソギ倒レテ居ル。午食後、皆シテ所在ナク昼寝。雨ハ少ナクナッタガ、風ハ寧口烈シクナル。夜ハ遅クマデ喋ッテ居ル。

## 二十三日

嵐止ム。風マジリ、スコール三四回。朝、川崎サントガルパオ迄行ッテミル。村ノモノガ出テ、倒木ニ繩ヲツケテ引イテ居ル。エイヤ、エイヤ、 アエイ！アエイ！アエイ！ ボート所カ、影モ見エナイ。ガレール 〔欄外に記す〕 [Ngril] ノ方カラ帰り、アコールニ行ッテ見ルツモリダッタガ、スコールニ逢ッテ濡レテ了ヒ、私ハマガンランニ帰ッテクル。川崎サンハ一人デアアコールニ行ク。夕方帰ッテ来テノ話シ。ヤハリ二十一日ニ出テ、六時頃ガルパオマデ行ッタガ、嵐ニアッテ引カヘシ、嵐ノ為、舵ヲ流シ、コブラヲ流シ、胴腹三枚穴アケシ由。舵ハ拾ッタ。二十六日朝、修繕シテガルパオニ来ル由。

終日ブラ〜シテ了フ。

夕方、月ノ出ヨロシ。椰子ノ葉ノ間ニマダ光無ク、浮イタヨウナ月。  
〔欄外に記す〕 [荒<sup>ル</sup>レアトノ椰子ニタベヤ月大キク。]

## 二十四日

朝ガルパオ迄行ッテ、必要ナ荷物ダケトッテ来ル。昼寝。タイクツ。十五夜。

## 二十五日

快晴。朝カラ川崎サントアコールニ行ク。一寸長イ禿山。スバラシイ禿山。アルミヅノ禿山ヨリモ、モットイイ禿山。赭土ノ道。タコノ木<sup>10)</sup>。照リツケル日。涼シイ風。山ヲ降りキルトアコールノ村ニツク。アバイヲ見ナガラ休ミ、海岸ニ出ル。海岸ニ今一ツアバイ。白砂ト椰子林ノ立派ナ海岸。オギワルヨリモ、マルキョクヨリモ、ウリマンヨリモ立派ナ海岸。長イ海岸ヲ南ノハヅレマデ行ク。痛イヨウナ烈シイ反射。ヤドカリノ群。コブラニタカリ、死ンダ大蟹ニタカルオビタダシイヤドカリ。ウドイニ逢フ。

椰子林ノ中ニボートガアゲテアル。

罵民ガ椰子ノ実トパバイヤヲ持ッテ来テクレル。弁当ヲ食ベル。

暫クブラ〜シテ居ルト、罵民ガ今度ハ、ア・ブラック (タロ芋) ト煮魚ヲモッ

テ来て、椰子ノ実ヲ割ッテクレル。煮魚ハイツモキタナイガ、イツモウマイ。

川崎サンガ寫民トボートヲ繕テ居ル間、浜デ貝ヲ拾フ。其ノウチニアルコロシカラ舟ヲ直スモノガ来テボートヲ直ス。

五時頃ボートヲ海ニ出シテ帰途ニツク。

禿山ノ景色ヲ惜ミナガラ、六時マガンランニ帰ル。明日八時出発ノ筈。

晩、「カモメ」ノ艇長サン来。宿。村山サン達、高瀬貝ガ五月一日カラナノデ人夫出ズ、仕事ガ出来ナイノデ、明日八時「カモメ」ニテコロルニ引上ゲル筈。

## 二十六日

朝八時前、ガルバオノ波止場ニ出ル。八時十五分、ボートガ見エル。ホツスル。八時三十分、ボートガ岸ニツクト直グ乗リコミ、直グ出発。ガツメルノ先ヲマハツテ西海岸ニ出ル。風ヨク一直線ニ進ム。十一時弁当。一時半、ガラスマオノ□ボートニ逢フ。マオイガ乗ッテ居タノデ船ヲ寄セテ、私達ノ舟ニ乗セル。二時、アイミリーキノリーフニ□ボートヲツケル。マオイト子供ト二尺バカリノ□竹□篋ヲ作ッテリーフニ降り、暫クノ間ニ、シャコ貝ノ身ヲ十バカリト、大キナ魚ヲ二ツツテケル。

三十分バカリシテボートヲ出ス。風悪ク、西南端水道ヲヂグザグ始メル。マハリキルトコロルガ一目ニ見エルガ、見エテカラガ扱テナカヘ行キツカナイ。クカウトアブラクトアイラオトヲ寫民カラ貰ッテ食フ。六時丁度、潮ノ上ツタ南賢ノ波止場ニツク。

平寫サンノ所ニ荷物ヲオイテ、私ガ借リテオイタ家ニ来テ見ル。三浦君ハイナイデ鍵ガカカッテ居ル。平寫サンノ所ニ引キカヘシ水ヲ浴ビ、久々デ食卓ラシイタ食ヲ御馳走ニナル。

伊藤氏ヲ訪ネル。織本氏、スケマ氏、鳩ヲ食ベニ行クトテ出テシマフ。浜武クンガー一寸来ル。浜武君ハ、食卓ニ入ツタ由。三浦君ハ又病院ニ行ツタ由。

伊藤サンニ、ビールヲ飲ミニ行キマセンカト誘ヘバ、二人ガ鳩ヲ食ヒニ行ッテ居ルカラ行キマセウトノ事。何処デスカト云ヘバ、一寸上ツタ所。トノ事。一緒ニ出カケル。ツレラレテ行ツタノハ、パラオ館ダツタ。織本、スケマ氏等ハ既ニ、芸者ヲ相手ニイイ機嫌ニナツテ居ル。伊藤サント私ハ黙々トシテ鳩ヲ食ヒ、ビールヲ飲ム。十二時ニ帰ッテケル。三浦君ハ帰ッテ居ナイ、鍵ハアカナイ。隣リノ板ノ間ニ寝ル。

## 二十七日

末広ニ行ッテ朝飯、病院ニ行き、三浦君カラ鍵ヲ貰ッテケル。帰り、佐久間氏ノ所ノ前ヲ通ツタラ、村山サンノ奥サンガ見エタノデー一寸寄ル。

室ヲ開ケ、平寫サンノ所カラバスケットヲ取ッテ来ル。パンヲ買ッテ帰り、寫民ニ湯ヲ沸シテモラッテウーロン茶ヲ入レル。浜武クン来ル。川崎サンガ来ル。

夕方、高松氏訪問、留守。

七時ヨリ邦人会ニ音楽会ヲ聞キニユク。十時過ぎ帰ル。杉浦大工サン来。三浦君来。鳩打ち君来。

一時、三浦君、鳩打ち君帰ル。二時半、杉浦大工サン帰ル。

九時頃ヨリスコール二三回。遅ク月ヨシ。

## 二十八日 日曜日

六時半頃起キル。朝、高松氏訪問、留守。奥サント立話シテ帰ル。

島民ノ娘ニセンタク物ヲタノム。

昼過ぎ、平寫サンノ奥サンガサトシサンヲツレテ見エ、南キンヲモッテ来テ下サル。コレモ島民ノ所デ煮テ貰ッテ食ベル。

『夕方、島民達ガ例ノ如ク、シャレテゾロへ教会ニ行クノデ、前ノ通りヲブラへ歩いてミル。

椰子ノ葉ノ間カラ静カナ海ガ静カニ透イテ見エル。教会堂ノ中カラハ男女ノ声ガ交ルへ相問ヒ相答<sup>へル様ニ</sup>□□□□ヘテ居ル。夕ベノオ祈リト云フ感ジガスル。坂ノ下ノ方、檳榔樹<sup>11)</sup>ヤパパイヤノ木ノ向フカラハ、沖縄ノザイバノ音ガ下品ナ、併シ何処カ哀調ヲオビテポツンへ聞コエテ来ル。是レハ又、晴レタ日曜日ノ夕方ト云フ感ジトハマルデ別物ノヨウナ氣ガスル。

夜九時過ぎテ、浜武クンガ佐々木ト云フ人ヲツレテ来ル。十二時半マデノベツニ喋ッテ居ル。毎晩コンナニ、タワイモナイ話ヲ遅ク迄聞カサレテハタマラナイ。無遠慮ヲ通り越シテ氣持ガ悪クナル。

夜、雨ニナル。

ココニハタンクガナイノデ、私ハ朝バケツヲモッテ水ヲ汲ミニ行ク。家ノ裏カラタラへト草道ヲオリルト、二坪バカリノ浅イ水溜リガアッテ、水ガ<sup>湯</sup>□□湧イテキル。水ガ浅クテ下ガ泥ダカラ、上手ニクマナイト水ガニゴッテシマフ。

## 五月

### 一日

朝、驟雨二三回。止ンダノデ高松氏訪問。夕方、平島サンノ所ニ行キ、入浴。

夕方、驟雨二三回。

### 二日

バラへ雨一二回。



四日ニ入ル筈ノ近海丸ガ、急ニ今日入ル事ニナツタノデ、朝手紙ヲカイテ居タラ、十時頃杉浦大工サンガ来テ、二時半過ギマデ喋ッテユク。三時頃昼□飯、一寸買物ニ出、腹ガハツテ居ルノデ散歩シテ居タラ、学校ノ校庭ニ平寫サンガ居ラレタノデ、暫ラク立話シ。結局平寫サンノ処ニ上リ、皆デ南貿ノ波止場ニ釣りニユク。平寫サンガ五尾ツラレル間ニ、奥サント私トハ一尾モツレズ、暗クナツテ引カナイノデ引上げ、今トツタバカリノ魚デタ飯ヲ御馳走ニナル。帰ッテ来タラ、坂ノ上デ□又杉浦大工サンニ逢フ、一緒ニ来テ十二時十五分程過ギル迄喋ッテユク。

〔欄外に記す〕  
〔ペリリュウ口碑，太陽探シ。△<sub>音</sub>〕

●ペリリュウノ口碑。

昔、幾人カノ若者ガ集ッテ<sup>12)</sup>..... 話ヲシテ居タ。偶々夕刻ニナツテ真紅ナ太陽ガ水平線ニ落ちカカッタ。一人ノモノガ云ッタ。

『一体アノ太陽ハ、アアシテ毎日海ノ向フニ沈ンデゴザルガ、何処ヘオヂャッテ、又朝ニナルト東カラ出テ来ナサルノダロウ、皆サン』

ソレカラ若者達ハ各有ユル想像ヲ述ベアッタガ、結局ワカラナカッタ。ソコデー人ガ云ッタ。

『何ト皆サン、斯ウシテオ互ニ勝手ナ事ヲ考ヘテ居タトコロデ、ツマリハ、知ラナイモノハ解リハシナイ。ソレヨリモ、アノ西ニ西ニ行ク太陽ヲ追ヒカケテ行ッテミテハ何ウダロウ。ソウシタラキツト、太陽ガ何処ヘゴザルモノカ見ラレヌ事ハアルマイ』

ソコデ二人ノ人ガ二隻ノ舟デ、沈ミ行ク太陽ヲ追ヒカケル事ニナツタ。ダガ二人ノ舟ガ追ヒツカヌ中ニ、太陽ハ静カニ沈ンデ了ッテ夜ガ来タ。

其ノウチニ空模様ガ忽チ変ッテ来テ、墨ノ様ナ闇ニ嵐ガ来タ。

二人ノ舟ハ流サレテ流サレテ、遂ニ或ルーツノ寫ニ流レツイタ。二人ノ若者ハ疲レテ性□精モ根モナクナツテ居タ。二人ハ大変ニオ腹ガスイテ居タ。

ト、此ノ寫ニ二人ノ大変ナオ爺サンガ居タ。二人ノ若者ハオ爺サンニ云ッタ。

『私達ハ大変ニオ腹ガスイテ居リマス。何ゾ食ベルモノハナイデセウカ』

スルトオ爺サンハ二人ノ前ニ、小サナ器ニ少シバカリノ食物ヲ持ッテ来タ。若者ハ只一口ニソレヲ食ベテシマッタ。所ガフト器ヲ見ルト、前ト全ジ様ニ食物ガ入ッテ居タ。幾ラ食ベテモ器ニハイツモ新ラシイ食物ガ入ッテ居タ。

『何ウカオ爺サン、私達ニ水ヲ飲マシテ下サイ』

スルトオ爺サンハ又、小サナ器ニ奇麗ナ水ヲ一杯ヅ、持ッテ来テ、若者ノ前ニ置イタ。若者ガ一口ニソノ水ヲ飲ミホスト、器ノ中ニハ又元ノ様ニ水ガ入ッテ居タ。..... ソウシテ若者達ハ充分ニ食ベテ、充分ニ飲ム事が出来タ。

二人ハ驚イテ顔ヲ見合ハセタ。

ソコデ二人ハ、一人ヅツオ爺サンヲ自分達ノ舟ニ乗セテペリリュウニ帰ッテ来タ。



ガルキョックト云フ所デ、オ爺サンハ持ッテ居タ杖ヲ地ニ抛ゲタ。スルト其処ニ竹群ガ生ジタ（ペリリュウニハ竹ガ無い、今モガルキョックニ少シバカリ有ルダケダソーダ）



ペリリュウノ神話口碑ハ多く、此ノ二人ノ爺サント関係スルモノデ、現ニソノ一人ガ隠レタト云ハレル岩穴ガアリ、ガルコル（砂浜？）、ガシヤス等ノ村々ノ起原ニモ、此ノ二神カラ系統ヲ引ク様ナ口碑ガアルゾウダ。（杉浦談）

〔欄外に記す〕

〔オリツキ。Orikk Holik〕

ア・バイノ東西入口ノ梁ノ下面ニハ、普通蝙蝠（オリツキ）ノ絵<sup>13)</sup>ガカカレテ居ル。ソレハ、昔悪イ蝙蝠ガアツテ、ア・バイノ屋根ニトマッテアヲリ、□コハシタ。ソコデ神ガ此ノ蝙蝠ヲトリヒシギ、反対ニア・バイノ番者トナシタ。蝙蝠ハ丁度内地ノ鬼ニ当リ、此ノア・バイノオリツキハ、内地ノ鬼瓦ト其ノ謂レ其ノ効メラ、全く同ジクスルモノダソウダ。（杉浦談）

転ジテ此ノア・バイノ東西ノ梁ノ事ヲモオリツキト云フ。

〔欄外に記す〕

〔法螺貝、通信。〕

何処ノア・バイニモ法螺貝ガ必ず置イテアル。

始メテオバックカラ聞イタ説明ハ斯ウダツタ。他ノ村カラノ旅人ガ此ノア・バイニ宿ル。ア・バイニ着クト、旅人ハ此ノ法螺貝ヲ吹き鳴ラス。村長ガ是レヲ聞キツケルト、『何処カ他ノ村カラノオ客ガアル、行ッテ見ナサイ。某ノ□所カラ御馳走ヲ持タセテヤル様ニ、燈ガナケレバ燈モ持タセテヤル様ニ云ヒツケナサイ。』

斯ウシテ旅人ハ、村カラ村ヘ饗応ヲ受ケナガラ氣持ヨク旅シテ行ク……。

今日、杉浦君ノ話ニヨルト、モトハアノ法螺貝ノ吹き方ニヨツテ、一々ノ事ヲ村中ニ伝ヘタモノダソーデ、□年寄り達ノ中ニハ、今デモ色々ノ吹き方ヲ聞キワケルモノガアルソウダ。例ヘバ

大漁ダツタゾ皆来イ。

急ギノ相談ガアルカラ集レ。

ト云フ様ニ、幾ツカノ吹き方ガアツタ。現ニ杉浦君ガ知ッテ居ル事モアル。ソレハ前々ノアイバドルガ死ンダ時ダ。コロールノア・バイデ先ヅ盛ニ法螺貝ヲ吹イタ。スルト〔<sup>欄外に記す</sup>イブグルデモ〕アラカマイデモ続イテ吹き出ス。アラバケツニモ通ズル。次ノ村ガ遠イ時ハ、貝吹きハ次ノ村マデ聞ヘル様ナ山ノ上トカ村□境迄デモ出カケテ行ッテ吹ク。マダライカラ吹ケバ、アラカベサンニハ聞エル。本寫ニハスグニカヌーガ出ルガ、アイライ迄行ッテプープーヤレバ、ソレカラ先ハ全ジ順序デ忽チノウチニ、アルコロノトツパ

ナマデ通信が行ク。アルコロンカラカヤンガルニ舟ガ出ル。ト云フ<sup>嶽</sup>□風デ、アイバドルガ死ンデ二日ノウチニハ、此ノ今ヨリモ不便ダッタパラオ中、カヤンガルノ隅カラベリリュウノ奥マデ、誰一人アイバドルノ死ヲ知ラナイモノハナカッタソウダ。ソシテ集ル程ノモノハ、時ヲウツサズ各地各寫カラ食料其他ヲ持ッテ、ゾロヘト忽チノウチニコロルニ集ッタソウダ。

### 三日

雨ト云ッテモ、止ンダ時モアリ、夕方ハ日ガ照ッテ居タ。朝カラ午後ニカケテ二三回猛雨沛然ト云フ奴。一寸買物ニ出タキリデー日家ニ居タノデ、三時頃カラ一時間程散歩。四時過ぎ、伏田支庁長ノ所ヲオ訪ネシ、一時間程オ話シテ帰ル。道ニスケマ氏ニ逢フ。明日ノ近海<sup>(註)</sup>デ内地ニ一足先キニ帰ル由。

夜八時頃、川崎サンガ今出テ来タ処トテ来ラレ、是レモ一先ヅ明日ノ船デ内地ニ帰ラレル由。

[欄外に記す]  
[アリットモ Arittmo.]



カヌー用赤色塗料。アリットモノ実ノ厚イ皮ヲムキ、中ノ<sup>(欄外に記す)</sup>実 [栗ノ様ナ渋皮ニツツマレタ赤黒イ栗ノ様ナ肉。但シ、椿ノ様ナ実程油ギッテ居ル。] ヲ摺リヲロシ、水ヲ加ヘテ煮沸シ、粕ヲシボッテ了□ッテ、更ニ煮ツメテ適宜ナ濃度ノ油トスル。

此ノ油デ或種ノ赭土ヲトイテ塗料トスルノデアル。

又此ノ油ヲトッタ絞リ粕ニ石灰ヲ交ゼルト、立派ナパテガ出来ル。船等ノ隙ニヌリ込ミ、又ピスカンノ先ノククリ目ヲヌリカタメルニ用キ、軽クテ堅牢ナ□特徴ヲモッテ居ル。

[欄外に記す]  
[ガスパン日本人]

ガスパンニハ日本人ヲ□祖トスルト云フ口碑ガアル。或ル時一隻ノ舟ガ海岸ニ流レツイタ。ガ、マングローブノ為ニ舟ヲ岸マデツケル事ガ出来ナカッタ。スルト其ノ舟ノ人ハ、ソコニ生ヘテ居タ竹ニツカマルヤ否ヤ、飛び上ッテ陸ニ上ッタガ、見テ居タ者ノ後マデ勢アマッテ飛ンデ行ッタ。ソレハマルデ人間業デハナカッタ。

此ノ漂流者ハ日本人デアッタ。……………

ガスパンノ一番高イ山ノ頂、アノギザヘノ山頂ノ岩ニハ、日本字ガ刻マレテ居ルト云フ。(馬鹿ヘシイ様デモアルガ、他日山頂ニ行ク機会ガアッタラ、全然嘘デアルカ、何カノ間違ヒデアルカ別ルダロウ) <sup>(ママ)</sup>〔杉浦談〕

---

〔欄外に記す〕  
[アラカベサン討伐]

カヤンガルノ西ニガルワンガルト云フ寫ガアル<sup>14)</sup>。今デハカヤンガルノ何分ノ一シカナイ小サナ寫ダガ、ソレハ陥没シタ為デ、昔ハモット大キカッタ。此処カラ最初ノアイバドルハ出テ、コリヨルニ移リ住ンダノデアル。

アラカベサンハ昔ハ何処ヨリモ強大デアッタ。アイバドルハ何ウカシテアラカベサンヲ討ッテヤリ度イト思ッタガ、実力ニ於テ何トシテモ比ベモノニナラナイ事ヲ知ッテ居タ。アラバケツノ酋長ハ軍略ニタケタ人ダッタ。ソコデ、アイバドルハ意中ヲ語ッテアラバケツノ酋長ニ智ヲ<sup>借</sup>貸シカヲ合セテ呉レル様ニタノンダ。アラバケツノ酋長ガ之ニ応ジタ。ソレデダマシ討チノ計画ヲタテタ。アイバドルハ伴ッテ降参シ、貢ヲ致シ、事ニ託シテマダライカラアラカベサンニ渡ル陸橋ヲ架シタ。而シテ大宴ニ事ヨセ、其ノ用意ニカコツケテアラカベサンノ人々ヲ全部<sup>海ニ</sup>漁獵ニ誘ヒ出シタ。留守ニ乗ジテ残ッテ一隊ガ、陸橋カラ急ニアラカベサンニ攻メ入り、有ル程ノ家ヲ焼キ払ヒ、婦女ヲ全部捕虜トシテ引上ゲタ。

何ウダ降参スルカ、サモナケレバ婦女子ヲミナゴロシニシヨウカ。

斯ウシテアラカベサンハ遂ニコリヨルニ敗レタ。

アラカベサンノ人間ハ、今デモ此ノ不意討ヲ恨ンデ居ル。

(アラバケツノ村ハモト岩山ノ砂浜ニアッタノヲ、アラカベサン討伐ニ奇計ヲ貸シ、カヲ合セタ功ニヨッテ今ノアラバケツノ地ヲアイバドルカラ授ッテ、村ヲ挙ゲテ移リ住ンダノデアル。)

因ニアラカマライノ村民ハ、モトズット南方ノデンキス水道辺ノヤルコン寫ト云フ小サナ寫カラ、村ヲ挙ゲテ引移ッタモノデアル。(杉浦談)

〔欄外に記す〕  
[アラバケツノ人々ノ故郷ハワーラップシェーカル岩山ノ東岸、ガロンコルト云フ浜ダッタ。(八月十八日ノ記参照) Ulpsahal. Ulēpsáhal]

#### 四日

カラット晴レテ、暫ラクブリノ暑イ暑イ日。朝、グズグズ。昼寝。夜、村山サンノ所ヲ訪ネル。トコベイ人形ヲ一ツ貰ッテクル。オ風呂モ序ニ。

オガルヲアリツトモデ磨ク。トコベイ人形モ磨イテヤル。

夜雨アリ。雨止ンデ風アヤシク烈シクナル。十二時半就寝。

---

#### 椰子

ギラへト目ニ痛イマデ晴レタ

白砂ノ浜ニ

豊カニ打続ク椰子ノ林

ソレニモマシテ懐カシイノハ  
南ノ国ノ澄ンダ澄ンダ青空ニ浮ブ  
タッタ三本ノ□□遠イ椰子ノ樹ダ

檳榔樹

美シイ檳榔樹  
細クテ高クテ  
白イ雲ニカカル四五本ノ檳榔樹ハ  
何ウダ、椰子ヨリモ椰子ノ樹ミタイデハナイカ  
〔欄外に記す〕  
[a būiceh]

樹綿（カボック）

真蒼ナ空ノ高ミニ  
枯枝ニブルサガッタ<sup>カボック</sup>樹綿ノ実ノ□幾ツカ  
青イ実ノハヂケテ割レテ  
白イ綿ノハミダシテ居ルカナシサ

タマナ

コンモリト茂ッタタマナノ大樹  
焼ケタ楮土ノ道ニ疲レタ罵人ガ  
イツモ三人五人休ンデ居ル其ノ蔭  
〔欄外に記す〕  
[ptahas]

ウカール（ウカルル）

大キナ樹ダガ  
何テ優シイ葉ノサガリ方ダ  
ソヨ〜ト甘イ母ノ心ヲ知ル健全ナ女性ダ  
ウカールダ  
〔欄外に記す〕  
[Ukall]

---

紫オモト  
厚イ石畳ノ間ノ  
僅カナ土クレニ根ヲヲロシテ  
ハビコツテ、ハビコツテユク紫オモト  
烈シイ日ニ  
ヤケテ、ヤケテ美シイ紫オモト

---

□□オルメレラ・ウル<sup>15)</sup>  
草ノ中ニ  
ニエキラナイ色ニ、  
ズルソウニ蓋ヲアケテ居ル  
中指バカリノ<sup>アンオレラ・ウル</sup>□□□□□□□□オルメレル・ア・ウル  
ノゾイテ見ロ  
恐ロシイ深淵ニ  
青白イ地獄ノ底ニ  
因果ナ小蟲達ガ  
ウゴメイテキルヨ  
生きノ儘ニトロケテユクヨ  
〔<sup>〔欄外に記す]</sup>オルメレル・ア・ウル<sup>アンオレラ・ウル</sup>□□□□□□□□ハ、<sup>〔雨歎草〕</sup>雨降草トデモ云フベキカ。パラウニテ  
ハ、コレヲ摘メバ雨が降ルト云フ。〕

---

マンゴー<sup>16)</sup>  
隙間ナク茂リ  
黒イ迄コモリ  
岩ノヨウナ幹ニ支ヘラレテキルマンゴー  
青黒イ其ノ葉ノ茂リカラ  
鈴ナリニ垂レサガツテ ノゾイテキル  
勾玉ナリノ青イ実ノ数々  
ダガ知ラナイ人ガ見タラ  
誰ガコノ色沢ノナイ実ガ  
□皮一重中ニ黄金色ノ甘露ヲ隠シテ居ル  
真実ノ果実ノ王ト知ルダロウ

---

風ガ吹クト 風ガ吹クト<sup>17)</sup>  
椰子ノ葉ガザアザアト鳴ルヨ

一人居ル闇ノ夜ニソソナ音ヲ聞イテ居ルト――  
(アア、又モ部屋隅ニククククト鳴ク<sup>屋守</sup>□□守宮ダ)

幼イ時ニ覚エタ謂レナイ淋シサガ思ハレルヨ  
(アア、又モ又モ、ククククト啼ク<sup>屋守</sup>□□守宮ノ恋ダ)

#### 五日 日曜日

風ガアツテ涼シイ。朝二三回，晩一二次雨。

#### 六日

内地ノ夏ノ初メノヤウナ，重タイ日。朝スコールアリ，三時半頃カラ平寫サント釣ニ行ク。今日ハ竿デ釣ツタガ魚ガ小サクテ，ヨク食フガカラナイ。平寫サング二尾，私が三尾。魚ハ貰ツテ帰り煮テオク。

#### 七日

風アツテ涼シ。バラバラ雨一二次。  
晩一寸伊藤氏ヲ訪ネ，帰ツテカラ前ノ沖繩ノ大工サンノ所ニ行キ，チョンダラー其ノ他ニ就イテ聞カウト思ツタガ要領ヲ得ズ。  
十一時過ギテ沖繩大工サン来，十二時迄話シテユク

#### 八日

朝，平寫サント試験所ノ向ウニスケッチニ行ク。

---

今夜ハバナナノ葉ノ茂ミノ上ニ<sup>18)</sup>  
青白イ星ガイヤニチカへト目ダタイテキタ

ランプヲ消シタ闇ノ暗サ  
サッキカラ何度啼クヤモリノ声ダ

昼間見タトコベイ人形ノ貝ノ眼ノ光

ムキ出シタ猿ノ様ナ齒ナミヲ —

オアース虫メガ枕モトラ這ッテ居ルニチガヒナイ  
オアース虫メガ枕モトラ這ッテ居ルニチガヒナイ

---

今夜モ椰子ノ葉ガザワへト鳴ルヨ  
私ハ独リデ — 夜中ノ一時ダ  
独リデハナイ， トコベイノ土人々形ト差シ向ヒデ  
黙リコクッテ話ヲシテ居ル  
ランプノ光ニダマッテ突□立ッテキルトトコベイ人形ヨ  
ポツネント差シ向ッテキル私ヨ  
私ノ心ヨ， 嵐ノヨウニ静カナ思ヒヨ  
独リデ， 独リデ居ル遅イヨルガ  
椰子ノ葉ノザワへトナル夜ガ， 思ヒガ  
堪ヘイルバカリヒシへト， ヒシへト静カダヨ

---

アア， 美シイ夕焼ノ空ヨ  
何テ美シイ夕焼ノ空ノ色ヨ

ユフベ風ガ烈シカッタノデ  
痛々シク裂ケタバナナノ葉ニ

小サナ蝙蝠ガマメへシク飛ビヨ  
椰子ノ葉ガユレルヨ， バンノ葉ガユレルヨ

静カナ海ヲ見テ居ルト  
(遠ク夕暮ニ□□<sup>本島</sup>バベル・タオブ□□<sup>島</sup>寫ガ霞シデキル)  
蟲ノ声ガ， 蟲ノ声ガ， サビシイヨ  
楽ミトモ云ヒタイ， コレハホノカナ悲シサダヨ

九日

朝， 昨日ノ裏ノ方ニ行ッテ， ガルミツノ向ラスケッチシテ来ル。午後， 平寫サンガ誘ヒニ来ラレタノデ， 又行ク。床屋。夜， 平寫サンノ処ニバスヲ浴ビニ行ク。

## 十日

ブラブラシテ了フ。絵ヲ画イタリ、本ヲ読ンダリ。高瀬貝ノ時季ニナツテ、三十日ノ日カラアイミリキニ出カケテ行ツタ隣リノ畠民ノ娘達が帰ッテ来タノデ、今迄ノ静カサガ破ラレル。山城が来タ。早イモンダ。

---

木ト云フ木ノ種<sup>タネ</sup>モ芽生ヘナイ禿山  
 焼ケツクヨウナ緒土ノ禿山ニモ  
 何処ニデモ、何処迄デモ  
 マバラナリニ続イテキル蛸ノ樹  
 岩ノ様ナタマナヤマンゴーヨリモ  
 水々シイ<sup>相</sup>□想思樹ノ並木ヨリモ  
 涼シゲナ椰子ノ林ヨリモ  
 禿山ニ、焼ケル様ナ緒土ノ禿山ニ  
 瘦セテキルオ前、蛸ノ樹  
 殊ニハ只々オ前ニ飾ラレタ禿山  
 真昼間ノ緒土ノ禿山ハ  
 アア其処カラ見上ル大空ト共ニ  
 私ニトッテノ天国デアル  
 裸ノ私ニ  
 ソレコソハ、アケツパナシノ天国デアル！

## 十一日

今。朝ノ七時デ、朝ノパンヲ食ベタトコロダ。雨ガ降ッテ居ル。ショボ〜降ッテ、本寫ノ上ニサッキマデ見エテ居タ蒼空モナクナツテ、一面ノ灰色ニナツタ。イツ止ミソウニモナイ。止ンデクレナクテハ、私ハ昼食ベルモノヲ買ヒニ行カナケレバナラナイノダ。私ハココニ来テカラ自炊ヲ一層簡單ニシテ、パンヲ食ベル事ニシ、煮物ハ隣ノ畠民ノ処ノイロリデスル事ニシ、家デハ決シテ火ヲオコサナイ事ニシタ。私ハ朝、オ湯ヲワカシテウーロン茶ヲヤカシニ一杯コシラヘテオク。マル一日分。ソレカラ市場カラ芋トカ豆トカ茄子トカ、ソウ云フ安クテカサノアル——尤モココノ市場ニハ其以上ノモノトテハナイノダガ——モノヲ買ッテ来テ、隣リノ家デ煮ル事ニシタ。初メ三四日ハ、例ヘバ私ガ黙ッテヤカシヲサゲテ行クト、畠民ガ焚イテモッテ来テクレト云フ風ダツタ。ダガ皆ガ高瀬貝デ出テ行ッテ、婆サント小サナ子供ガノコル事ニナツテカラハ、私ハ私ノモノヲ、自分デ其ノイロリニ火ヲ焚イテ煮ル事ニシタ。婆サント私ハナカヨシダ。二人デ言葉ガワカラナイノデー言位ヒ言ッテハ、目ツキヤ手マネデ簡單ナ事ヲハナス。薪





ニ彫刻ヲヤル事ニシタ由。

### 十三日

昨夜、杉浦君ガ来テノ話ニ、ガラルドノ金井氏ガ出テ来ラレタ由ダッタノデ、朝訪ネヨウト思ッテ出テ行ツタ処、南貿ノ先デヒョッコリ出逢フ。コレカラガラルドニ帰ラレル由、オ話シシナガラ一緒ニ南貿ノ波止場マデ行□ク。

全ジ船デ先達アコールノ浜デ逢ツタチャモロガ行ツタ。其ノ娘ガ見送りニ来テ居タノヲツカマヘテ家ニツレテ来ル。絵ヲ見セタリ、オ茶ヲヤッタリ。娘ハチャモロニハ多イ雑種ノ雑種ト見エテ、髪モ眼モ薄イ茶色デ、肌ハ真白ダ。イツモ街ヲハダシデ歩イテ居ルガ、少シモヤケナイデ居ル。私ハタハムレニ「ハイエ ナアンモ」(アナタノ名ハ誰?)。ソシタラ<sup>冊</sup>□「シヅコ」ト云フノダソウダ。教会名ハ「フランチェスカ」。

午後雨ニナル。ヒョット思ヒ立ッテ、着物カラズボンカラ洗濯シタラ雨ニナッテ了ッテ、夕方迄止マナイ。一寸止ンダガ、夜ニナッテ又降ッテクル。

### 十四日

午睡一寸ノ後、三時過ギ高松氏ノ処ヲ訪ネ、郵便物ヲトッテ、村山氏ノ処ヲ訪ネル。

(欄外に記す)  
[受信 上原寿造氏、三沢寛、久顕]

村山サンノ所デ雨ニ逢ヒ、バスヲ御馳走ニナリ、夕飯ヲ御馳走ニナリ、——大変ナ御馳走デ、<sup>(朝)</sup>鰹ノオ差身ニオムレツニ魚ト里芋ノ煮コミニ、珍ラシイイクラノ上等ニ、鶉豆ト云フ近頃ニナイ御馳走ニナル。アルコロン、カボクドデ撮ッテモラッタ写真及ヤップ寫ノ種々ノ寫民ノ写真ヲ貰ッテ、雨ガマルデ止マナイノデ、傘ヲカリテ十時半ニオ暇シテ来ル。

三沢、近頃結婚スル由。

久顕ヨリノ手紙ニ、梅子御叔母様リヨウマチニテ苦マルル由、妙子クン<sup>19)</sup>、月足ラズニテ出産ノ由。

子供達、例ノ如ク皆シテ風邪引キネコナダ由。

久顕ハ医局ニ入り、毎日オ務メノ由。

### 十五日

昨日カラノ雨ガ今朝迄降ッテ居テ止ンダガ、晴レハシナイデ、雲ガ厚クテ妙ニ蒸シ〜シテ、頭ノ中ガスボンジノ様□ニナッテ了ッテ——三時過ギタ頃カラ、又々雨ニナッテ、夜ニナッテ止ンダガ、晴レハシナイデ、十時ニナッテ又々ドシャ降り。

### 十六日

雨止ンダガカラットセズ。夕方カラ晴レ、ダン〜月ヨクナル。但シ雲多ク夜十一時

半小雨。

夕方、平寫サンノ処ニバスニ入りニ行カウト思ッテ居ル処へ、杉浦大工サンガ来ル。一寸シテ平寫サンが見エテ、バスニ来ナイカト云ッテクレル。行クツモリダッタ処へ、又三浦君が来ル。九時頃ニナッテカラ、杉浦君トアイバドルノ処ヲ訪ネ、一時間半位話ヲ聞イテクル。オバックが来ル。十一時過ギ三浦君、オバック帰ル。

〔欄外に記す〕  
[アイバドルの話。(マラカルノモノニツイテハ七月二十一日ノ記ヲ見ヨ)]

アルコロン巨石列柱ニ関スル伝説ノ断片。

マラカル寫ニモ同ジ様ナモノノ、更ニ大キナモノガ□アル由。

暗黒時代—未ダ世界ガ「夜」ノ時代ニアルケルト云フ神ガ、此ノ巨大ナ家ヲ造リニカカッタ。

(何故カハ知ラナイガ) アルコロンノモノハ家ヲ造ルツモリデ造リニカカッタ。マラカルノモノハ食料ノ為ニ作りニカカッタ。処ガアオケルカバサルトイフ神ガアッテ、之ニ反对シタ。アオケルカバサルハ疾妬〔嫉妬〕ヲ感ジ、椰子ノ皮ニ火ヲツケテ□投ゲタ。スルト世ガ明ルク照ッテ「夜」ガ覺メテシマッタ。明ルクナッタノデ、アルケルハ仕事ヲ半バニシテ止メタ…………

〔欄外に記す〕  
[Uhel-Kebesadal]

其ノ昔、アリエルニモガシムト云フ悪イ神ガアッタ。マ<sup>ダライ</sup>□□□ラカルノモノハ、始メ<sup>マダライ</sup>□□□マラカルノ寫ゴトガリエルノ上一面ニ被ヒカブセテモガシムヲ封ジコメテ了フ計画ダッタノデアル。

〔欄外に記す〕  
[遺跡遺物。]

マダライノ向フノ岩山ニ牛ノ絵ガ刻マレテ居ル。アウロン島ノ洞穴ニハ、日ノ出ノ図其ノ他種々ノモノガ刻マレテ居ル。アウロンニハ、其他ニモ女ノ陰部ヲ刻ンダモノガアル。

アルミツノ洞穴<sup>20)</sup>ニハ、何か字ラシイモノガ刻マレテ居ル。アルモノグイノ山頂ノ岩ニモ何か刻ンデアル。是等ハ神様が書イタモノト伝ヘラレテ居ルガ、ドレモ高い絶壁ニアッテ近クマデ登ッテ行ッテ見ル事が出来ナイ。

〔欄外に記す〕  
[此ノアルミツ△ウト云フノハ、アラバケツノ向ヒノ岩山ノ、モーツ裏ニナッテ居ル岩山デ、アルミツノ部落トハチガフ。]

---

ドウモココノ寫民カラ、何か一ツ聞き出ス事ハ容易デナイ事が、ダン—ハッリ解ッテ来ル。例ヘバ今日ノアイバドルノ話ニシテモ、クダラナイ余計ナ事バカリ喋ッテ居テ、ナカ—ポイントニフレナイラシイ。

隣リノ娘達ニシタ処ガ、少シデモ興味ノナイ事ダツタラ、只知ラナイ、知ラナイ、出来ナイデオシトホスノダカラ、歌ヲ四ツ書イテモラフノニ、半日馬鹿ナ事ヲ云ヒ〜遊ンデヤラナケレバナラナイノダ。コレカラ又此ノ訳ヲ全部聞キ正スノニハ、一週間ハタツブリカカルダロウ。トテモ氣長ニカマヘナケレバ、ソシテ曲リナリニモパラウノ言葉ヲ話シ、理解シナケレバ駄目ダ。若イモノ達ハ、全ク何モ知ラナイノダカラ。年寄り達ハ全ク日本語ガワカラナイノダカラ。ソシテ若イモノ達ハ、少シデモ興味ノナイモノヲ、二時間モ三時間モ通訳シテハクレナイノダカラ。

## 十七日

雨が止マナイ。フンガイシタツテ雨ハ止マナイ。手紙<sup>(書)</sup>ヲ買イタリ、ブラ〜シタリ、昼寝ヲシタリ、買物ニ行ツタリ、マルデ雨が止ンダリ降ツタリスルヨウナ、氣マグレナ日ヲ過ゴス

---

珍ラシク三日モ降ツタ雨が<sup>21)</sup>  
消エルヨウニ止ン<sup>ダ</sup>□ [デイツタ] バカリ  
マダ雲モドカナイタベガ  
濡レテ濡レテ静カダヨ  
パバイヤノ下葉ガ、バナナノ広葉ガ  
濡レテ濡レテ垂レサガッタヨ  
クカウノ葉ニ銀ノ滴ガ光ッテ  
風モナイユフベラ動カウトモシナイ  
ダノニ早クモ鳴キ出シタ蟲達  
静カダヨ、寂シイヨ  
灰色ノ空ニ高イ  
裸ノカボック [(樹綿)] ハ悲シイヨ  
何処カテ土人ノ娘達が歌ッテキル  
蝙蝠ガ馬鹿ニ低ク飛ブコト  
佛桑華<sup>アラマル</sup>ノ紅イ花ガイヤニ黒ズンデルコト  
ユフベガ青ク青ク暮レテ行クヨ  
コノママ暮レルニシテハ  
アンマリヒソヒソト  
アンマリヒソヒソト  
ア、目<sup>マ</sup>ナジリニ溜ッテ落ちナイ  
涙ノヨウニ静カナ日暮ダヨ

---

静カナ夜<sup>22)</sup>

スコールガザット過ギテ

静カナヨル

椰子ノ葉ニ昼ノヨウナ月ガ照ッテキル

(ココ、南洋デハ月ガ本当ニ明ルイ)

土ニ落チタ椰子ノ葉ノ影

葉形モクヅレナイノデ地ニ敷イタ

青ムラサキノ底深イ影

(ソレハ見ナイ人ニハ決シテ想像ガ出来ナイ)

心<sup>シ</sup>ニ添ウテ二筋ニ通ッテ居ル優シイ光ハ

静カニ見ルモノノ心ヲ

遠イ過去ダロウカ、見届カナイ未来ダロウカ

翼ノ様ナ思ヒモ及ブコトノ出来ナイ

夢幻ノ境ヘトサラッテ行ッテ了フ.....

彼女ガ、アノ土人ノ娘ガ私ニ恋シテル?

イヤ、ソナ事ハナイダロウ

少クトモ彼女ハ

自分ガアウゲル・ベラウノ娘デアルコトヲ知ッテル位ヒニハ

自分達ガ日本人ト全ジデハナイコトヲ感ジテ居ルダロウ

ダガ本当ノ所

アノ娘ノ伏セタ目ガ

何ヲ考ヘ、何ヲモクロンデルノカハ

アノ女ノ心ダッテ知ラナイノカモシレナイ.....

静カナ夜ダ

(若シモ太陽ガ海ノ底カラ照ルモノダッタラ

ソシタラスンナニモ明ルクテ

コンナニモ静カナ光ガ

世界中ヲ神秘ノ中ニ包込ンデ了フカモシレナイ)

【欄外に記す】

[ 静 カナ夜ダ→→ ]

アノ巨人ノヨウナタマナノ蔭ニハ緑色ノトカゲガ眠ムッテ居ルダロウ

岩ノヨウナマンゴーノ茂ミニハ

大キナ蝙蝠ガ昔ノ悪心ヲ懐カシンデ居ルカモシレナイ……

〔欄外に記す〕  
〔食〕

十時頃ダツタカ、雨ガ止ンデ居タノデ、隣リノ罵民ノ処ニ行ツテ腰ヲカケルト、婆サンガ「イモヲ食ベルカ」ト云フ。「クカウカア・ブラックカ」「クカウ」。

「食ベル?」「ア」

ソシタラ西洋皿ノ上ニ大キナクカウヲニツ分位ヒモ、綺麗ニ皮ヲムイテ環切りニシテクレル。ソシテ、コップニナミナミトア・イラオトヲ添ヘテ。私ハコンナニハ食ヘナイト思ツタ。スルト傍デ□オバックルビルトディランゲルール<sup>23)</sup>トハ、タビオカノ巻キヲ出シテ、同ジ様ニア・イラオトヲツケテハ食ベハジメル。

ソレカラアariusモ。ariusハ例ノギザへノアル匙デコソイデ、アノ甘イヤツニ、又アイラオトヲカケテ食ベテ居ル。随分長イコト喋ツテ、本当ニ長イコトカカッテ、私ハイツノマニカクカウヲスツカリ食ベテシマウ。大キナパイヤノオミヤゲ。

## 十八日

朝六時ト云フニ、カンカント日ガ照ツテスバラシイ天気。村山サン達が、今日本寫ニ行カレルノデ、九時ニ南賀ノ波止場ニ行ツタ処、村山サント村上サントガボツント居テ、船ガ明日ニ延ビタ由。皆デ引上ゲテカヘル。

午後二時過ぎ、少シ曇ツテ来タガ、久頭ノ手紙ノ中ニ、原中佐カラ病院長へ紹介状ガアツタノデ、マダライ迄出カケテ行ク。病院長不在ナノデ——ポツポツ雨ガ降り出シテ居タ——三浦君ノ処ニ行ツテ話シコンデ居ルウチニ、スバラシイ猛雨ニナツテ、土ナドホジリカヘル様、病院前ノ広場ハ水溜ノ様ニナツテシマフ。トテモ帰レナイノデ、四時半頃マデモ待ツテミタガ、多少小降りニナツタモノノ、何時止ムトモナイノデ、水兵サンノカッパヲ借りテ帰ル。支庁ノ辺マデ来たら、雨ガ止ンデシマツテ日ガ出テクル。

夕食後、隣リノ子供二人ニ案内サセテ、□□□□<sup>アラカマイ</sup>イブグルマデア・イラオトヲ買ヒニ行ク。

夜、平寫サンノ処ニバスニ入りニ行ク。後藤氏ニ紹介サレル。又雨ニナリ、止マズ、十時過ぎ傘ヲ借りテ帰ツテクル。

〔欄外に記す〕  
〔パイヤ・ジャム〕

今日、罵民ノ処カラパイヤノ若イノヲ薄ク切ツタノヲ、ア・イラオト□<sup>ヲ</sup>デ煮タモノヲ貰フ。食ベテ見ルト丁度砂糖煮デ、ベトへスル程甘イ。乾シタラ砂糖□□□□<sup>菓子トナリ</sup>漬ニナリソウ。粗製ナ□□パイヤノジャムト思ヘパイイ。パンニツケルニハ丁度イイダロウ。

十九日 日曜

雨！ 雨ダ、イヤニナル。朝ナサケナイ雲行キダッタガ、日曜ダッタシスルノデ、九時頃カラ伏田氏ヲ訪ネタガ留守。高崎氏ヲ訪ネタガ留守。雨ガ、ドエライ雨が降ッテ来ル。ソレカラハ、降ッたり又降ッたり、イヤニナル雨。

〔欄外に記す〕  
〔ケミム〕

隣リノ娘ニケミムヲ食ベサセロト云ツタラ、ディヤカラマス<sup>〇</sup>ガ雨ノ中ヲ裸ガ飛ンデ行ッテ取ッテ来テクレタ。

一昨日ダツタカ、庭先ニ青イ三寸バカリノ実ガ落チテ居タノデ、隣リニ持ッテ行ッテ何カト聞イタラ、ケミムダト云フ。食ベラレルカト云ツタラ、食ベラレルト云フノデ食ベテミタガ、酸パクテ、酸パクテ……ダガ<sup>潤</sup>咽デモ渴イテ居ル時ダツタラ少シハイイダロウ。此ノ酸パイノハ、芋ナドニ添ヘテ食フノダトノ話。

先達ガルパオデ宿ツタ寫民ノ家ニ、楷<sup>〇</sup>棠ノヨウニシダレタ樹ニ、青イ妙ナ形ノ実ガツイテ居タノデ何カト云ツタラ、ケミムダト云ツタ。川崎サンガ、アレハ酸バ味ガアツテオイシイト云ツテ居タ。

デ隣リノ娘ニ<sup>アレハ</sup>コレトチガフケミムガアルダロウト云ツタノガ、アルト云フノデ取りニヤツタノダツタ。ガ、ナル程一昨日ノ全ジヨウナ味ダガ、今日ノ方ガオイシイ。

ソノウチニオコンレイ達ガ面白半分ニ、三人バカリデ雨ノ中ヲトンデ行ッテ、ヤガテ十バカリモケミムヲ取ッテ来テクレタ。オコンレイ達ハビチヨ濡レニナツテブル〜震ヘナガラ、青イ実ヲチュー〜スツテ居ル。六ツ七ツ私ノ為ニ置イテ行ッテクレタノデ、私モ三ツ四ツ食ベタ。

夕方、隣リノ娘ニ、毎日町ニ買物ニ出ルノガ面倒ダカラ、君達ノタベルモノヲ毎日モツテ来テ貰ヘナイダローカ、ソシテ月ニイクラカオ金ヲ上ゲテモイイガ、ト云ツタラ、イイ、ト云フ。ソノママ忘レテタ飯ヲ早くニ済マセタラ、暫クシテ娘ガタピオカト魚ノアブリ身トヲモツテ来テクレタノデ、オ腹モスイテ居ナカッタガ、又食ベタ。

〔欄外に記す〕  
〔アブリ魚 アブリ魚ニハ、今一ツノガアル。ソレハ、魚ヲ檳榔樹ノ葉カ何カデシツカリト包ンデシマツテ、ソレヲ其ノ<sup>裏</sup>ツトノママ、火ノ側ニ置イテ——包ミガ焼ケナイ程度ニ——蒸シ焼キニスルノデ、コレモ結果ハ先ヅ全ジヨウナモノダ。]

魚ハ例ノ蟻ヨケノ簀<sup>標</sup>柵ノノセテ炉ノ上ノ方ニツツテ、下デ<sup>〇</sup>火ヲドン〜焚クノダソウデ、乾物ノヨウニカタイガ、乾物ノヨウニヒカラビテハイナイ。〔欄外に記す〕〔竹網ハ火ノ上一尺五寸位、焔ガ届カナイ位ノ高サニ保チ、魚ノ上ニハ大キナ檳榔樹ノ皮ヲ置ク。ソウスルト蒸サレテ、ウマク両側カラアブラレル様ニナル。〕味ハナイヨウダガ、カミシメテ居ルト一寸シタイイ味ガアル。コノアブリ身ハナカ〜クサラナイノデ、魚ガ沢山アツテアマツタ時ヤ、旅ニ出ル時ナドニヤルノダソウダガ、色ンナウマイ事ヲ永年ノ間ニハ考ヘツクモノダ。天日デヤツタ乾物ハ、モ一度焼カナケレバナラナイガ、コイツハイツ

デモカヂレルダケニ重宝ダ。

山城ガ今日二時ニ入ツタ由。手紙ヲカク。

〔欄外に記す〕

[発信 田辺保男様一同 三沢寛 荒居徳亮 中沢佑 久顕]

二十日

曇，雨二三回。暗クテイヤナ日。

十時頃，伊藤氏達ガ明日帰ルカト思ッテ訪ネルツモリデ出カケテ行ツタラ，向フカラ織本君ガ来ル。織本君ガ一人デ帰ル由，家ニ引カヘス。公学校<sup>24)</sup> デ椰子細工カ何カ買ヒ度イガトノ話，昼休ミニ行コトニシテ，一緒ニ郵便局ニ行ク。伊藤サン留守。十二時半頃，公学校ニ行ク。細工物無シ。

金井氏ガ出テ来ラレテ，平寫サント一緒ニ私ヲ尋ネテ下サツタ由，平寫サンノ処デ食事ヲサレテ居ル由ダツタノデ，織本氏ト分<sup>〔別〕</sup>レテ平寫サンノ処ニ行ク。一時ニ平寫サンハ学校ニ出ラレタノデ，金井氏ト共ニオ暇，金井氏一寸私ノ処ニ来ラレ，暫ラクシテ帰ラレル。

一寸昼寝，四時頃，支庁ヲ訪ネタガ，長官ガ病氣デ逢ハレナイ由。

朝，タピオカノ椰子ノ葉巻キ，夕方タピオカノフカシタノ。

〔欄外に記す〕

[ディランゲルールノ話。]

ディランゲルールガ小サイ時，オ母サンカラ聞イタノダト云ッテハナシテクレタ。

昔々，パラオニ戦争ガ<sup>25)</sup> 盛ニ行ハレタ時分——ピスカンデ人ヲ傷ケ合ヒ首ヲトリアツタ時代ニ，或時戦争ガアリマシタ。オ父サン達ハ，小サナ，マダ口モハッキリトハキケナイ様ナ四人ノ子供達ヲ家ニ残シテ，戦場ニ行キマシタ。夜デス，真暗デス。敵ノモノガ此ノ家ヲトリマキマシタ。「此ノ家ニハ人ガ居ヤシナイカナ」

四人ノ子供ハ真暗ナ家ノ四隅ニ，一人ヅツ黙ッテ立チマシタ。一ツノ隅ノ子供ガ云ヒマシタ。

(me tūmtūm!) 足音ガスルヨ。(外ニ何カ来タヨウダ)

次ノ隅ノ子ガ云ヒマシタ。

(alakal mūū, engleb.) オバケデナケレバ幽霊カモシレナイ。ムーハ Tama mūū ノ事ヲ子供ガ簡略ニ云ツタノデ，一種ノオバケ，レツプハ全ジヨウニ deleb ノ略デ，是モ一種ノオバケデス。

〔欄外に記す〕

[deleb ハ魂，人魂，精。]

其ノ次ノ隅ノ子ガ云ヒマシタ。

(lake <sup>b</sup>□□<sup>e</sup> lebe rith) 幽霊デナケレバ<sup>神様</sup>□□悪神カモシレナイ。リズハ Iarith デ神様デス。

又次ノ隅ノ子ガ云ヒマシタ。

(lake rith,e math) □□<sup>神様</sup>悪神デナケレバ戦争ヲスル人ダロウ。



初メノ子ガ云ヒマシタ。

(lake math, □ eug ó <sup>[欄外に記す]</sup> [kokok]) 戦争ヲスル人デナケレバ, キットドロボーダロウ。オハ, mer-orch ノ略デス。

<sup>[欄外に記す]</sup>  
[コノ「オ」ハ, ナカナカムヅカシイノデ, 外国人ガCho ト綴ッテ居ルモノデ, Chハ全然発音サレナイケレドモ, 「コ」ト発音スルトキノ様ニ, 舌ヲ上顎ニツケル様ニシテ発音スル。デ, 日本人ガアルコロン, 或ハアコール, コロールナドト云ッテ居ル地名モ, 正シクハ皆此ノ「オ」デ, 罵民達ハアル・オロン, アオール, オレヨルト発音シテ居ル。例ヘバ更ニ, アカラップナドハ a-chalap ナノデ, 此ノ音ハ「ア」音ニモアリ, 罵民ハ此ノアカラップノ事ハアラップト発音スルノデアル。]

敵ノモノ達ハ, 此ノ変ナ会話ヲ聞イテ, 「此ノ家ハ沢山ノオバケノ居ル幽霊屋敷ダ,」ト思ッテ, 皆逃ゲテ行ッテシマヒマシタ。

## 二十一日

朝, カラットシテ居タノデ, 郵便局ノ官舎ニ行ク。織本君ガ内地ニ帰ルノヲ送ル為ダ。八時半頃, 皆デ出カケルト雨が降ッテ来ル。□小蒸汽デ山城ニ行ク間, 降ッたり止ンダリ。小蒸汽ガ遅レタノデ, 山城ニ行クト, 間モナク出航, 十時。

帰ッテクルト又晴レル。久シブリデ晴レタノデ, 少シ洗濯シテヤロウト思ッテ, 三時頃下ノ水溜ニ行クト<sup>26)</sup>, 永雨デ坂道ガ迂ルノデ足モトニバカリ氣ヲトラレナガラ下リテ行キ, 水溜リマデ行ッテヒョット見ルト, 沖縄ノ女ガ裸ニナッテ, 洗板上ニ横座リニナッテ水ヲ浴ビテ居ル。私ハ立止ツタガ, 女ハ案外平氣ナノデ, 「御免ナサイ, 洗濯ヲサセテ貰フヨ」, 「サア, ドウゾ」, 私ハ女ノ傍デ洗濯ヲ始メル。女ハ充分ニ水ヲアビテ着物ヲ著ルト, 「ゴユックリ」ト云ッテ上ッテユク。細イ坂道ノ下ノ鉢ノ底ノ様ニ二坪バカリノ浅イ水溜ニ, 水トヒタへニ厚イ洗濯板ヲ渡シテ女ガ水ヲアビテ居ル。西ニマハリカケタ日ガ, 椰子ノ葉ノ影ヲ投ゲテ居ル。朝ガ早クテ水ガ豊カダッタラ, ナカへイイダロウト思フ。デナケレバ, 夕方明ルサノ失セナイ頃ニ, 早イ月ガ輝キ出シテ居テモイイト思フ。沖縄デナクテ土人ダッタラ, モットイイダロウト思フ。ダガ是レハ, イツカ絵ニナルダロウ。モ少シ現実味ヲトッテヤッテ, モ少シ詩□的ニシテ, 然シ, 午後三時ノ明ルイ水浴モイイカモシレナイ。

四時過ぎ, 金井氏ガ見エル。ソレカラソレヘト色ンナ話ヲシテ, 一時間近クナツタ頃, 平寫サンガ見エ, 金井氏ト二人デ今見氏ノ処ニ行カレル。

晩, 久シブリデ月ガスバラシク明ルイ。マダ本当デハナイ。白イ綿ノ様ナ雲ガ, 大キナマテ西カラ東ヘト後カラへ飛ンデユク。七時過ぎ菅原氏<sup>[宗助]</sup>ノ処ヲ訪ネタ処, 丁度出カケラレル処ダツタノデ, 一緒ニ引カヘシテ来ル。寝ルノガ惜シイ様デ居タガ, 見テ居テモシカタガナイノデ, 十二時ニナッテ雨戸ヲ繰ッタラ, 間モナクザアート雨が降ッテ来ル。

二十二日

晴, 雨, 晴, 雨, 晴, 雨, 晴,

馬鹿ニ立派ニ晴レタト思フト雨が来, 雨が止ムト忽チ馬鹿ニ立派ニ晴レル。マダへへ本当デナイ。白イ雲ガ西カラ東ヘト終日飛ンデユク。

輝ク様ナ朝ガ, 九時ニハ曇ッテ雨ニナル。十時ニハカラリト晴レル。

十時過ぎ, ディランゲールトオバックルビールトガ田圃ニ行クト云フノデ, 紙トインクトヲ持ッテ一所ニ行ク。途中タピオカ畑ニ紅雀ノ巢ヲ見ニ行ク。可愛ラシイ壺ノ様ナ巢ノ中ニ, マダ目モアカナイ小サナ雛ガ一羽ト卵ガーツ入ッテ居ル。親鳥ガ来テ餌ヲヤッテ居ル。ディランゲールハ親鳥ヲ見テ, 紅雀デハナイト云ッテ居ル。

グルット廻ッテ, 試験所ノ前カラ右ニ降りテ田圃ニ行ッたら, オブオウガ裸ニナッテ, ドロンコニナッテ泣イテ居タ。婆サンガ, 泥ヲパタへ(堀)ッテハ, 中ニタピオカノ葉ヤアラマルノ葉ヲツメテハ, 又タンネンニ泥ヲカブセテ居ル。

私ハ芋ノ葉トッテ腰ヲ下シテ, スケッチヲ始メル<sup>27)</sup>。田圃ハ低イ壺ノ様ナ底ナノデ, ドッチヲ見テモ見上ゲル様ナ所□デ, 其上近過ギル所ニ木ガ茂リ過ギテ居テ, 何ウスケッチシテイイノカワカラナイ。上ニハ深イ青空ニ, 白イ雲ガモクへ湧イテ日ノ光ガ強イ。私ガスケッチシテ居ルト, 娘達ハ着物ヲ着カへ, クカウノ葉ヲトッテゴムノ海水帽ノ様ニ額迄カブッテ, 葛カ何カノツルデ縛ッテ, スッカリ用意ガ出来上ル。ト, ディランゲールハイツノ間ニカ高イ椰子ノ樹ニ上ッテ居ル。椰子ノ葉ノ蔭ニウマイ具合ニ座ッテ水ヲ呑ッテ居タガ, <sup>(ママ)</sup>ヂキニ三ツ四ツトッテ降りテクル。私ニ割ッテ持ッテ来テクレタノハ, K'leū ダッタノデ水ヲ飲ンデシマフト, 持ッテ行ッテオバックルビールニ皮ヲムイテ, マダ柔ラカイ殻ヲトッテ貫ッテ食ベル。田圃デ飲ム椰子ノ水ハサイダーヨリウマク, プキッチヨニムキ取ツタ殻ハ, 生栗ノ様ナ味ガスル。婆サンハアリウスヲ, 例ノ鉄ノギザギザ匙(欄外に記す) [kikoi] デコソイダ奴ヲ, 半分ニ割ツタクレウノ中ニ入レテ, 其レゴトクレウノ殻ヲカキマゼテ妙ナモノヲ作ツタガ——クレウノ柔ラカイ□殻ハ乾イテ行クト, 直グニ茶色ニナッテ行ク。コイツガ着物ナドニツイタラ, 決シテ落ちナイ——ソノキタナイモノヲ木ノ葉ニ少シ取ッテ食ベテ見ロトイフ。食ベテ見ルト, 甘クテナカへウマイ。

(欄外に記す)  
[○食]

私ハ又, スケッチニカカル, 婆サントカハッテ, 今度ハ娘達ガ二人デ田圃ノ中ニ入ッテ泥ヲ堀リダス。私ガアラマシスケッチヲ終ヘタ頃, 忽チ空ガ曇ッテ雨がザンザン降ッテ来ル。晴レタ空カラ忽チ雨が降ッテ来ルノハ, ココ, パラウデハ少シモ珍ラシクナイ。ドンナ風ニ雲ガ寄ッテ来ルノカ, ドンナ風ニ雲ガ消エテシマフノカ。田圃ノ畔ニ三尺バカリノトタシガ斜メニサシカケテ, 一方カラ棒デ支ヘテアル。横側ニハ椰子ノ葉ノ編ンダノガサシカケテアリ, 下ニモ椰子ノ葉ノ編ンダノガ敷イテアル。ココガオブ・オウノ雨小屋ナノダ。雨が降ッテクルトオブ・オウハ, コノ中ニシャガンデ居ル。ディランゲ

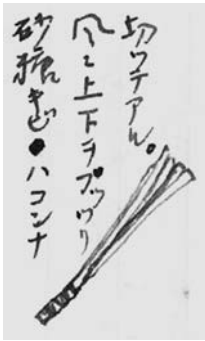
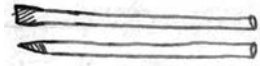


ルールガ三尺モアルア・ブラックノ葉ヲ二枚トツテ組ミ合ハセテモツテ来テケル。立派ナ傘ダ。大キクテ。私ハソレヲカブツテ少シモ濡レナイ。

雨が止ンデ私ハオナカガヘツテ来タノデ、サキニ帰ツテケル。一時半過ギ。

夕食後、原氏ノ紹介状ヲモツテ高崎氏ヲ訪ネル。高崎氏ノ処デハ、ミクロネシヤニ関スルクレーマー<sup>28)</sup>ノ本ヲ見セテ頂ク。スバラシイモノダ。無数ノ写真板ト其処ニ出テ居ル数々ノ珍ラシイモノトハ羨マシイモノダ。今デハ見ル事モ出来ナイ様ナ面白イ猫ヤ猿ノ彫刻ダノ、沢山ノ人形ヲツケタ大ランプダノ。日本ノ南洋庁<sup>29)</sup>デハ何ヲ持ツテ居ルカ、私ノ来カタハ確カニアンマリ遅過ギタ。日本ノ博物館ハモツトスパシコク、セメテハ一通リノモノダケデモ今ノウチニ集メテ置カナクテハ、モウ既ニ既ニ何モアリヤシナイ。  
〔欄外に記す〕  
〔フグシ。〕

寫民ハ今デハ、畑ヲスルニ鉄ノ丸棒ヲ使ツテ居ル。今日娘達ガ砂糖キビヲサス時ニハ、徑一寸ばかり、長二尺五寸位ヒノコンナ風ノウグシデ、ズ  
ブツト土ニサシテハ、ギョット一方ニコジ上ゲ、ホンノ一  
尺四方位ノ土ヲ二度デコジ上ゲタダケデ、ソコニ砂糖キビノ一尺カソコラキッタ上ノ  
方ヲナナメニサシテ、足デーツニツフミカタメルダケダ。



前□ノウチニタビオカヲサス時ニハ、徑五六分ノ長五尺位ヒノ、タダノ鉄棒デヤツテ居タ。

〔欄外に記す〕  
〔砂糖キビハコンナ風ニ上下ヲブツリ切ツテアル。〕

二十三日

日ガガンへ照ツテ風ガアツテ、氣持ノイイ晴レ。午後四時半頃、ドーツト氣持ノイイ驟雨。

朝、買物ニ出タ時、鈴木ニ行ツテ高松氏ノ処カラ荷物ヲトツテケル様ニタノンデ来ル。昼頃、隣ノ娘達ガ畑ニ行ク前ニ来テ、今晚タビオカノ御馳走ヲスルガ、砂糖ガナイカラ砂糖ヲ少し貰ヒ度イト云フ。

四時頃荷物ガ届ク。

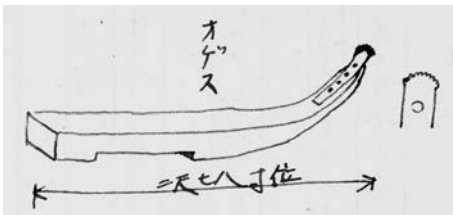
六時ニナツテモ娘達ハ帰ツテ来ナイ、七時ニナツテモ帰ツテ来ナイ。又嶋民ノ平氣ナ嘘カナト思ツテ飯ヲ食ベテシマハウト思ツテ居ル処へ、七時半ニナツテ帰ツテ来テ、コ

レカラ造ルカラ砂糖ヲクレト云フ。デ見ニ行ク。

〔欄外に記す〕  
〔○食〕

ディランゲルールガタピオカノ焚イタノヲ肉ヒキデ引イテ居ル間ニ、オバックルピールガコブラヲカキ始メル。

タピオカハ、□□ヒケルト握リコブシ程ニマルメテ、婆サンニ渡ス、婆サンハ炉ニ薪ヲ焚イテ其ノ中ニ入レル。而シテ黒焦ニナル迄焼イテ娘ニカヘス。娘ハソイツヲモウ一度肉ヒキデ引ク。ソシテ再ビヒイタヤツニ、白砂糖ヲコネ入レル。「コウシタラ オイシクテ ニホヒガイイヨ」。コレデ出来上ツタノデ、コレヲ一寸位ヒノ丸ニシテ、西洋皿ニ一パイニナラベル。



コブラノ方ハ、イツモノ小サイ鉄匙デスクハナイデ、上図ノ様ナモノデヤル。オゲスト云フ、図ノ様ニ先ガソリ上ツテ其ノ先キニ、先ヲキザへニシタ鉄板ガウチツケテアル。コレデ台ノ方ニ腰ヲ下シテ、コブラノ半分ニワツタノヲ両手デ

握ツテ前へ前へトカキコソグノダ。□下ニハ大キナ檳榔樹ノ皮ヲ敷イテ受ケル。

コレガ出来ルト、椰子ノ葉モトノ□アミヲヨク洗ツテソノ中ニ、カキオトシタコブラヲ包ンデ、両手デ手拭ヒノ様ニシボル。牛乳ノ様ナ白イ汁ガ落チル。ソレヲ皿ニ受ケル。甘クテ油ガ強クテ、味モ見カケモミルクニ近い。而シテサッキ出来タタピオカノ団子ノ上ニタップリト其レヲカケテ、「タバテゴラン」。

八時半ダ。私ハオ腹ガスイテ居タノデ、持ツテカヘツテ腹一杯食ベタ。コンガリシタ匂ヒガアツテ、甘クテゴマノ萩餅ノヨウダ。或ル人ニハ甘クテ御飯ニハナラナイカモシレナイガ、御菓子トシタラ又、上等ナオカシダ。

タピオカノ肉ヒキデ引イタダケノモ少シトツテ食ベテ見タガ、ネバツテ、柔ラカクテ、オ餅ノ出来タテノ様デ食ベヤスイ。其ノ上幾分甘味ガアルカラ、何モツケナイデオイシク食ベラレル。

〔欄外に記す〕  
〔因ニ、タピオカノ「卷キ」ノ事ヲ pilūm ト云フ。今日ノヒイテ焼イテコブラ汁ヲカケタモノハ delūūr ト云ヒ、タピオカノヲロシタモノヲ、 klisōūs ト云ヒ、コブラノ汁ハ thīss [disuh] ト云フ。但シ此ノシ<sup>^</sup>イスノスハ、母音ガナイヨウニ発音サレナガラ、例ノムヅカシイ「オ」(eho)ト全ジロツキデ終ラナケレバナラナイ。最後ノ母音ハ発音サレナイヨウダカラ、 thīsū トシタ方ガイイカモシレナイ、コレトテモ「ウ」カ「ク」ノ形デ発音サレナイトウマク通ジナイ。]

九時半過ギテ杉浦大工サンガ来テ、十二時過ギテ帰ツテユク。

## 二十四日

快晴。

〔欄外に記す〕  
〔Tor〕

Tor ト云フ葉ッバガアル。是レデ又チガッタタピオカ料理ガ出来ルト云フノデ、夕方砂糖ヲ提給<sup>〔供カ〕</sup>シテ造ラセテ居ルト、高瀬貝ヲトリニ行ッテ居タ爺サンガ帰ッテ来タト云ッテ、子供ガ荷物ヲモッテ来タ。娘達ハ急ニアハテテ料理ヲヤメテシマッテ、荷物ヲトリニ行ッテシマッタ。オヤジハ余程怖イラシイ。晩方、一寸行ッタ時モ小サナ声デ、ディランゲルールガ、「今日カラオトナシクナッタ<sup>ンダヨ</sup>、ジョーダンハ云ハナインダヨ」ト云ッテ、アマリ喋ッテモラッテハ困ルト云フ顔ツキヲスル。料理ガ出来ナカッタカラト云ッテ、肉ヒキデヒイタタピオカニコブラ汁ヲカケタノト、大キナ魚ノアブリ身ト、二皿モッテ来テクレル。

満月ガ椰子ノ葉蔭カラ上ッテ、遅ク冲天ニ昇ル。雲一ツナイ空ニ、星々ノ光ヲ□奪ッテ皎々ト静カナ夜ヲ照ラシテ居ル。風マデガ死ンデシマッタ。椰子ノ葉一ツ□ユルガナイ。屋根カラ露ガ滴ル音が、ヒシ〜ト静ケサヲ深メル。虫、虫ハ朝カラ晩迄鳴イテ居ナイ時ガナイノダガ、静カナ夜ニ互エタ虫ノ声ハ、本質的ナ虫ノ声ト云フ感じガスル。

## 二十五日

〔欄外に記す〕  
〔□□□ Tóroh〕

朝八時ニ昨日ノトルヲモッテ来テクレル。トルダケノ料理デ、トルヲヨクユデテ、アイデツブシテ砂糖ヲ入レ、ソレニコブラ汁ヲカケタモノデ、ホーレンソウニクリームヲカケタヨウナモノダ。甘クテ菓子ガハリニデモ食ベル様ナモノダガ、コチラノ食物トシテハ唯一ノ青々シタモノダロウ。柔ラカクテクセノナイ葉ダカラ、シタシニシテデモ、三バイ酸<sup>〔酢〕</sup>ノモノニシテモ、味噌汁ニ入レテモ、何ニシテモキットウマイダロウ。オ葉類ノ少ナイココデハ、内地ノ人ハコンナモノノアルコトヲ知ッテ食ベルトイイ。

快晴。遠クニ白イモクモク雲。朝、高松氏ノ処ニ行ク。マダ片ヅイテ居ナカッタノデ、玄関迄デ帰ッテ来ル。金子九平次君カラ、葉書ト国展ノ目録トガトドイテ居ル。帰りタペローノ前デ村山ノ奥サンニ逢ヒ、暫ラク立話シテ居ル。

三時過ぎ平寫サンノ処ヲ訪ネタガ、マダ帰ッテ居ラレズ、奥サンガコレカラ貝ヲトリニ行カレル処ダッタノデ、一緒ニ行ッテパケツニイッパイ取ッテ来ル。平寫サン帰ッテ来テ居ラレ、松尾サンガ来テ居ラレタノデ上ッテ話シテ居ルウチニ、奥サンガ貝ヲ<sup>〔蟹ノ〕</sup>□□酢ノ物ニ造ッテ下サッタノデ、貰ッテ帰ル。

〔欄外に記す〕  
〔受信 金子九平次〕

## ●日曜 二十六日

カラカン・ル・トタウ！ 今朝、スバラシイ今朝！ 朝カラ真昼ノヨウナ日ガ輝ク。朝飯、八時ニ隣リノロバクガ子供達ニモタセテクレタ朝飯ハクカウノ上等、綺麗ニカハラムイテ環切りニシテプラトンニ山盛り。ソレカラ大キナ煮タ魚。ディヤカラマス△ガプラトンヲ渡ストキノ言ヒ草、「コレハ ウマイ！」。ソレカラモウ一皿ガ海老ダ。腹ノ太サガ二寸五分モアル、ヨク肥エタ海老ノ塩茹デ。芋ノ様ニ大キナ真白ナ肉ノ塊リ。私ハ黙ッテムシャ〜ト食フ、一咬ミ毎ニ腹ノ中デツバヤキ乍ラ、「コレハ ウマイ！」

私ノ腹ガハズキレソウニナツトキ、爽カナ朝ノ声ガ起ッテ、快ゲニ其声ガ近ヅキ、其ノ声ガ大キクナツテ来ル。美シイ朝、何処カラトモナク黙々ト、ケレドモ明ルク着カザッテ集ッテ来タ人達、心カラノ感謝ト——コンナスバラシイ朝ノ心ニ伴リナドアル筈ガナイ——朝ノ祈トラ、彼等ノ新ラシイ□神、聖キリストニ捧ゲテ、サッキ行ッタ時ノ黙リコクツタ厳肅ナ気持カラ、スツカリ気が済ンデ、軽イ心デ、ベチャ〜トオ喋リニナツタ土人達ハ、三人五人トカタマツテハ——大キナカタマリハ十人ノ余モ居テ、小サイ道ヲ□端カラ端マデ並ンデ行ク——テンデニ爽カナ朝ノ声ヲ、小鳥達ノ様ニサザメイテ行クノダ。

九時、娘達ガ<sup>アルミヅニ</sup>□□□□出カケヨウト云ッテクル。今日ハアルミヅニ行キ<sup>30)</sup>、カヌーデ岩山ホラ穴ヲ見ニ行ク事ニナツテ居タノダ。試験所ヲ越スト、アノ緑ノ草山ノ眺メガパット展ケテ、アルミヅ迄ヅツト続イテ居ル。明ルイ。娘達トオ喋リヲシナガラ、緒土ノ一本道ヲ下リニカカルト、娘達ハ二人デドンドン馳ケテ行ッテ了フ。

「先キニ行ッテ洗フヨ——」「ア」

アノ谷ノ下ノ小サナ茂リノ中ノ水溜リダ。私ガオリテ行クト、二人ハモウ着物ヲヌイデ、腰程ノ深サノ中デバチャ〜ト水ヲハネカシテ居ル。ココデ私達ハアデニナニ逢フ。アデニナハ二三日前カラアルミヅニ宿リニ行ッテ居タノダ。

「先キニ行ッテ！ 上ノ松ノ木デ待ッテ！」

私ハゴツ〜ノ岩道ヲ昇ッテ上ニ出ル。此処ニメリケン松ノ様ナ木ガ二□本アツテ、<sup>貧</sup>□乏シイ葉ナガラニ蔭ヲツクッテ居ル、私ハ其処ノ曲リ角デ後ヲフリカヘッテ、「メレヘッド・エル・メイ！（早くオイデ）」。二三度大声デ呼ンダガ、下カラハ返事ガナクテ、マルデ向フノ山カラアデニナ達ノ声デ小サク、「オーイ（ハイ）」ト答ヘル。アデニナト友達トハ、大キナ声デ歌ヲ唄ヒナガラ、私達ノ来タ道ヲ小サク小サク向ヘ行ク。私ハ木ノ蔭ニ腰ヲオロシテ帽子ヲトル。アデニナ達ハモウ見エナイ。ヂット日ガ強クナツテ、白イモクモク雲ガキラ〜ト輝イテ居ル。ヨイ程ノ風ガ吹ク。緑ノ丘ハ只□々此ノ明ルサノ中ニ、静カニ横タハツテ居ル。瘦セタ蜻ノ樹ダケガ、此ノ草山ヲ飾ッテ居ルノダ。其ノ向フニアラカベサンガ低イ海ノ上ニ浮ンデ居ル。此ノ丘、イツ見テモ静カナ、イツ来テモ淋シイ。本当ニコンナニモ明ルクテ、コンナニモ淋シイ丘ヲ私ハ外ニ知ラナイ。



ザリ〜照ル日ノ下ニ、死ンデ居ル様デモアリ、眠ッテ居ルヨウデモアリ、不断ニ堪エテ居ルヨウニモ思ハレル。夕方、アラカベサンノ上ニ日ガ廻ル頃ニハ、此ノ草山ニモ、マルデーツ色ノ草山ニモ、単純ナナリニ無数ノシワト□、沢山ノ斑トガアラハレル。其ノ時ハ、明ルサト暗サトガ不思議ニ交錯シテ、緑ノ色ガ—単純ナ緑ガ、コンナニモ深い表情ヲモツカト疑ハレルヨウダ。私ハ満月ノ夜ノ此ノ丘ヲマダシラナイ。娘達ガベチャベチャ喋リナガラ上ッテ来タ。私ハ充分ニ風ヲ入レテカラ立ち上ッタ。娘達ハ道々蜻蛉ノ新ラシイ葉ヲヌイテハ、元ノ方ノ柔ラカイ処ヲカヂッテ居ル。私モアコールニ行ッタ時食ベタ事ガアル。ウマクモマヅクモナイモノダガ、食ベルト云フ様ナモノデハナイ。沢山トッテ調味シタラオイシイカモ知レナイガ。

ダガ、ソレカラ後ハ、私ハ狐ニツママレテ了ッタ。ト云フノガ、私達ノ計画ハイツモノ通りノ土人ノ有耶無耶ノウチニ、スッカリ烟ノヨウニ消エテ了ッタノダ。

アルミツノ家ニツイテ待ッテ居ル間ニ、何処カラトモナク人が集ッテ来タノダ。私達ガムダールヲ一ツツ飲ンデ待チクタビレタ頃ニハ、アデニナガ袋ニバラスラーパイ買ッテ帰ッテ来テ、ソレヲ焚キ出シタ。海カラ帰ッテ来タ若者達ハ、魚ラーパイモッテ来テ、一々葉ッパニ包ンデ大キナ鍋デ煮テ居タ。沢山ノタピオカガ肉ヒキデ□ヒカレテオ団子ニサレタ。タピオカノオ団子ハ、大キナ皿ニ三ツ四ツモ綺麗ニナラベラレタ。バラスハ普通ノプラトンニ二十皿モ盛りツケラレタ。ソノウチニ食事ガハジマッタ。皆ハバラストタピオカト—若イモノ達ハヒカナイタピオカア・ブラクラ、年寄達ノ前ニハ、ヒカレタ□タピオカガ出サレタ、—ソレト色々ノ魚ノ煮タノト焼イタノト。ソシテ其ノ大勢ノモノ達ガ、勝手ナ場所ニ座リコンデ食ベダシタ。私モ魚トタピオカヲ食ベタ。ダガ一体コレハ何事ナノダ。ディランゲルモオバックルビールモ、コレニ就イテハ一言モ答ヘナイ。ソノウチニワタリ終ルト、帰ルモノハ帰ル。アトニ又全ジ料理ガナラベラレル、新ラシイモノガ来テ、又タベテ又帰ル。一体コレハ何事ナノダ。時間ガドン〜立ッテシマッテ、日ガダン〜西ニマハッテシマフ。何度ゲルルニキイテモ、「今スグニ来ルヨ」ト云フ様ナ返事ダッタノガ、四時頃ニナッテオバックルビールガモウヂキ帰ロウト云フ。私ハ何ノ事ダカマルデワカラナイ。爺サント一緒ニ浜ノ方ヲマハリシテ帰ルト、娘達ハ又家ニ上リコンデ居ル。デ私ハモウ根負ケガシテ、先ニ一人デ帰ッテ来テシマフ。五時頃ダッタロウ。

水溜デハ半裸ノ女ガ髪ニ油ヲスキコンデ居タ。緑ノ草山ハ、夕陽ノコチラニ静カナ青ノ沈黙ニ入ッテ居タ。蔭ト日向トガ淋シイマデニ懐カシイ日暮前ノ一時ヲ色ドッテ居タ。狐ニツママレタ私ハ、有耶無耶ナ半日ノ後ニ、空腹ヲカカヘテ家ニ帰ッテクル。ダガ其ノ空腹ガ、私ニ爽カナ晴レタタベノ部屋ニ、貧シイ夕食ヲ此上モナクオイシクシテ□□レル。

大工サンクル。九時半頃カラ寫民ノ家ニ行ッタガ、年寄ガ高瀬貝デ留守ダッタノデ、

暫クシテ帰ッテクル。

## 二十七日

快晴。

午二時過ギカラ、ハジメテ油絵ノ道具ヲ引張り出シテスケッチ板ヲ一枚モッテスケッチニ行く。

夜、三浦君ガ出テ来テ宿ル。

## 二十八日

晴。朝。ローバックカラノ御馳走クカウト煮魚。コレハ昼ノ分ニスル。スケッチヲシヨウト思ッテ、絵具箱ヲモッテ出カケル。アラカマイノボートハウスヲカクツモリデ行ッタ所、満潮デカスーガーツモ浮ンデ居ナイ。ドコカラ見テモスケッチ板ニハウマク入ラナイノデ、ヤメテ引カヘス。寫民ノ家ヲカイトヤロウト思ッテ、全ジ処ヲ何度モ行ッタリ来タリシタガ、ドウモイ処ガナイ。今度ハ氣ヲカヘテ、試験所ノ中ヲグルへ歩イタガ、ドウモイケナイ。デ、アラカマイハヤメニシテイブグルニ行ッテ、——モウ時間ガ大分タツテ居タノデ、チャムロノアノフランチェスカノ家ノ前ヲカク。十二時、ドウニカマトメテ帰ッテクル。

午後、昼寝ヲシヨウト思ッタガ、暑クテ眠レナイノデ、二時過ギ絵具箱ヲモッテ出、スグ隣リノ家ノ裏ノ椰子ト檳榔樹ノ林ヲカク。昨日久シブリデ絵具ヲ使ッタ処ガ、マル【聴】デ憶病ニナツテ筆ガ動カナクテ困ッタガ、少シバカリ楽ニナツタノデ、イイ氣デ画イテ居タガ、藪ノ中ノ事トテ、イツノマニカ蚊ニヒドクハレ、タマラナクナツテ引上ゲテ来ル。

夕食。ローバックカラノ御馳走、タピオカノヒイタノニ大キナ煮魚一匹。晩、平寫サンノ処ニオ風呂ヲ浴ビニ行く。

## 二十九日

雨ガチットモ来ナイノデ、水ガナイ。近頃ハ又下ノ水溜カラ汲ンデ来ナケレバナラナイ。

午後、スケッチ板ヲモッテ写生シテ来ル。今日ハ島民カラ椰子ノ油ヲ貰ッテ、椰子油デ画イテミル。少シウススギテ、ツケスギルト色ガスイテシマフガ、氣ヲツケテ少シツツケテ画クト結構カケル。乾イタ上デナイトワカラナイガ、コレデヨケレバーツモウケモノダ。テレピンヨリモイイカモ知レナイ。

【欄外に記す】  
[○食]

隣リカラノ御馳走、昼、タピオカノヒイタノニ、ユデ卵四ツ。晩、ピル—ムニ魚ノクンセイ。此ノクンセイハ大キナ魚ヲ炉ノ石ニ渡シテ、下カラト口火デクユラシタモノ



デ、見カケヨリハ大変オイシイ。ビールカ酒ノ肴ニシタラ、確ニ結構ナモノダ。

### 三十日

朝早く、スケッチ板ヲカカヘテ試験所ノ向ニユク。両側ノ海ガ<sup>ベ</sup>々<sup>タ</sup>風ギデ、□□南側ノ岩山ハソックリ海ニウツツテ、静カナ湖水ノヨウナノデ、山ノ上カラカイテ見ル。十時頃ニハドウニカ仕上ゲテ帰ッテクル。

午後、一寸ウトウトシテ、二時過ぎ又絵具箱ヲカカヘテ、公学校ノ前ノボートハウスヲカイテクル。

夜、伊藤サンガ来テ、十時頃迄話シテユク。

---

日ノ本ノ	シキラス国ノ
ミンナミノ	パラオノ寫ハ
トコシクニ	夏ゾ行クナル
アツサユミ	春ハクレドモ
霞タチ	桜ハ咲カズ
藤浪モ	ユルルトハセズ
山吹モ	黄ニハ萌エズト
秋サレド	紅葉ハセズト
渡リ鳥	雁モ来ナカズ
菊ダニモ	匂ハヌモノヲ
況シテカモ	霜置ク冬ハ
行ク水ノ	コゴルミ冬ハ
六ツノ花	寒ケキ冬ハ
ウツセミノ	世サビシラヂモ
シラガヅク	永ラヘシババモ
見モ見ズト	聞キモ□聞カズト
トコシクニ	知ラント過ギヌ
ミンナミノ	パラオノ寫ハ
椰子ノ実ノ	フサニタワナリ
アヂマサノ	高ケク生フル
クサグサノ	木ノ実ウマラニ
色黒キ	寫人ハアハレ
裸カ身ノ	寫人ガアハレ
ソノ実ラヲ	食ラヒアマシツ

月夜見ノ 明ルキ国ト  
 夜ヲカケテ 踊リアカシツ  
 黒鉄ノ 土モ裂クルト  
 昼ハモ 日ノキララケク  
 トコシクニ 夏ゾ行ク国  
 南鳶パラオハ  
 返シ

日本ノシキラス国ノミンナミノパラオノ鳶ハ常夏ゾ行ク

### 三十一日

午後二時頃カラ、木工養成所ノ下ニ出カケテマンガロープヲ画イテクル。

夜、杉浦大工サンガ来テ、十一時半過ギマデ話シテユク。

〔欄外に記す〕  
 [○食]

今日ハ、鳶民ノ処カラ、フカシタクカウヲアイデ搗キツブシテ、オ団子ニシタノヲ持ッテ来テクレタ。ソレカラ夜ハピルムヲ。ソレカラ夕方、アダチサンガベリリウノ方カラ取ッテ来タアソール貝、— アルコロン、ガラルド辺ニアル、アノ蜆ノ様ナ貝ヲモッテ来テクレル。

夕方、三浦君ガ小魚三尾ツッテ来ル。

## 六月

### 一日

朝ノウチ買物ナガラ、水上氏ノ処ニ家賃ヲモッテ行ク。

□午後昼寝、四時頃カラ、イブグルノボートハウスノ前ヲカキニ行ク。画キ出シタラスコールガ来タノデ、ボートハウス□ニ逃ゲコンダガ、止ンダノデ画キ出シタラ、又スコールガヤッテ来タノデ、荒々シク画キナグッテボートハウスニ逃ゲ、止ムノヲ待ッテ、六時過ギ帰ッテ来ル。

鳶民カラタピオカ。夜、大スコール。

### 二日 日曜

朝カラシヨボへ降ッテ居ル。九時頃出タ□ラ、又雨ガヒドクナツタガ、間モナク止ム。伏田氏ヲオ尋ネシタガ、マダ何トモ長官ニ話サレナイ由。村山サンノ処ヲ訪ネタラ、直キワキノ官舎ニ引越シ中、マンゴーヲ御馳走ニナリナガラ、暫ラク話シテ帰り、高松サンノ処ニ寄ッテ玄関デ長イコト立話シ、十二時頃帰ッテクル。

スッカリ晴レル。午後四時頃、平鳶サンノ処ニ行ッたら、晩、今見サンノ処デ絵ノ□

批評会ガアル由。夕食後、スケッチ板五枚モッテ、今見サンノ処ニ行ク。平寫サン、松尾サンガ絵ヲモッテ見エテ居ル。一枚一枚皆デ批評シ合ヒ、十時頃、散会。

帰ッテ来たら、三浦君ガ寫民ト喧嘩ヲシテ居ル。不愉快。十二時半、就寝。

### 三日

(欄外に記す)

[パラオ漫語。]

パラオニ来テカラ二ヶ月半ニナリマス。私ハ此処ノ土人達ノ総ベテノモノ——習俗、用器、伝説、遺跡等ニ少ナカラズ興味ヲモッテ居タノデ、コチラニ来たら、片ッパシカラ調べテミタイト思ッテ居マシタ。其レハ自分デ乗りコンデ来テヤレバ、一通リノ事位ヒハ、骨折リサヘスレバ調べラレル位ヒニ思ッテ居タノデスガ、サテ、来テミルトナカ——何ウシテ、トテモ其ンナニ簡單ニハ行クモノデアリマセン。

若イ者ハ皆日本語ガ<sup>昔</sup>出来ル。コノ事ハ非常ニ重宝<sup>ナカハリ</sup>□□□□デモアルト同時ニ、案外役ニ立タナイノデス。ト云フノガ、若イモノ達ハ、桃太郎ヤ、ハナサカ爺ノ話ヲシッテ居テモ、古イパラオノ話ハチットモ知ラナイ様ナコトニナッテ居ルノデス。デ今デハ、パラオノ事——昔ノ本当ノパラオノ事ヲ幾分<sup>[ママ]</sup>ツツデモ伝ヘ得ルモノハ、極少数ノ老人達ダケナノデス。通訳ヲシテ貰ヘバイイ？ 娘達ノ云フノヲオキキナサイ。

[年寄達ハ、古イ六ヶシイ言葉デ話スカラワカラナイ。]

言葉サヘガドシ——亡ビヨウトシテ居ルノデス。ソナナ<sup>接</sup>□□□□<sup>塩</sup>アンバイデ、若イモノ達ニハ、パラオノ古イ言葉ハ既ニ六ヶシイモノニナッテ居リ、其上話シ位ハ一通リ出来ルニシテモ、日本語ノ知識ハ又殆ド無イト云ッテイイ——無理モナイ、小学五年ダケ<sup>デ</sup>□ノ知識、ソレモ、日本語ヲ覚エル為ノ二年間ノ無駄ト、家ニ帰ッテハ全然パラオ語デ、復習一ツシナイト云フマイナスガアルノデスカラ、只々日本語デ話ガ出来ルト云フダケデ、全クノ小供ノ様ナ知識シカ持ッテハ居ナイノデス。ソナナ訳デ、通訳ナ□ンテ云ッテモ、アマリアテニナラナイ上、興味ノナイ事デスカラ、進ンデヤッテクレル様ナモノハナイノデス。

ソコデ自分デパラオ語ヲ覚エテ、爺サン達カラ直接話ヲ聞カナケレバナラナイノデスガ、ソレハ一体イツニナッたら出来ルノデスカ。私ハ永イ間パラオニ居テ、自由ニ土人ノ言葉ヲ扱フ事ノ出来ル様ナ日本人、ソシテ好意ヲモッテ私ノ為ニソナナ時間ト労トラサイテクレル様ナ日本人ガ居ナイカト、蟲ノイイ事ヲ考ヘズニハ居ラレナカッタ。ダガ、古クカラ来テ居テ、而モ本当ニ寫民達ノ中ニ入りコンデ居ル人達ト云フノハ、大工サント樵夫サント……. ダケナノデスカラ、興モナイ土人ノ事ヲ、根ホリ葉ホリ聞クト云フ様ナ仕事ヲ理解シ——<sup>[ママ]</sup>否々ナガラデモヤッテクレルトハ思ヘマセン。私ガ殆ド諦メテシマッタ時ニ、私ハトウ——私ノ考ヘテ居タ様ナ、ソナナ虫ノイイ願ヲ助ケテクレル様ナ人ニブツカッタノデス、而モ向フカラ来テクレタノデス。ソレハ、杉浦ト云フ大工サンデ、パラオ二十三年居テ、パラオ中ニ寫民ノ知人ヲモチ、パラオ中何処ニデモ住ンダ

事ガアリ、年寄達ノ六カシイ言葉サへ自由ニ聞ク事ガ出来ル人デス。勿論コノ人モ仕事ノアル人デスカラ、私ノ思フ時ニ勝手ニ一緒ニ何処ヘ<sup>出</sup>□デモ行ッテクレル訳ニハトテモ行カナイノデスガ、時タマ位ヒニハ、本当ノ通訳ヲシテクレル人デス。若シモ金デモアッテ——大シタモノデハナイ、杉浦サンハ私ノ処ニ彫刻ヲ教ヘテクレト云ッテ来タノデ、金ハイラナイ人ナノダカラ、二人ガ暮シテ行カレル位ヒデイイノダ——此ノ人ヲ借りテシマフ事ガ出来ルナラ、私ハ二三年ノ間ニ、今知り得ル程ノパラオノ事ヲ何デモカデモ引張り出シテクル事ガ出来ルノダガ。ダガコレデハマルデ、夢ノ様ナ話デスカナ。

処デモ一ツノ困難ハ、既ニ五月ノ十六日ノ処ニ書イタ様ニ、寫民ノ智力<sup>ナリ</sup>□□ガ不足ナ為ニ、一ツ事ヲ一途ニハ話シテクレナイト云フ、極メテ無理モナイ欠点デス。デスガ、此ノ長々シイ文句ハ言ヒ訳デス。ツマリソナナ訳デ、何一ツマトマッタ話ガ出来ナイ言ヒ訳ナノデス。ガ又、一ツ一ツマトマッタ話ハ、イツニナツタラ出来ルカワカリマセンカラ、極メテ断片的ナオ話デモ思ヒアタルママニ、<sup>(様)</sup>辻妻モナクオ話シシマセウ。明日カラ。

× × ×

晴。朝、隣リヨリタビオカト煮魚ヲモタシテクレル。今日ハ、野菜ガナカッタノデ、婆サンヲツカマヘテ会話ノ練習傍々、パパイヤノ若イノヲ貰フ。

「ミスカク、セル、ケケレル、パパイヤ、アタン。」

「ケケレン デイ、オギル。アク、メリヨツクル。」

ソコデ婆サンハ、早速、竿ヲモッテ来テパパイヤノ木ノ下ニ来テ、「テイヤン オギル？」

ドウシテ、アンマリ小サイ所デハナイ、二三日モスレバ甘クナリソウナ奴ダ。「マル、オギル。」

婆サンハ一突キデパパイヤヲ突キオトシテクレル。

「モロコン？」

「オイ、モロコン、マル、ミサウル」

コレデオシマヒ。オ醤油トア・イラオトデパパイヤ汁ガ出来ル。

午後二時半頃カラ、絵具箱ヲカカヘテアラカサウマデ遠出、突当リ迄行ッテ、マンダロープノ茂ッタ奴ヲカキ出シタガ、蚊ガヒドク出テ来テヤリキレズ、絵ハマルデ思フ様ニユカズ、パレットナイフデスッカリケヅッテシマッテ帰ッテクル。

平寫サンニバスヲ浴ビニユク。晩、スコール。

四日  
〔欄外に記す〕  
〔パラオ漫語〕

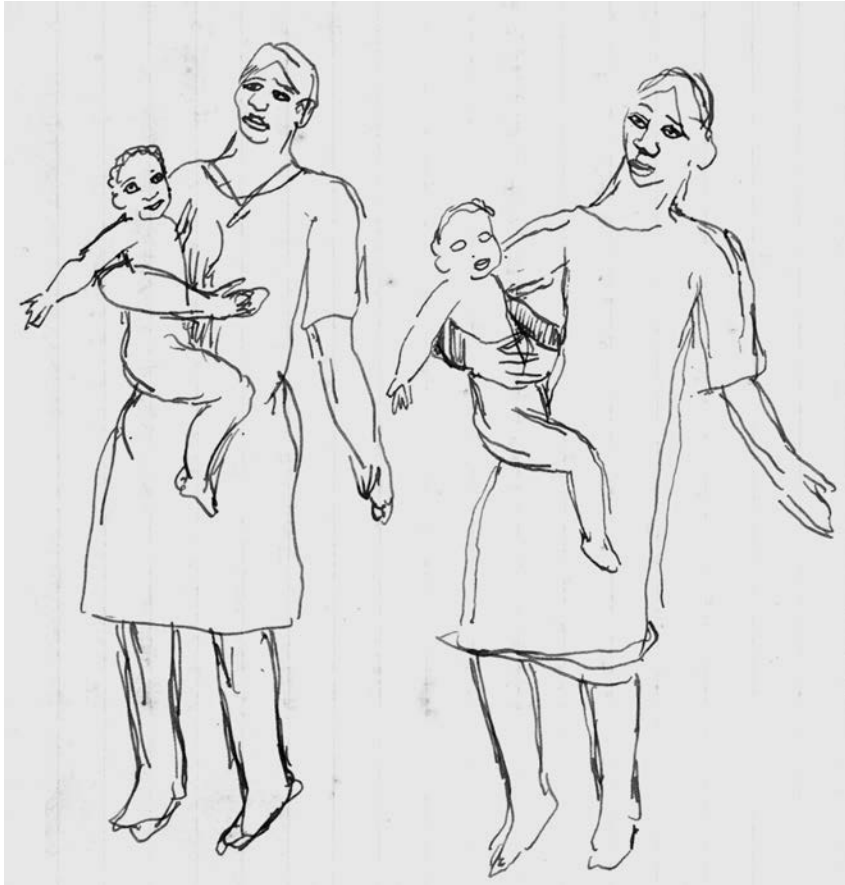


コレハ子供ノ抱キ方デス。ドウモ絵ガマヅイデ  
スガ、図ノ様ニ一方ノ腰骨ノ上ニマタガラセテ、  
全ジ方ノ手ヲ、子供ノ背中カラ腋ノ下ニ廻シテ支  
ヘルノデス。男ガ抱ク時モ是レト全ジ事デス。デ  
スカラ、大キナ男ナドガ小□サナ子供ヲ抱イテ行  
ク時ナドハ、ヒョイト腋ノ下ニデモ挟ンデデモ居  
ルヨウデ、如何ニモ軽ソウデスガ、反対ニ子供ナ  
ドガ守リヲシタリスルノヲ見マスト、マルデ体ガ  
一方ニカシイデシマツテ、二本ノ足ノ上ノ方ニ  
ツノ胴ガハエタ様デ、如何ニモ重サウデス。

万葉集ノ卷三ノ一番終ヒニ、高橋朝臣ガ死ンダ  
妻ヲ悲シンデ詠ンダ歌ガアリマスガ、其ノ中ニ、  
『吾妹子ト<sup>ワギモコ</sup>サ寝シ妻屋ニ、朝庭ニ出デ立チ偲ビ、  
夕ベニハ入り嘆カヒ、腋挟ム<sup>ウダ</sup>児ノ泣ク毎ニ、男ジ  
モノ負ヒミ抱キミ……』ト云フ所ガアリマス。  
是レデ見ルト、負ウタ事モ抱イタ事モアツタ外ニ、  
腋挟ンダコトモアツタト思ハレマス。ソシテ此ノ  
腋挟ムト云フノハ、キット此ノ絵ノ様ナ抱キ方ダ  
ツタノダロウト思ハレテナリマセン。(学者ノ方々  
ノ間ニハ、何かコンナノデナイ定説ガアルノカモ

知レマセンガ、知ラナイモノハ飛ンデモナイ事デモ平気デ考ヘツクモノデス。考ヘツク  
デ思ヒアタリマスガ、土人達ナドノ事ヲ調ベタリ知ツタリスル一番ノ興味ハ、私ニハ何  
ト云ツテモ此ノ土人達ノ色々様々ノ考ヘツキデス。中ニハ成ル程、尤モ次第ダトウナヅ  
ク様ナ伶俐ナ考ヘツキモアルカト思フト、実ニ途方モナイ突飛ナ考ヘツキモアリマス。  
—私達ニシテモガ、モーツ高イ、世ノ学者達ナドカラ見タラ、此ノ土人達ト五十歩百  
歩ノ考ヘツキデヤツテ居ルノカモ知レマセン。兎モ角、是レカラノオ話ノ中ニモ、色々  
珍ラシカツタリ、変ツタリシタ事ガアルニシテモ、此ノ考ヘツキニ婦ス事ガ多イデセウ  
シ、ソコガ又一番面白イ処カトモ思フノデスガ。)

今日ハ、スバラシイ日ノ光ダツタ。私ハ、木ノ葉ガ金色ニモエテ居ルノヲ窓カラデモ  
見ルト、イツモ外ニ出度クナルノダガ。今日モソソナ日ダツタノダガ、ドウモ心バカリ  
気持ガヨクテモ、何ダカ体が重クテ出ナカッタ。下ノ水溜ニ行ツテ、ジャブへト洗濯



デモシタラ直ルカモ知レナイト思ツタガ、何ウシタノカ、体ガ重クテ止メタ。午後、昼寝ヲシタ。一時間バカリ。ダガ起キタラ、チットモ汗ヲカイテ居ナイデ、体ノ節々ガイタンダ。デ午後モ出ナカッタ。何ウモ汗ガチットモ出ナイデ体ガ重イノデ、夕方体温器デ計ツタラ八〇度五分アル。夜ハ、今日コソ高崎氏ヲ訪ネルツモリダツタガ止メテ、ダラへシテ居ル。明日ハ朝カラサッパリスルヨウニ！

### 五日

ドウモ体ノ具合ガヨクナイ。朝カラ晩マデ毛布ニクルマツテ、ゴロへシテシマフ。夜、杉浦君ガ来、浜武君ガ来ル。ココデハ珍ラシイ静カナ曇日、早朝ハ暗イ雲ガ方々デ切レテ多少雨気ガアツタガ、チキニ灰色ノ雲ガ一面ニトザシテ風一ツ揺レナイ。バナナモ佛桑華モクカウモタピオカモ、高イ高イ椰子モ檳榔樹モ、マルデ造リツケタ様ニヂットシテ——向クノ道ヲ通ル人サへ少ナイ。何ウシタノカ、何カラ何迄ガ只ヒツソリトシテ、何か水ノ底ニデモ沈ンデ了ツタ様ニ寂シク落チツイテキル。起キテ居ルト、肌ガサ

ラへシテ少シモ汗が出ナイ。コレハイケナイニチガヒナイ。デ私ハ朝飯ガ済ムト、直キニ毛布ヲカブツテ寝ル。体ガイタイノデ、時々目ガ覚メルケレドモ、ウトウト実ニヨク寝ル。咽モ多少ハレテ居ル。中食後モ又ウツラへヨク眠ル。大工サンモ、今日ハ道二十時ニハ帰ツテクレタ。浜武君ハ十一時迄居タケレド。

寫民カラ、クカウトクルーム。

〔欄外に記す〕  
〔バラオ漫語。〕

拓植科〔欄外に記す〕  
イツカ□□□〔拓植課〕ノS氏ガ本寫(ダバルダオ)ニ出張サレル時、一緒ニツレテ行ツテ頂イタ時ダツタ。十一時□頃ニナツテ、南貿ノ波止場カラ二人デカヌーニ乗ツテ——日本語ノ解ラナイ年トツタ土人ガ、二人デカヌーノ前後ニ立ツテ竿ヲサシテ行ク。モ一人小サナ子供ガ一人。イイ天気デ、カヌーノ真中ニ荷物ト一緒ニ乗セラレタ二人ハ、真上カラ日ヲ浴ビテ了フノデ、S氏ガ蝙蝠傘ヲヒロゲテクレタ。ソレカラ水ガ深クナツテ水道ニカカルト、前後ノ土人達ハ腰ヲ下シテ、櫂デモツテ静カナ水ヲ規則正シク掻キ出シタ。アルミヅ〔欄外に記す〕〔前ノオゴロングル水道〕水道ヲスケヨウトスル時ハ、細イ水道ヲ潮ガ渦ニナツテ流レルノデ、時々ザブント水ヲカブツタ。私達ハサシテ濡レル様ナコトハナカッタガ、カヌーノ中ニハ遠慮ナク水ガ入ツタ。スルト子供ガ、小サナ六ツ位ヒノ子供ガ、大變立派ナ——デハ□アルガ、子供ニハ扱ヒニクソウナ手水杓デ、水ガヨク出テモ出ナクテモカマハズニ、機□械ノ様ニ無雜作ニザブへ汲ミ出シタ。年寄達ハ、子供ガドノ位ヒクミ出シタカ、クミ出サナイカ、マルデ見テハヤラナイ。子供ハ子供デ、マダ沢山入ツテ居ルカ居ナイカ、ソナ事ニ頓着ナク、時々手ヲ休メテハ呑氣ソウニアタリヲナガメル。私ハカヌーニ乗ツタノガ、ソモへハジメテナノダ。ダガ土人達ハ、コンナ処ハ何十回何百回トナク通ツテ慣レキツテ居ルニチガヒナイ。私ハイクラカ気ニハナツタガ、土人達ヲ充分信用シテイイ氣ガシタ。ダガトウへS氏ガ前ノ土人ニ注意シタノデ、子供ニ換ツテジャクへ汲ミ出シタ。ソウコウシテ居ルウチニ、ヂキニ此ノ水流ヲ乗り越シテ、アイライノ端ニ来カカッタ。私ハ、トハ云へ此ノ間、新ラシク開ケル眺メヲ、瘦セタ蛸や其他ノ雜木ノ茂ツタ小サナ寫ヤ岩山ヤ、ミラツクシノ上ニ暇ソウニボンヤリトマツタ海鳥ヤ、深サニヨツテドンへ変ル海ノ色ヤ、ソレカラ遠ク水平線ノ

上ノ、忘レタモノヲ思ヒオコサセル様ナ空ト雲ノ色ト、アラユルモノヲソレカラソレヘト眺メマハシタ。私達ハ間モナクアイライニ上ツタ。

ココハ浅イマングローブヲ廣クヒライテ、リーフデ垣ヲツンデ舟ツキニシタ、立派ナ舟ツキダ。一軒ノ共同屋ノ



〔子供ガ使ッター木剥リヌキノ手杓〕



ヨウナ、寫民式デナイ家ガアルダケデ、村ハ見エナイ。スグニハスカケニ上リニナツテキテ、淡桃色ヲ帯ビタ大キナリーフヲ□キチント四角ニシテ、大キナ石段ヲ造ツテアル。其ノ両側ニハ、アマリ幅広クデハナイケレドモ、立派ナ椰子ガ沢山ナランデ居ル。私達ハ此ノ石段ヲ上ツテ村ニ入ツテユク。✓

## 六日

↘

デスガ、私ハコンナ事ヲクダ〜ト話スツモリハ全く無カッタノデス。私ハホンノ一寸シタ事ヲ思ヒ出シテ話シダシタノガ、トンデモナイ横道ニ行ツテシマッタノデス。

私達ハソレカラ旧、駐在所カ何かニツカハレタ空家ニ入りコンダノデスガ、ソコノ一週半ニ二週半程ノヴェランダニ、携帯用ノ寝台ヲ二ツヒロゲテ、早ク五時ニハ夕方ノ御飯ヲ食ベテシマツテ、蚊遣香ヲトモシテ、寝台ニネソベツテ無駄話ヲシテ居マシタ。五六間前ガ道ニナツテ居マシタガ、サッキカラ向フノ方デ草取りカ何かシテ居タ女達ガ、仕事ヲ止メテ一団ニナツテベチャ〜喋ツテ来マシタ。夕方ノ椰子ガサラ〜ト鳴ツテ、何処カデ山鳩ノ類ガシキリニ鳴イテ居マシタ。

フトS氏が私ノ方ニ向イテ、「若イ女ガ顎カラ振りマハシテ、オイト云フ奴ハ、何ウモ如何ニモオオイラシクテ、ナカ〜色ッポイネ。……ダガ、アノワト云フ奴ハ、何ウモ食ツテデモカカリソウデ、ツヤ消シダネ。」

オイト云フノハ、内地ノハイニ当ル言葉デスガ、成ル程、若イ女達が少シハナレテ大キナ声デ立話ナドシテ居ル時ニ、時々コノオオイヲ聞ク事ガアリマス。ソレハナカ〜色ッポイ感ジガシマス。オカシナモノデ、オイト云ヘバ、内地デハ親シイ間カ目下ノモノヲ指スコトニナツテ居マスカラ、ドンナニ猫撫デ声デオイトヤツテモ、決シテ斯ウ色ッポクハ行キマセン。□ソレガ一旦首肯ノ意味ニナルト、斯ウモ変ツタ表情ヲ持ツノデスカラ、一寸面白イデハアリマセンカ。ワト云フノハ、人ニ呼バレタリ、話シカケラレテ聞エナカッタ時ニ、「何ダ」「何か云ツタカ」位ヒニ聞キカヘス時ニ使ヒマスガ、コレハワトト永クヒク事ガナクテ、ワ! トツツパナス様ニ云フノデ、我々が聞クト人ヲ驚ロカシテデモキル様デ、決シテ優シイ受答ヘトハ思ヘマセン。

夕方、傍ノ大井戸デ水ヲ浴ビテ、其夜、私ハ本寫ノ第一夜ヲグッスリトヨクネムリマシタ。

---

身ガ折レル様ニ痛ンデ、寝テバカリモ居ラレナイ。頭モジーント重タイガ、引込ンデ居レバ益々元氣ガナクナルノデ、朝ッパラカラア・イラオトヲ買ヒ乍ライブグル迄出カケル。イラオトヲ買ツテ帰ツテクルト、チャムロノ家ノ前デ子供達ガテンデニ白イモノヲ手ニシテ、パリ〜カヂツテ居ル。私ガ通りカカッタラ、「コンパニイ、コレ買ハナ



イ?」

〔欄外に記す〕  
〔椰子筍〕

見ルト径七八寸、長二尺モアル椰子筍ダ。私ハ此ノ椰子筍ハ是非一度食ベタイト思ッテ居タノダガ、如何ニモ大キイノデ考ヘタ。「イクラ?」「五十銭」安イ事ハ安イト思フ。此ノ椰子筍ト云フノハ、一本ノ若イ椰子ノ樹ヲ、根元カラポツリ切ッテシマフノダカラ、一寸手ニ入りニクイノダ。私ガ五十銭銀貨ヲ出シタラ、フランチェスカガ飛ンデ来テヒョイトモッテ行ツタ。フランチェスカノ弟ガ椰子筍ヲカツイデ家迄持ッテ来テクレタ。隣ニモッテ行ッテ三ツニ切ッテ貰フ。一ツハ娘達ガ生ノママバリへ食ベル。一ツハ煮テ食ベ、一ツハ残シテオク。筍ノヨウデ非常ニウマイモノダ。

午後、絵デモ画イテヤレト思ツタガ、暑イ日中ヲ写生ニ出カケルダケノ元氣ハトテモナイ。デ佛桑華ノ花ヲ二三輪トッテ来テ、家ノ中デカイテミル。画イテ居ルウチハ氣ニモナラナカッタガ、先ヅへト終ヘテミルト、頭ガワレル様ニ痛ンデ居ル。デ四時頃、毛布ヲカブッテ横ニナル。臉ガジント痛イノデ目ヲ□□伏セッテハ居ルガ、頭ガヅキへスルノデ本<sup>骨</sup>当ニハ寝ナイ。ソノウチニザワへト椰子ノ葉ガ□□鳴ッテ忽チ、トタン屋根ニドエライ<sup>ス</sup>スコールガザーツヤッテ来ル。風ニアフラレテソノ鳴ガザーツ、ザ、ザ、ザ、ザーツキレテハ続イタガ、最後ニ一キワ強クザーツ鳴ッテ、パツタリ止ンデシマフ。私ハ枕ノ上ニ目ヲネムリ乍ラ、ヅキヅキト□□痛ム頭ニ、其ノ音ヲクリカヘシテ感ズル。ザーツ、ザ、ザ、ザ、ザーツ。

ザーツ一キワ強クナッテパツタリ止ムト。ポント静カナ中ニ、頭ノ下ノ方デ血ガ、ド、ド、ドト聞エル。□□<sup>ス</sup>グニ過ギテ行ツタスコールハスグニ又アッチデヤッテ居ル。今度ハ其ノ空虚ノモーツ向フ側デ、ザーツ、ザ、ザ、ザ、ザーツ。

## 七日

具合ハドウモヨクナカッタガ、朝ノウチアラカマイノ方ヲ歩イテクル。午過ギスコールガ来ル。頭ガガンへ痛イ、熱ヲトッテ見タラ八度六分カラアル。デ三時、アセチールサルチール錠ヲ飲ンデ、毛布ヲ頸マデ被ッテ寝ル。四時、結構汗ガ出タノデ起キテ体ヲフイタガ、三十分バカリスルト、益々葉ガキイテ来タラシク、胃ノ腑ガムヅへスルノデ、又毛布ヲ二枚カブッテ横ニナル。汗ガ流レル様ニ出ル。アマリビッシヨリ濡レルト、□□拭イテハ又横ニナル。六時迄、出ルダケノ汗ヲ出シタラ、ズツト氣ガ軽クナツタ。夕方カラ夜ニカケテスコール三四回。夜ガ馬鹿ニ寒イノデ、十時ニハ早く床ニ入ル。

隣リカラ、昼ピルーム。夜、クカウト煮魚。

〔欄外に記す〕

〔●食 Klūūm. disūh〕

一昨日鷲民カラ貰ツタ Klūūm。此ノクルームト云フノ<sup>ハ一度タイタタビオカラ肉ヒキ</sup>□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□  
<sup>デヒイテソレヲ</sup>□□□□□□□□<sup>ク</sup>クリソウスヲコプラノ汁(シ<sup>△</sup>イス)デネッテ、適宜ノ大キサニ拵ヘ  
〔欄外に記す〕此<sup>レ</sup>ヲ<sup>焼</sup>クニ<sup>ハ</sup>  
□□□□□□□□<sup>ト</sup>広葉ニ包ミナベニ入レテ——水ヲ加ヘズニ下カラ焼クノデ □□

火<sup>デ</sup>□□外側ガウスク狐色ニ色ヅク程焼イタモノデ、香バシイ匂ヒガシテ、シ<sup>△</sup>イスデカスカナ味ガツイテ居テ、一寸風味ノアルモノダ。コプラ汁デネッテアルノデ、随分脂気が強イカラ好カナイ人ハ好カナイカモ知レナイガ、コンガリ焼イテアルノデ、サウ<sup>脂ッ</sup>□□□□ベタベタ、ヌルヌルト脂ッコクハナイ。

## 八日

何テ云フスキート・ホームダ。私ノ頭ガマダ心ノ方デシン〜トウツイテ居ルノニ、三浦君ガ昼間カラ夜マデ、<sup>横</sup>□コワレタヴァイオリンデ、猫ト蛙ト唐鐘トヲ一緒ニ鳴カセタヨウナ、齒ノ浮ク様ナ、胸ノ悪クナル様ナ音デ、ヤリキレナイ流行歌ヲ次カラ次ヘト、オーオー何テ得意ソウニ次カラ次ヘト引ク事ダ。時タマヴァイオリンガ止ムト、全クオ似合ヒナ夜店先生ノ様ナ、豚ガ三匹ト鸚鵡ガ三羽デ騒ギダシタ様ナ、アウト・オブ・チューンデイヤラシイ俗□謡ヲ歌ヒ出ス、オーオー何テ恍惚然タル！ソレカラ柔道ノオ講釈ニ、当身ノウケウリ、喧嘩ノ自慢ニ兵隊教練、ヨクモ、コウモ、私ノ苦手バカリ揃ヘタモノデハナイカ。一番イノガ演説□先生ノヨウナオ話！コレダカラ、私ノ頭ガチットモヨクナラナイノダ。

朝大変気分ガヨカッタノデ、椰子筍ヲモッテ平寫サンノ処ニユク。私ノ臉ガビリ〜重クテ、頭ガジーント痛イノハ、デング<sup>31)</sup>ノ由。デングガ今大変流行ル由。奥サンモ、漸クイクラカ楽ニナッタバカリトノ由。五島サンノ奥サンモヤッテ居ル由。デングハヒドククルト、足腰モ立タナイ様ニナル由。

卵ヲ頂イテ帰ル。

今日ハ私ノ体モ殆ド平日ハ、カハリガナイ程ニナッタ。マダ幾分咽ガ悪イノデ、食事が此ノ上ナクウマイト云フ処マデハ行カナイガ。マダ、何処カ頭ノ奥ノ方デチク〜スルノデ、サッパリト軽イ気分ニハナレナイガ。明日ハモウ完全ニ直ルダロウ。

午後驟雨。夜十時、猛雨。

## 九日 日曜

頭少シ重ケレド、具合大変ヨシ。朝、三浦君ガ前ノ寫民ト一緒ニ写真ヲトッテクレト云フノデ、寫民ノ家ニ行ッテ写真ヲトリ、暫ク遊ンデクル。

午後、三浦君トキサウルノ処ニ行ク。デランゲルルヤシボンヤ他ニ二三ノ女ガ行ッテゴロ〜シタリ、花ヲ引イタリシテ居ル。丁度、膠州ノ水兵サンガ一人来テ休ンデ居タノデ、ムゲルガ出タリ、バナナガ出タリ。

水兵サンガ帰ッテカラ暫クシテ、私ダケ先ニ帰ッテクル。ト前ノ家ニ何処カラトナク、ゾロ〜ト御馳走ガ運バレ、家ノ中ハ婆サン連デーパイニナリ、ソノウチニ例ノパラオノ古イ歌ガ繰リカヘシ繰リカヘシ歌ハレル。ソレカラ前ノ家ガ終ルト、又別ノ家ノ庭ニ

集ッテ大変ナ御馳走ガヒロゲラレ、ヤタラト人々ガ集ッテ、ガヤ〜シテ居ル。後デ聞イタラ、何デモキサウルノオ母サンノ病氣全快祝ダソーナ。

寫民ノ子供ガア・ウカルノ燃エル様ナ赤イ花ヲ沢山トツテ来タノデ、一枚モラッテ皿ニノセテ油デ絵ク。

夕方、ロバックガ来テワカラナイ言葉デ話ヲシテ居タラ、道ヲ行ク和服ヲ着タ爺サンガ、ウチノロバックヲ教会ニ誘ッタ。ロバックガ何か云フト、其ノ爺サンハ行ッテシマッタガ、其ノ爺サンガ行ッテ了フト、ロバックガ、「自分ノズボントシャツハボロ〜デ着ラレナイ、教会ニ行キタイカラ日本ノ着物ヲ借シテクレ」ト云フノデ、ヌキサシノ着物ヲキセテヤッテ、白イ木綿巾デ帯ヲシテヤッタラ、得意ニナッテ教会ニ出カケテ行ッタ。ガ、教会ハズキニ終ッテ帰ッテ来テ、着物ヲカヘシテ行ク。

私ハカバンカラ悪イ着物ヲ一枚出シテ、木綿巾ト一緒ニモッテ行ッテロバックニヤッタラ、ロバック先生、ビックリシテバスケノ中カラ古新聞ノ小サナ包ミヲ出シテ開キナガラ、コレヲトツテクレトソックリ出シテミセル。其処ニ八十錢ノ白銅バカリ三四十枚入ッテ居タ。私ガ、ソナモノハ要ラナイノダ、私ハコレヲ上ゲルノダト説明スルト、爺サンハ恐縮シテ丁寧ニ礼ヲ述べ、「コレカラコレヲ着テ教会ニ行ク」ト云フ。

若イモノ達ノ横着サト反対ニ、爺サンヤ婆サン達ハ、イヂラシイ程人ガイイ。

オ祝サワギノオ蔭デ、今日ハクカウト煮魚ト、クカウノ搦イタノト、デルールトムグールト、色ンナ御馳走ヲモッテ来テクレル。

夜、平寫サンノ処ニ行カウトシタラ、平寫サンハ丁度当直ノ日ダッタノデ、伊藤サンノ処ヲ訪ネルツモリデ街ニ出タ処、オバックニ逢ッテ、伊藤サンハ永田サンノ処ニ行ッタト聞キ、永田サンノ処ニ行ク。伊藤サンハ、サッキ食事ニ帰ッタトノ事、併シ又直キニ、写真ノ現像ニ来ルカラ上ッテ待チナサイトノ事ダッタノデ、上ッテ待ッテ居タガ、トウ〜伊藤サンハ見エナイデシマフ。スコールガヤッテ来、九時半頃迄話シコンデ帰ッテクル。帰ッテ来タラ十時頃ニナッテ、杉浦君ガ梅干ヲ一纏モッテ来テクレル。 Deng グノ後ハ、ブリカヘスト大事ダカラ水ヲノマナイ様ニ、ノドガカハイタラ梅酢ヲ舐メテ.... サモナケレバ、湯ノ中ニ梅ヲ入レテ少シ飲ム様ニト。キタナイ様ナ氣ガシテモ、風呂ヲアビナイ様ニト。一時前マデ、例ニヨッテ一人デ話シテ行ク。

十二時頃ニナッテ、三浦君ノ知ッテル寫民ガ、大キナ魚ヲモッテ来、四ツ置イテ行ッテクレル。三浦君ガ塩ヲスル序ニ、少シバカリ刺身ニ切ッテクレタノデ、醤油デ食ベタガ、新ラシイノデ実ニ甘カッタ。

## 十日

〔欄外に記す〕

[garato (アブリ魚), halat]

朝ノウチ、昨晚ノ魚ヲアブリ焼キニスル。例ノ竹棚ヲ低クオロシテ魚ヲノセ、其ノ上ニ大キナ檳榔樹ノ皮ヲカブセテ、下カラ火ヲ焚クノダ。一時間以上モタイテ立派ナアブ

り身が出来ル。罵民達ハマル半日モポツ〜燻ベテ、例ノコチ〜ノアブリ身ニスルノダガ、私達ハ長ク置クノデナイカラ、適宜ノ蒸セ方デ止メタ訳ダ。コウスルト只焼クノトチガッテ、身ガ引シマッテ大変イイ。

〔欄外に記す〕  
[A-molōr.]

昼スギゲルールガ呼ブノデ行ッたら、井ニ半分バカリモ白酒ノ様ナモノ——但シ、汁ヨリモザラ〜ノモノノ方ガ多イ——ヲ出シテ食ベテゴラント云フ。食ベテ□ミタガ、コブラノ強イ匂ヒガ——醜酔シタ様ナ強イ匂ヒガシテ、トツツキニクイ。汁ノ味ハ一寸酸味ガアッテ甘味ガアッテ、カルピスカ何カノ様ダガ、コブラノ粕ガカンデモ〜□口ニ残ルノト、臭ヒガ強イノデ、ナレナイモノニハトテモ余計ハ食ベラレナイ。ムロートト云フモノダソウデ、アリウスヲ例ノオゲスデ沢山カイテ水ヲ加ヘテ瓶ニ入レ、バナナノ葉カナニカラカブセテ一日二日置ク。スルト醜酔シテ酔ッパクナルノデ、食ベル時、適宜ニ砂糖ヲ入レテアマクスルノダソウダ。

「ウマイカ？」私ハ正直ニウマクナイト云フ。「汁ノ味ハイイノダケド、粕ガ口ノ中ニ残ッテネ。」ソシタルビールガ、ソシタ事ナイト云ハンバカリ、ゴラン！ト云ッテ、貝匙デーシャクヒシャクッテ、ペロット□タベテシマフ。併シ六ツ七ツノ小サイ子供デモドン〜食ベルノダカラ、匂ヒニサヘ慣レたら、案内食ベヤスイカモシレナイ。

夜、高崎氏訪問。帰ッテ来たら、郵便局ノ給仕ヲシテキル小サイ絵画サンガ来テ居テ、十時半頃□迄絵ヲ見タリシテユク。

十一日

曇。時々雨。

十二日

朝雨。チキ晴。チキ曇。晩マデ曇。

隣カラタピオカ。ビールム アブリ魚。

〔欄外に記す〕  
[パラウ漫語]

此ノ節ノ若イモノ達ハ、皆、古イパラウノ歌ヲ唄ヘルニシテモ、其ノ意味ヲ完全ニ知ルモノハ、絶無デアリマス。デ若イ者達ハ、モットヤサシイ言葉デ歌ヲ作ッテハ歌ッテ居マスガ、全然日本語ノ歌サヘ作ッテ歌ッテ居マス。

ソレカラ日本語トパラウノ言葉トヲ、チャンボンニ使ッテモ歌ヲ作ッテ居マス。此ノチャンボンノハ、コチラニ来テ居ルトラック人ヤ、ボナベ人ナドモ、シキリニ作ルラシ

ク、ソレヲモパラウノ人達ハ歌ヒマスガ、モトへ他寫ノ言葉ヲ解スル訳デハアリマセンカラ、意味ハ知ラナイモノノ方ガ多イノデス。此ノ種ノチャンボンノ歌ヤ、全然パラウ語ノ歌モ二三習ッテオボエマシタガ、何分ニモマダ言葉ガワカラズ、是ヲ聞キタダス機会モナイノデ、其等ニ就イテハ、又更メテ□書ク事ニシ、今日ハ全然日本語ノ歌——パラウノ土人達ガ作ッタ——ヲ二三書イテミマセウ。

○夜明前ニ

- |   |                      |                      |
|---|----------------------|----------------------|
| 1 | 夜明前ニ<br>起キルトミタラ      | アナタノ夢見テ<br>大変疲レタ     |
| 2 | アナタノ為ニ<br>大変疲レタ      | ワタシノ体<br>死ヌカモシリマセン   |
| 3 | 若シモ出来ルナラ<br>アナタノ処ニ   | 小鳥ニナツテ<br>時々トンデ行ク    |
| 4 | ドウシテモヒドイデス<br>昼晩ワタクシ | 色女ノ御恩<br>ネルコトガ出来マセン  |
| 5 | ワタシガ来タラ<br>一緒ニ奥サンニ   | アナタトアノ野郎<br>キマッテ居マシタ |
| 6 | 山ニ居タ時<br>毎日毎晩        | 風ガ吹イテ<br>泣イテ居マシタ     |

○別レタ時ノ

- |   |                     |                     |
|---|---------------------|---------------------|
| 1 | 別レタ時ノ<br>ドウシテ懐シイ    | 私ノ心ハ<br>アナタヲ忘レ《ン》   |
| 2 | 本当ニアナタハ<br>コレヨリ上ハ   | ワタシノ身ノ本<br>世界ニアリマセン |
| 3 | 今晚ハ何トイフ<br>コンナナツカシイ | 懐イ晩デセウ<br>時ハツヅキタイ   |
| 4 | 小屋ノ中ニテ<br>本当カ嘘カ     | 語りト話シハ<br>ソレデモヨロシイ  |
| 5 | 残シタ悲シイ<br>魚ニナルカ     | 私ノ心<br>小鳥ニナルカ       |
| 6 | 時々アナタヲ<br>私ノ着物ニ     | 逢ヒニスルノハ<br>残シタ匂ヒ    |
| 7 | 洗濯モシナイデ<br>大事ナ宝ハ    | 夜櫃ノ中ニ<br>タッタ是レダケ    |

## ○アナタガ一番

- |    |                     |                       |
|----|---------------------|-----------------------|
| 1  | アナタガ一番              | 好きデス                  |
| 2  | ケレドモ心ガ              | シラナイ                  |
| 3  | ワタクシガ               | カヘリタクテモ 心ガ残ル          |
| 4  | ソノ心ヲ                | 寝カセテクレヨ               |
| 5  | ダカラアナタト             | 別レ《ン》                 |
| 6  | 別レテモアナタヲ忘レズ         |                       |
| 7  | 忘レタ <sup>カ</sup> □ラ | 心ガ折レル                 |
| 8  | 折レタラ                | 体ガ瘦セル                 |
| 9  | 瘦セタラ                | 死ヌカモ知 <sup>ラ</sup> ナイ |
| 10 | 死ンダラ                | アナタノ為デス               |

## ○サーホイサ節

イヤダナ 村ヨニ<sup>ニ</sup> パラオノアイライハ  
 鰐ノトコロデ サーホイサ アドメイ取ル コリヤコリヤ  
〔欄外に記す〕  
アイライハ村ノ名 アドメイハ鰐ニ食ハレタ人ノ名]

椰子ノ葉カゲデ ナガムル月ハ

ユラレテユラレテ サーホイサ エ<sup>ニ</sup>ラバカリ コリヤコリヤ

知レマセンガ知りマセン、知レナイガ知ラナイ、村ヨネガ村ヨニ等多少ノ間違ヒハ無理モアリマセンガ、口語バカリヲ使ッテ——口語シカシラナイノデスガ——思ッタダケノ事ヲスラへト作ッテ居マス。

「別レタ時ノ」及「アナタガ一番」ノ中デ、括弧ノ中ニ入レタシハ入ルダロウト念ヲ押シタノデスガ、何ウシテモソソナモノハナイノダ、アナタハ日本ノ人ダカラパラウノ人ノ作ッタモノヲ知ラナイノダト云ッテ承知シナイノデス。ソレカラ「別レタ時ノ」ノ中ニ、語<sup>リ</sup>ト話シ、逢<sup>ヒ</sup>ニスルト云フ言葉ガ使ッテアリマスノハ、一寸面白イ感じガシマス。彼等ハ日本語ノ文法——乃至、語ノ構成ト云フ様ナモノヲ、片ッパシデモ知ッテキルノデハナイノデス。又、語<sup>リ</sup>ナドト云フ語ヲ、特別ニ<sup>教</sup>□オボエル機会モナケレバ、知ル筈モナイノデス。デスカラコレハ、物<sup>語</sup>リナド云フ言葉カラ導イタモノト思ヒマスガ、斯ウ云フ導キ方、乃至逢<sup>ヒ</sup>ニスル等ノ用キ方ヲスルニハ、謂レガナクテハナリマセン。何故ト云ッテ、是等ノ用法ハ、内地デハ現在デハ特別ナ語ニ残ッテ居ルダケデ、一般ニハ殆ド死ンデ居ル用法デス。然モズットへ以前、万葉集時代ニハカナリ自由ニ活用サレタ、正シイ日本語ダカラデス。デハソノ謂レト云フノハドンナ謂レカト云フニ、現在動詞ノ名詞的用法ハ、直訳文ナドニマツク使ハレテ居ルヨウナノガ多イデスガ、モ

ト是レハ、言葉ノ原形ダッタモノデス。ソシテ現在、動詞ト称シテ居ルノハ、此ノ名詞  
的ナ原形ガ活用サレル様ニナッテ生レテ来タモノデス。ソシテ、ソレデハ何故パラウノ  
土人輩ガ<sup>(四)</sup>偶然ソナナ用法ニタドリツイタカト云フニ、パラウノ言葉ガ、現ニソウシタ<sup>(辭)</sup>楷  
梯ニアルカラナノデス。實際パラウノ言葉ハ、現ニ動詞、名詞ト區別サレル様ナ分化□  
ニ達シテ居リマセン、今パラウ語ノ辞書ガカリニ出来ルトシタナラバ当然、所謂□動詞  
ハ其ノ名詞的ナ原形デ引カレナケレバナラナイト思ヒマス。例ヘバ「行ク」ト云フ□<sup>書</sup>字  
ヲ引クニハ、「行ク」デハ引カナイデ「行キ」デ引ク様ニ、其他スベテ「売り」「貫ビ」  
「引キ」ト云フ様ニ。

ツマリ逢<sup>●</sup>ビニスルト云フ様ナ用法ハ、彼等ガ自分達ノ言葉ノ觀念カラ、極メテ自然ニ、  
而モ偶然ニモ正シク導キ出シタモノデアルコトヲ知ルノデアリマス。

### 十三日

曇。午後雨ニナリ、晩マデ止マズ。三時頃、水上サンガ来テ、六時過ぎマデ話シテユ  
ク。

### 十四日

晴レタリ曇ツタリ。午後四時半、<sup>(支庁長)</sup>伏田氏訪問、帰ッテ居ラレズ、高松氏訪問、暫ラク  
話シテ辞シ、再ビ伏田氏訪問、話ハカバカシカラズ、書記□官ニ面談セヨトノ事。夕食  
後、平島サン一寸来ラレ、書記官ノ処ニ行クナラ、袴ヲツケテ行ケトノ事。平島サンカ  
ラ袴ヲ借りテユク。留守。高崎氏訪問、留守。伊藤サンノ処ニ寄ツタラ留守、帰ッテ来  
タラヂキニ伊藤サンガ見エル。一緒ニ寫民ノ家ヲ歩イテ、オガルヲ二枚手ニ入レル。一  
時就寝。

隣リカラタピオカ。

### 十五日

晴。公学校デ児童ノ作品展覧会ガアルト云フノデ、午後四時過ぎ出カケテ行ツタラ、  
向フカラ平島サンガニコへシテ来ラレ、□握手ダ握手ダト手ヲ差シノベラレルノデ、  
受取りナガラ、何デスト云ヘバ、握手デス、アナタハヂキニ辞令ヲ受取ルデセウトノ事、  
何ニモ知ラナクッタノデスカ、今日、伏田サンガ見エテ、アナタヲ<sup>(囁)</sup>属託ニ採用スルソウ  
デ、本庁務メニナルカ、支庁務メニナルカワカラナイガ、兎モ角、例ノ仕事ラシイ、ヤ  
ッテ貫フトノ事、有難イ。ソレニシテモ、昨日伏田サンニ逢ッテ居ルノニ、ソナナ話ハ  
ケブリニモナクッタノダガ。マァイイ、多分本当ダロウ。

展覧会ヲ見テ、バスニ夜上ル様ニ云ッテ帰ッテ来タラ、戸口ニ山鳩ガ二羽ツルサゲテ  
アル。足立サンガモッテ来テクレタノダ。早速料理、夕食後、平島サンノ所ニ行ッテバ  
ス。菅原サンノ子供ガ鼠ニカマレテ発熱シタトカデ、見舞ニ行クトノ事。奥サント三人

デー一緒ニ行ク。横山サント云フ人が夫妻デ見エテ居ラレ、十時半頃マデ話シテ帰ッテクル。

隣リカラタピオカ。一時過ぎ就寝。

#### 十六日 日曜日

昨晚遅ク、通りデ杉浦君ニ逢ッたら、「明日ハ朝カラ行キマスカラ」トノ事ダッタ。ア・イブクルノ爺サンヲ写真ニトルノガ目的、私ハアラカマイノ焼物ヲスル婆サン<sup>32)</sup>ヲ訪ネルノガ目的ダッタノダ。

九時半頃ダッタ。杉浦君ガ写真屋サンヲツレテ来タ。三人デア・イブクルニ出カケ、爺サンヲ一人、前横カラ写真ヲトッテ貰ヒ、アッタオマデオリテ寫民ノ家ニ上リコミ、クカウヲーツツツマム。引返シテアラカマイニ行キ、手前ノ寫民ノ家ニ行ッテ、バナナヲ馳走ニナリナガラ、ディランラッカ婆サンノ所ヲ聞イタラ、スグ下ノ家ダト云フノデ、皆デ行ッテミル。

ディランラッカ婆サンハ、折ヨク家ニ居タ。焼イタモノハーツモナカッタガ、土鍋ガ一ツニツ造ッテカハカシテアッタ。婆サンハポツ〜説明スル。

〔欄外に記す〕  
[バラウ焼。]

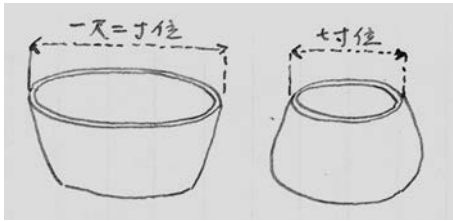
土ハコロールニハナイガ、本島ニハ沢山アル。アイライノコイグルニアル。ガスパンニモ、ガラスマオニモ、アコールニモアルガ、コイグルノガー一番イイ。コイグルデハ一寸ホルト、真赤ナ土ガ一カワアル、ソレヲモ少シホルト、真白イ粘土ガアル。コレガイイ。

コレハ極メテ目ノ細イ粘土ナノデ、焼土ヲ造ルニハ、コレニ砂土ヲマゼル。砂ハアンマリ細カイノデハナクテ、モロイ石ヤ焼物ノ破片ヲクダイタモノダ。先ヅ粘土ヲネッテ置イテ、板ノ上ニ薄ク引キノバシ、一面ニ砂土ヲ撒イテ、一方カラ粘土ト共ニ巻キコンデネリ、二三度同ジ事ヲクリカヘシテ、適宜ナ砂土ヲマゼコム。婆サンハ金□盥ニ土ヲ入レ、水ヲ入レテ、モッテ来テミセル。暫クシテ土ガスツカリ水ヲ吸フト、余分ナ水流シテシマヒ——荒砂ハカナリ余計入ッテ居テ土ハ桃色ニナッテ居ル——タコノ葉ノアンペラ様ノモノニ、六七寸位ヒラーカタマリニシテナラベ、子供達ニ外ニ運バセテ乾ス。適宜ニ水ヲキル為ニ。

器物ノ形ヲツクルニハ——ロクロハ全然シラナイ——土ヲロープノ様ニノバシ、渦巻キ式ニ巻イテ行ッテ、内□外カラ押シツプシテ所用ノ形ニカタメル。<sup>〔要〕</sup>半乾キノ時ニ、木ノシャモジ様ノモノデ外側カラピシャ〜叩イテ、モ一度土ヲシメル。——コ□コデハ上釉ハナイカラ、斯ウシテシメナイト水ガモル恐レガアルノダ。ニツ出来テ居タナバハ上ノ様ナモノデ、□紋様ハ全然ツケテナカッタ。

サテ、焼キハ極メテ不完全ナモノデ、全然窯トイフモノヲ用キナイ、薪ヲ適宜ニツミアゲ、——上ノ様ナモノデ、縦横高一尺七八寸位ニ薪ヲツムラシイ——其ノ上ニ蔭ボシ





ニサレタ土器ヲチカニ置イテ——壺ニモ何ニモ入レズ、<sup>(台カ)</sup>段ニモ何ニモノセナイ——薪ニ火ヲツケル。土器ハ一度火ノ色ニ真赤ニ焼ケナケレバナラナイ。斯ンナ焼方ダカラ、薪ガ燃エテ灰ニナツテ行クニ従ツテ、土器ハ下ニ落チテクル訳ダガ、コ

ロゲ落チテ割レル様ナ事ハナイト云ツテ居ル。兎モ角、焼キハ一度是非見タイモノダト思フ。見テミタラ、説明ト何処カチガフカモシレナイ。

今丁度土ガナイ。明日カヌーヲ出シテ、コイグルニ土ヲトラセニヤル。三四日ウチニ沢山モツテ帰ツテクル。ソシタラアナタモ来テ一緒ニ作ツテクレト婆サンハ云ツテ居ル。是非婆サント一緒ニ、何カ作ツテミタイモノダ。

一時頃、一ト先ツ帰ツテクル。杉浦君ト写真ヤサントガ、公学校ノ展覧会ニ行ツタ間ニ食事ヲスマセルト、伊藤サンガオバックヲツレテ来ル。ヂキニ杉浦君達モ帰ツテクル。伊藤サンガ帰ツテカラ、皆デ一寸足立サンノ処ニヨリ、写真ヤサンノ所ニヨツテ、杉浦君ガ飯ヲ食フノヲ待チ、二時半頃カラ、杉浦君ト三浦君ト三人デアラバケツニ行ク。モドロン爺サンヲ訪ネタガ留守。モ一人ノ、何トカ爺サンモ留守デ一寸アテガハヅレタガ、ガスパンガル爺サンヲ訪ネタラ家ニ居タノデ、上リコンデ休ム。此ノ爺サンハ大分ノ年ト見エテ、アイバドルハケケレ(小サイ)ダナドト云ツテ居ル。昔ハ余程強カッタラシク、白髪白髯ダガ、乳ノ辺ハ大キクタルミ、腕ナドハ皺ノ下ニコブノ様ナ肉ガ踊ツテ居ル。家ニハ子供達バカリデ誰モ居ナカッタノデ、爺サンガ自分デ五ツ六ツ<sup>(歳)</sup>橘柑ヲモイデ来テケレル。

岩山ノ「牛ノ絵」<sup>33)</sup>ヲ見ニ行カレナイカト云ツタラ、息子ガカヌーデマラカルニ行ツテ居ルノデカヌーガ無い、早く帰ツタラ行カウト云フ。暫ク休ンデ、アタオニオリテヤツノ連中ガ沢山居ルヲ見テ居タラ、カヌーガ一艘帰ツテ来タノデ、爺サンノ所ニ行ク。爺サンノ所ノカヌーデハナカッタガ、借りテツレテ行ツテケレルト云フノデ乗リコム。爺サンガ棹ヲサシ、カヒヲ操ツテ日暮前ノ静カナ海ヲ音モナクコイデユク。



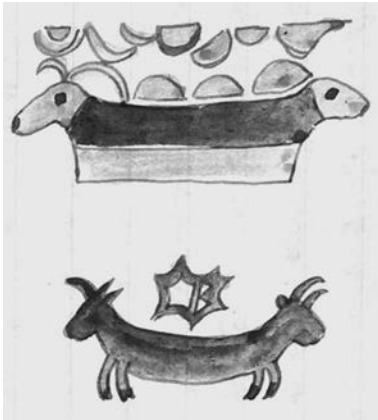
丁度マダライノ波止<sup>□</sup>場ノ向ヒノ所、岩山ノ一面ガ、ハゲテ見上ゲル様ナ高イ絶壁ニナツテ居ル。爺サンハ其ノ下ニカヌーヲツケテ、「アスコダ」ト云フノデ、皆一斉ニ見上ゲルガワカラナイ。

アスコダ、アスコダト云ハレテ見ルト、ナル程アツタ。大キナ岩ニヤツト二尺程ノ小サナ絵ダツタ。

バットノ箱ノ裏ニスケッチシテ来ル。

但シ、遠クテ幾分不確ナ所ガアルノハ残念ダガ、大体ニ於テハハッキリ見エル。灰青白イ岩ニカヌー赤デ、鹿ノヨウナ動物ガカラレテ居ル。上図ノ如ク、右手ノ方ハアイニク小サナ木ガ芽生エテ居ルノデ、シッカリワカラナイガ、ドウモ尾ノ様ニハ思ヘナイ、多分頭ガニツアルノダロウ。

私ハコレヲ見タ時ニ、スグニアバイノ絵ノーツヲ思ヒダシテ居タノダ。ソレハ次ノ様ナ図ガラデアル。



共ニコロールノアバイニアルノダガ、上ノハ北側ノニ、下ノハ南側ノ建物ノ中ニアル。私ハコノ三ツノ絵ニハ、確ニ何等カノ関係ガアルト思ッタノデ、晩ニアイバドルガ遊ビニ来タ時ニ、上ノ絵ヲ示シテ何デアルカラ問ウタノデアルガ、アイバドルハ、コレハ外国ノ動物デアッテ、パラオノモノデハナイト云フノダ。私ハアイバドルハ知ラナイノダト思フ。此等ノ絵ノ伝統ノ源ハ、確カニ信仰的ナ、或ハ神話的ナーツノ系統ノモノニ属スルモノニ違ヒナイ。

長谷部<sup>(前)</sup>玄人博士ハ、「サイパン・ティニアン両島ノ遺物及ビ遺跡」ノ中デ、「アルコロンノ石柱列ガ現住民祖先ノ所遺ナルコトハ、パラウ各地ニ存シ、崇敬サルル類ノ人面石像ヲ伴フヲ以テモ容易ニ推測シ得ラルルノデアアル」ト云ツテ居ラレル。私ハ此ノ簡單ナ断定ニハ一寸承服シカネルガ、長谷部博士ノ云ハルル如ク人面像ガ、石柱列民族カラ現住民族ニ真直グニツヅクトスレバ、<sup>此</sup>□□是等ノ両頭角獸ノ伝統ハ、石柱列民族ニ迄サカノボル事ガ出来ルノカモ知レナイト思フノダガ。コレハアルミス<sup>△</sup>ウノ絵及ビマラルノ石柱列等ヲ見タ上デ、再考スル事ニスル。

兔モ角、ガスパンガル爺サンノ伝承ニ依ルト、昔神様ガ是等ノ岩山ニ住ッテ、人間ニ種々ノ事ヲ教ヘ導イテ居タガ、人間ガ神様ノ云フ事ヲキカナイノデ、神様ハ何処カヘ去ッテシマッタ。ソシテ是等ノ岩山ノ絵ヤアウロンノ洞穴ニ残ル絵ハ、其等ノ神様ガ残シテ去ッタモノデアルト。ガスパンガル爺サンガ生レル前カラ此ノ絵ハアッタノデ、爺サンハ子供ノ時カラ見テシッテ居ルトノ事。

牛ノ絵ノアル所ハ今デハ一寸上レナイガ、其ノ前ノ処ニ大キナ岩ガ海ノ中ニワレテ落チテ居ルノデ、コレモ爺サンガ生レル前ニ落チタモノカ何ウカラタダシタ処、コレハ爺サンガ小サイ時ニハ絶壁ニツイテ居タモノデ、後ニ落チタモノダソウダカラ、モトハ何ウニカ登ッテ行ケタノカモ知レナイ。

夕方帰ッテ来テカラ、晩ニ試験所ノ向フニ、酒肴ヲモツテ月見ニ行カウト云フノデ、待ッテ居タガ、七時半頃杉浦君ガ一人デ酒ヲ一本サゲテ来テ、月ガマダ若イノデヤメニシタト云フ。今アイバトルノ処ニヨツテ来タガ、ヂキニ遊ビニクルダロウト云フ。ヂキ

ニアイバドルトアイバドルノ処ニ遊ビニ来テ居ルアルモノゲイノルバクトガ遊ビニ来ル。酒ヲススメ、貝ノ吸物ヲツクツテ馳走シナガラ話ヲ聞ク。ソノウチニ隣ノロバックモ帰ツテ来タノデ呼ンデヤツタラ、何処カデ既ニ一杯ヤツテ来タト見エテ、イキナリ酒ヲガブヘ□飲ンデ、一人デ気焔ヲ上ゲテ帰ツテ行ク。

隣リロバックハ彫物が出来ルソウデ、何デモ彫レルナンテ大キナ事ヲ云ツテ居タガ、彫刻ニハア・□カドゥブソングルト云フ木、及ビア・リュート云フ木ガイイト云ツテ居タ。

〔欄外に記す〕  
[A-Kadbsongr. A-Ryū.]

〔欄外に記す〕  
[アイバドルノ話。]

バラウニハ、大キイ神様ト小サイ神様トガアツタノデ。<sup>〔ママ〕</sup>大サイ神様ノ方ハ人間ニハ決シテ悪い事ヲシナイガ、小サイ神様ノ方ハ色々な形デ直接人間ヲ殺シタリスル……デ〔註〕或ル人ヘノ咀ヒナドハ、此ノ小サイ神様ニ祈ルト、其ノ人ノ魂ガ此ノ小サイ神様ニノリウツツテ、相手ノモノヲ死ニ至ラセタリ、病ニカカラセタリスル。大キイ神様ハ村全体ノ仕事トカ、漁トカ云フ大キナ事ニダケ関係スルノデ、個人的ナ小事ニハ関□スル事ガナイ。

大神ハ六ツアツテ、次ノ処々ニ各次ノ様ナ神ガアツタ。

(地名) ペリリウ——(神名) アコードル

アイライ————ムデキーペラウ

アルコロン————エライドゥマイ

ガラスマオ————サカラプユク

ガシュール————オバック・ア・ラ・ムクー

ガスパン————ムデキーペラウ

(アイライトガスパントハ全ジ神デアル)

ペリリウノアコードルハヨソカラ来タノデアツテ、イグノル<sup>〇〇</sup>罵ニ着イテペリリウヲ征服シ、ガルドゥローコト云フ処ニ住ンダ。

●バラウノ俗信デハ、カヌーノ長サハ幾尋カト手頸迄、或ハ手ノ平ノ折目迄ヲ以テ運ガイイトスル。家ニアツテハ、魚トチガツテ死ナレテハ困ルノデ、反対ニ是等ノ節々ニ外レルモノヲ以テ運ガイイトスル。

十七日

午前雨、午後霽レル。但雲多シ。

## 十八日

晴。午後四時半頃、高崎氏ヲ訪問、留守、帰ッテ来たら途中で逢ヒ、道デオ話シテクル。

三浦君ハ明日ヨリ試験所ニ出ル由。

夜、ダン〜月ガヨクナル。平寫サンガ訪ネテクル。

## 十九日

晴。午前、午後一回ヅツ小雨、夜三四回驟雨。伊藤サン、高橋サンカラタノマレタオガルノ絵ガ気ニナツテ仕方ガナイノデ、絵具ヲ引張り出シテ画ク。

夕方、書記官ヲ訪問シヨウト思ッテ出カケヨウトシたら、支庁カラボーイガ来テ、明日支庁ヘ来ルヨウトノ事、有難イ、イヨ〜来タ。

書記官ノ所ヲ訪ネ、三十分バカラシテ帰ッテクル。<sup>〔ママ〕</sup>

夜、平寫サンヲ寄宿舎ニ訪ネ、後平島サンノ家ニバスニ行ク。

## 二十日

朝、支庁ヘ行キ、沼田氏ニ面会、<sup>〔伏田〕</sup>支庁長ニ面会、マダ何一ツ確リシナイケレドモ、兎モ角、学校所在地ヲ二三ヶ月ヅツ講習シテユク事ニ決定。

午後三時半頃、公学校ニ行ッテ校長ニ面会、平寫サンニ種々相談。五時頃帰ル。ト杉浦君ガ来テクル。来テ貰フ様ニ頼ンデ置イタノダ、講習用具ニツイテ相談。

七時過ぎ、三浦君ガスツカリ酔バラツテ、ヤタラト御馳走ヲモツテクル。蟹ノ煮タノ、タピオカ、卵、シャコ貝ノ酢醤油、バナナ。皆デ飽盛<sup>〔海〕</sup>ヲノム。久々デ悪イ酒ヲウント飲ンダノデ吐イテシマフ。月ガイイノデ、縁ニ出テ長イコト話シテ居ル。二時頃ニナツテ、杉浦君ハ鼻唄ヲ唄ヒナガラ帰ッテ行ク。

●杉浦大工サンノ話。私ハ此処ノ彫刻（アバイナドノ）ハ専門ニヤルモノガ居タモノカ、好キナモノガ勝手ニヤッタモノカニ就イテ、杉浦君ニタダシテミタ処、次ノ様ニナツテ居タソウデアル。

<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
〔舟大工、屋大工、堂宮師〕

ソレハ、斯ウイフ未開ナ所デアルカラ、平素日常ノ仕事、海ニ出テピスカンヲナ□ゲタリ貝ヲトツテ来タリル事ハ、同ジ様ニヤツテモ、大工ノ様ナ仕事ハ、ヤハリ専門<sup>〔門〕</sup>ノ人間ガ居タ。而モ内地ノ舟大工、屋大工、堂宮師ノ様ニ、全ジ大工ノ中デモハッキリ別カレテ居タ。

勿論ソレハ<sup>〔棟〕</sup>頭梁ノ事デ、斯ンナ共産ノナ処デアルカラ、一人ノモノガ家デモ建テルトナルト、親戚縁者ハ勿論、村ノモノ達ガ何人トナク集ッテ仕事ヲタスケ、アバイノ如キ公共的ノモノハ、村中総出デヤッタ事デアル。

此ノ大工等ハ併シ、代々相継イダ訳デハナイノデ、師匠弟子ノ関係デ相譲ラレタモノ  
モノダソウダ。

〔欄外に記す〕  
[ビスカン流派]

師匠弟子ト云ヘバ、ビスカンニシテモ、内地ノ弓術トカ槍術トカ云フ様ニ、師匠ニツ  
イテ習ヒ、金ヲ払ッテ教ヲ受ケタモノダソウデ、トコロニ依ッテ、姿勢ヤ構ヘニ幾分ノ  
差ガアッタモノデ、例ヘバ昔ノモノハ、ピスカンヲツナゲルニシテモ、アレハカヤ  
ンガルノ型ダトカ、何処其処流ダトカ、ヤカマシク見ツケタモノダソウデアル。

〔欄外に記す〕  
[オガルノ大キサ。]

コレハ別ノ話ダガ、今ノ人達ハ知ラナイモノガ多イガ、モトハ此ノオガルノ大キサニ  
ヨッテ、家々ノ格ガワカッタモノダソウダ。何故ト云フニ、例ヘバ、アイバドルニハド  
ノ大キサノ皿デナケレバ出ス事ガ出来ナイ、又エラゲラウ□ノ前ニハ、ドノ大キサノ皿  
デナケレバ出セナイモノトキマッテ居タモノデ、ソレト同時ニ例ヘバアイバドルノ処ニ  
魚ナドヲ直接モッテ行クコトノ出来ルモノハ、ドンナ格ノ家デナケレバナラナイトキマ  
ッテ居タ。ダカラ何か祝事ナドガアッテ、アイバドルノ処ニ馳走ヲ運ブ事ニナルト、其  
レヲ持ッテユク資格ノアル家デハ、又下ノ家々ニ云ヒツケテ、馳走等ヲ自分ノ処マデ出  
サセ□ル。ソシテ、此ノ資格ノアル家カラ更メテ、アイバドルノ□□前ニ<sup>家ニ</sup>出ス事ノ出来  
ル皿ニ盛リカヘテ、此ノ家カラアイバドルノ家ニモッテ行クト云フ様ナ順序ヲフンダモ  
ノダソウダ。ツマリ、大キナ型ノオガルヲ揃ヘテ持ッテ居ル家ハ、ソレダケノ資格ノア  
ル家ノノデ、小サナ皿バカリシカナ家ハ、又ソレダケシカ家ノ資格ガナイコトニナル  
ノダ。

サウ云ハレルト、方々ノ寫民ノ家ニ行ッテ見テモ、大体ニ於テオガルノ大キサガ揃ッ  
テ居ル。隣リノ寫民ノ家デオガルヲ貰フノデ、全部引張り出シテ見タガ、各種ノ型トカ  
大キサトカラ撰ブ事ガ出来ナイデ、大キナオガルガ一枚ト、アトハ殆ド全部其ノ次ノ型  
ノ相□<sup>応</sup>当ノ大皿バカリシカナカッタ。先夜、伊藤サン□ニサガシテアゲタ時、或ル家カ  
ラ二枚手ニ入レタガ、更ニ小サイ型デ、二枚トモ殆ド同ジ大キサノモノダッタ。

〔欄外に記す〕  
[岩山檳榔樹 ビスカンノ先。]

岩山ニ行クト、此ノ辺デハ見ラレナイ、中ノ真黒ナ極メテ堅イ檳榔樹ガアル。昔、鉄  
ノ入ラナカッタ頃ニハ、此ノ檳榔樹ノ木デビスカンノ先ヲ造ッタモノダソウデ、コレヲ  
矢形ニケヅリトガラセテ、椰子油ヲツケテハ火ニアブッテ油ヲシミコマセテ、更ニ海水  
ニ対スル耐久力ヲツクッテ用キタモノダ。スバラシク堅クテ沢ノ出ルモノダカラ、一寸  
シタ彫リデモ入レテ筆立テニデモ仕立テタラ立派ナモノダロウト云ッテ居タ。

〔欄外に記す〕  
[リーフ彫刻。]

ソレカラリーフハ、生ノウチハ柔カデ樂ニハヅレ、一月モシテ乾クトカチン〜ニ堅  
クナルモノダカラ、アレニ彫刻ヲシタラドウダロウトモ云ッテ居タ。ヤッテミナクテハ  
ワカラナイガ、彫刻モイダロウシ、アノ半球形ノヤツヲ中ヲエグッテ其ノ儘菓子器、

盛鉢ナドニ仕立テル事が出来たら、キット面白イモノガ出来ルダロウ。私ハカボクドノ  
 アタオデ、リーフデ人面像ヲ□刻ンダモノヲ見テスケッチシテ置イタガ、内地ノ□縞ノ  
 入ッタウスギタナイ大理石ナドデヤルヨリモ一層、見気がキイテ居リ、味ノアルモノニハ  
 モッテ来イダロウ。一度是非ヤッテ□ミタイモノダ。

〔欄外に記す〕  
 [人魚ノ骨]

ソレカラ、人魚ノ骨ハ□□<sup>頸ノ</sup>寫民ハ例ノ手頸飾ニスル為ニ、頸ノ処ノ骨ヲ一ツトッテ、  
 アトハ捨テルガ、コノ人魚ノ骨ハ割合ニ柔カクテ彫物ニ適當ダシ、磨クト象牙ノ様ナ沢  
 モ出ルカラ、小サナ細工物ヤ、印形ナドニ□□スルト、立派ナモノダトモ云ッテ居タ。  
 コレハ既ニ前ニ杉浦君ガヤッテ、内地ニモッテ帰ッテ、皆ニ大変喜バレタト云フカラ、  
 是非モノニスベキダ。

## 二十一日

晴。昼前、支庁ニ行キ□石井氏ニ面会、東京ニ注文スベキモノヲ出シテ来ル。

夜、平寫サンノ処ニ行ク。

スバラシイ十五夜

## 二十二日

晴、午後雨。日暮晴。

午後、雨ニナッタノデ手紙書キ、

夕刻、買物ナガラ町ニ出、杉浦君ノ処ニヨル。月ガイイノデ、一緒ニブラへ歩キ、  
 春光館ノ前デビールヲノデ又ブラへ。家ニ来、縁側デ月ヲ見ナガラ、十二時半迄話  
 シテ居ル。

## 二十三日 日曜

朝九時半頃、アラカマイニディランラッカ婆サンヲ訪ネタガ留守デ、婆サンハアラバ  
ケツニ行ッテキル由。鍋ハマダ焼カナイ由、土ハマダ来ナイ由、張合ヌケテ帰り、十時  
 半頃、絵具箱ヲモッテ八号風景ノカンバスヲサゲテ、此ノ間行ッテ見テオイタアラカサ  
オニ行ク道ノ左手ノ山ノ上カラ、岩山ヲ見下シタ処ヲ画ク。シバラクシテ小サナ雨、止  
 ムト岩山ガ雨デ霞ンデシマフ。天気ハアヤシク曇ッテ来ル。急イデ仕上げ、十二時過ギ  
 帰ッテ来ル。夜、杉浦君ガ来ル。

## 二十四日

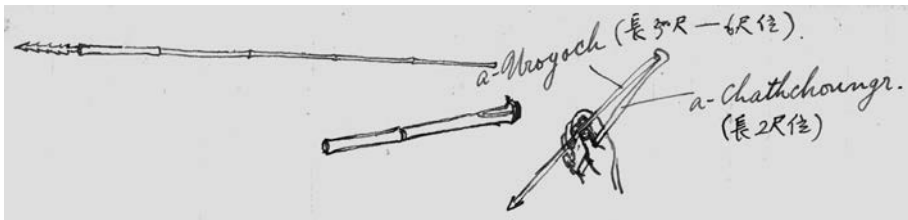
朝十時半頃、役所カラ使ガ来テ、支庁ニ行ク様トノ事、十一時半支庁ニ行ク。石井氏  
 ニ面会、二十一日附ニ辞令ガ出テ居ル。庶務ノ人々ニ紹介照会サレ、警務ノ人達ニ紹介モ照会サ  
 レル。官房ニ行ッタガ誰モ居ズ、十二時半頃帰ッテクル。

〔欄外に記す〕

〔発信 久頭 昌生叔父様 三沢寛〕

丁度支庁ニ行ッテ居タ時、丁度村長モ呼ンデアッタノデ、村長ニ青年団有志ヲ集メル様ニ云ヒツケル。石井係長ノ云ヒツケ方ガアマリ突然ナノデ、アマリブッキラ棒ナノデ、村長ノ返事ガアマリアッサリシテ居ルノデ、アマリ安受合ヒナノデ、モット親切ニ、お互ノ間ニ親切ガナクテハ駄目ダト思ッテ、杉浦君ニ晩ニ来テ貰フ様ニタノンデ置イタノデ来テクレル。一緒ニ村長ノ家ニ行ッタガ、アラバケツニ行ッテ留守ダッタノデ、□足立サンノ処ニ行ッテ、色々罵民ニ就イテノ意見ヲキキ、三人デ色々ニ考ヘテ見ル。杉浦君ニシテモ、足立サンニシテモ、十三年カラパラオニ居ル人達ダシ、ソレモコロールニトジコモツテ居タノデハナクテ、パラオ中ヲ股ニカケ、海デモ山デモキワメタ人達ダケニ、役所ノ人達ノ様ニ簡單ニ莫然トハシテ居ナイ。ナカへシッカリシテ居ルダケニ、ナカへ簡單ニハコレトキマラナイガ、兎モ角一々参考ニナル様ナ事ガ多い。

偶然□武器ノ話ガ出タガ、ココニ昔カラ「ナグルサ」(投箭)ガアッタソウダ。上図ノ様ニ投箭ガ別ニアッテ—ソレハ先ガカギナリニナッテ居ル、矢ヨリモ短イ棒デ、ソノカギナリニ矢<sup>箭</sup>□管ヲツガへ、図ノ様ニ箭ノ中程ヲモ一緒ニ握リ、振り上ゲテグントナゲル拍子ニ箭ノ方ダケヲ離スノデ、ナカへヨクトブモノダソウダ。✓



弓モアッタ。弓ハ話シデハ中形ラシク、土語デハバル□□ Barch ト云フ。〔<sup>〔欄外に記す〕</sup>バル

〔a-barch〕ハ矢ノ由、弓ハア・ウカル (Ukar)〕

〔欄外に記す〕

〔〔15・98ニアリ〕〕

## 二十五日

晴。八時、役所ニ出勤。九時過ぎ、一寸倉庫ニ道具ヲシラベニ行ッタキリ、十二時迄、持ッテ行ッタ本ヲ読ンデ居ル。役所ト云フ処ハ、馬鹿ニサワガシイ処ダ。四時間モ座ッテ居テ幾ラモ読メナイ。本モロクへヨメナイデ四時間座ッテ居ルト云フ事ハ、トンデモナクツライ事ダ。ダガ十二時ニハサッサトキリ上ゲテ帰ッテ来ルノダカラ、文句ハ云ヘナイ。

夜、杉浦君ガモドロ<sup>ン</sup>爺サンヲ連レテ来ル。ビールヲヌキ、鮭ノ罐詰ヲアケテ、ポツへ話ヲキク。



昨日書イタ投箭ハ、ウロヨコ (Öroyoko) ト云ヒ、投ヶ棒ノコトヲ<sup>ア フ コ ン コ ロ</sup>□□□□□□ (□<sup>A</sup>  
<sup>w a k o n k o r o</sup>□□□□□□□□) <sup>〔欄外に記す〕</sup> [a-Uroyoch a-Chathchongr カスコングル] ト云フソウ。

二十日ノ所ニ書イタヨウニ、ピスカンノ先ト全ジク此ノウロヨコノ先キモ、岩山ノ黒  
 イ檳榔樹ヲ用キタソウダ。ナカへトブラシク、私達ノ所カラアバイノ辺迄——三町ハ  
 タップリアルダロウ——□ハ飛ブト云ツテ居タ。□今度、一組造ツテ貰フ様ニタノンデ  
 置ク。モドロノ翁サンハ、若イ時三度迄戦争ニ出タ事ガアルト云フカラ、大分古イ。マ  
 ダ、斯ウ云フ翁サンガ居ル間ハ、ポツへトデモ昔ノ様子ガ聞ケル。ト全時ニ、此ノ翁  
 サン達ガ一人死ヌ度ニ古イパラオハ死ンデ行クノデ、遅クモ今年シテカラダツタラ、  
 古イパラウヲ知ル事ハ殆ド不可能ニモナルダロウ。

モドロノノ所ニ、スバラシイ古イオガルガアルソウ。普通ノオガルヲ男女各二人——  
 四人ノ人ガササエテ居ルモノダソウダガ、明日持ツテ来テケル由。スバラシク、嬉シ  
 ク、楽シイデハナイカ。今デハコンナモノハ、ソウ探シテ手ニ入ルモノデハナイ。



ソレカラ、バイニアル模様ノ中デ、図ノ様ナモノヲ知ッテ  
 ルカトキイタラ、ヨクシラナイガ兎モ角名前ハアラエル  
 (Allael) ト云ツテ、嘯ム事が大変ツヨク、走ルコトが大変  
 速イノダト聞イテ居ル<sup>〔ママ〕</sup>ト由。尚説明デハ、角ガ枝ノ様ニ生  
 エテ居ル□ケダモノダトモ云ツタガ、ソレデハ十六日ノ処ニ  
 書イテ置イタモノノ方ガ近クナツテケル。鹿ナラバ走ル事ハ  
 速イガ、嘯ム事ハ弱イダロウ。ソウスレバ、小サナモノデハアルガ、サイパンアタリニ  
 モ鹿ハ入ツテ居ルカラ、鹿ノ方ガ元デ、何カノ伝承ノ間違ヒカラ嘯ム事ガ強イト云フ□  
 □処カラ、コンナ獅子ノ様ニナツタモノカモ知レナイ。ソレトモコレハコレデ始メカラ  
 獅子ノ類デ、実物ヲ見ナイ処カラ、伝承ガゴツチャニナツタノカモ知レナイ。ココハ支  
 那ノアモイアタリトモ交渉ガアッタノダカラ、古ク誰カガ表南洋ノ方デ獅子ノ類ヲ見テ  
 来タカモ知レナイカラ。

<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
 [オガル 作者。]

ソレカラ、此ノ辺ハ狭イカラソンナ事モアルダロウト云ヘバ尤モダガ、オガルナドニ  
 モナカへ個人的ナ特□徴ガアッタモノデ、昔ノモノハオガルヲ見テ、コレハ何処ソコ  
 ノ誰ガ造ッタオガルダ、ナドト見ワケタト云フ話ヲ、足立サンヤ杉浦君ガ話シタ事ガア  
 ルノデ、私ガアルコロシカラモツテ来タオガルニ、底ガ縁ト全ジ様ニソツテ居テ、グラ  
 へト座リノ悪イノガアッタノデ見セタラ、オバックルビールノオヤヂガ見テ、コレハ  
アルコロシノ何トカ云フ人が彫ッタノデ、コノ底ノソツテ居ルノガ、アノ人ノ流儀ダト  
 云ツテ居タ。

ソレカラ、ボート・ハウスノ四隅ノ人形、アノ飾ノ形式ハ、□マニラカラ入ッタモノ  
 ダト、モドロノハ云ツテ居タ。(コレハアテニナラス)



## 二十六日

晴。晩、平寫サンノ処ニバスニ入りニ行ク。帰ツタラ、杉浦君トモドロ<sup>ン</sup>爺サント、伊藤サントガ来テ居ル。モドロ<sup>ン</sup>爺サンハ、昨日云ツテ居タスバラシイオガルヲ持ツテ来テクレタ。色ヅケガ出来上ツテ居ナイガ、立派ナモノデ、実ニウレシイ。

今日ハ何モ御馳走ガナカッタノデ、荷物ノ中カラ生蕃人形ダノ、ジャワ人形ダノ、朝(鮮カ)韓ノ天下大將軍ダノ、其ノ他生蕃ノパイプ、木題匙等見セテヤル。笑ツテハイケナイ。ソナモノガ御馳走ニナルカッテ？ 処ガ立派ニ御馳走ニナルノダ。此処バラオデハ、何モ礼ガナイ中ニハ、歌一ツ唄ツテヤツテモ、手品ヲ一ツ見セテモ——ソレコソハ立派ナ礼ノ心ナノダ。モドロ<sup>ン</sup>モサルモノダ。年寄ダケニ遠ニシッカリシテ居ル。況シテ彫物ヲシヨウト云フモドロ<sup>ン</sup>ダカラ、マルデ異ツタ「表現」ヲ見セラレテハ、考ヘズニハ居ラレナイノダ。帰ルマデ、アレヲ取りコレヲ取り、念ノ上ニモ念ヲ入レテ見テハ、冗談ヲ云ツタリ感心シタリシテ居ル。私ノ是等ノ人形ヲ、コレホド熱心ニ見テクレタノハ、実ニモドロ<sup>ン</sup>ガハジメタダ。多分人形達モ喜ンダダロウ。

## 二十七日

〔欄外に記す〕  
〔発信 江波知彰。〕

晴。三浦君ハ今日カラスコットノ家ニ行ク。  
夕方、高崎氏ヲ訪問、「クレーマー」ノ「パラウ」第三卷ヲオ借シテクル。  
夜、杉浦君来。二人デ「クレーマー」ノ本ヲ、タンネンニ挿画ヲヒロツテ見ル。

## 二十八日

毎晩、十二時半、一時ヲ過ギルノデ、幾ラカ寝ガ足りナイカシラ。今朝ハ七時迄モ知ラズニネテシマフ。八時、公学校ニ行ツテ校長ニ面談。九時頃役所ニ行ク。

校長サンカラ、今度ノ手工科外教授ニ就キ、明日子供達ヲアツメルカラ、何カ講演セトノ事、十時カラ一時間話ス事ニスル。

平寫サンニバス。夜、杉浦君来。

## 二十九日

晴、蒸々シテヒドク暑シ。

九時半頃ニテ役所カラ帰り。十一時ヨリ公学校ニ於テ講演。(本科三年、補習科一、二年、及木工養成所生徒) 今度ノ講習ノ教材トシテ何カーツト思ヒ、ブラキョスデ、アバイ模様ノツリ額ニトリカカル。夜、杉浦君来。大キナ画ガク紙ヲ持ツテ来テ、浮彫ノ下絵ニトリカカル。

一時半就寝。

## 三十日 日曜日

雲ッテ雨が降りソウデ降ラナクテ、蒸々ト暑イ、殆ド終日コツ〜彫物。夕方バラ〜雨。夜一寸邦人会ニ踊ヲ見ニ行ク。一時間バカリデチキ帰ッテ来ル。夜、杉浦君来。

## 七月

## 一日

雨。<sup>施</sup>□始政<sup>(記)</sup>紀念日。九時、役所デ式ノ始マル前ニ、各村長を集メ、挨拶。

十時、式。長官訓示。答辞。

十一時、昌南倶楽部ニ長官ノ<sup>宴</sup>□園遊会。模擬店。余興。

早く帰ルツモリダッタガ、<sup>(生)</sup>寫民踊ガアルト云フノデ待ッテ居ル。相憎ク最後ニ寫民踊ガ出ル。

ヤップノ連中ガ三十人バカリデ、棒踊各種ト手踊各種ヲヤル。

三時帰ル。杉浦クン来テヤッテ居ル。夕方、シヨウガクボウノ肉デ酒。

十一時迄コツコツヤル。十二時就寝。

三浦クンガ、アケアムノ実ヲモッテ来テクレル。

<sup>(欄外に記す)</sup>

〔食〕

## 二日

曇。蒸暑シ。

八時、役所。十時、学校ニ行き、十時半役所ニカヘリ、一時半学校ニ来、二時ヨリ——急ニ今日カラ学校デ生徒達ダケ先ニ始メル事ニナツクノデ——講習、道具モ何モ準備ガ整ハナイノデ、自分ノ道具ヲモッテ行ッテ道具ノ話ヲスル。三時帰り、浮彫ヲ仕上ゲ色ヲスル。

夜、<sup>(ママ)</sup>杉浦クル来。平寫サンガ大キナアバイノ絵ヲモッテ来ル。今日ハ早く十一時ニハ終ル。

## 三日

午後三時頃カラ夜ニカケテ三四回驟雨。公学校休ミ。

夜、平寫サンニバス。十二時半就寝。

## 四日

雨、何回トナク来ル。

午前役所、午後公学校。今日ハ、皆ニ砥石ヲスラセル。後、再ビ役所ニ行き、小川サント道具ヤ材料ヲ見ニ町ヲ歩ク。夕方、嵐ノヨウニナル。

## 五日

午後雨。

今日ヨリ一般希望者ノ講習ヲ開始。九時ヨリ十一時迄、公学校寄宿舎ヲ借りテ講習所ニ当テル。

昨日ノシケデ「アイミリキ」「アイライ」ノモノ集ラズ、「コロール」「メリル島」ノモノ合セテ八名出席、話シ。

支庁長見エ、後重ネテ講習ニ就イテ話サル。

午後、公学校、今日ハ鑿、切出ヲ<sup>紙</sup>研ガセル。

## 六日

雨一二回。

一般、研ギモノ。

公学校生、板ケヅリ。トラホームニテ病院ニ行クモノ多ク、出席者十四名。

晩、平寫サンニバス。杉浦君来。就寝一時半。

## 七日 日曜日

終日家ニ居テコツへ。写真屋サン来、昼飯ヲクツテ（杉浦君モ朝カラ来テ居ル）、三時頃帰り、晩再ビ来。

## 八日

〔欄外に記す〕

〔受信 久顕 上原寿造氏、荒居徳亮。〕

雨降ツタリ止ンダリ。

一般講習生ニ板ヲ渡ス、アンモイハザラへデ小サイ細工ニハイケナイ。

公学校生徒ボツへ出来タモノヲ出シテ来ル。

写真屋サン来、パラオノ地図ヲ借りニ。

杉浦君来。写真屋サン再ビ来、白イ土ヲ持ッテ。

小林少年来。十二時半就寝。

## 九日

終日雨降ツタリ止ンダリ。

夜、平寫サンニバス。写真屋サン来。

## 十日

雨。アイライノモノ四名来、ゴタへ

十一日

雨，降ッたり止ンダリ，

公学校，着色仕上げ，ア・リュウニテ丸彫ニカカルモノ三四名。

一般，ア・リュウニテ<sup>丸</sup>□一斉ニ丸彫。

十二日

朝ノウチ雨。午後，ドウニカ晴レル。

夜，写真屋サン来，杉浦サン来。

久<sup>〔為替〕</sup>頭ヨリ電報替為受取ル。

カリマレイガモッテ来タ木ハ，カツウイト云フ木ノ由，一寸削ッテ見タガ，ナカへ  
イイ。

白色顔料トシテ，パンノ実ノ汁トカメリヴト云フ木ノ汁トラ，ドウトカスル由？

〔木〕<sup>〔欄外に記す〕</sup> K a t t ū i Kaptūi (chattui)

白色塗料？ { Kauerid  
                  { パンノ実]

十三日

雨少シ。風嵐メク

一般，人形続キ，

子供達病院ニ行き，来ルモノ少シ。続キ。

夕方，オガルヲモッテ高松氏ノ処ニ行ク。

山城丸ノ船長，事務長，機カン長，ドクター，ト一緒に夕食ヲ御馳走ニナッテ八時帰  
ル。杉浦君来

十四日 日曜日

〔<sup>〔欄外に記す〕</sup> 発信 久頭，上原寿造氏，金子九平次氏，大橋慶龍氏]

朝迄降ッテ居タノガ，思ハセブリニ霽レル。

高崎氏が急ニ内地ニ引上ゲラレルノデ，「クレーマー」ノ本ヲ返シニ行き，村山サン夫  
妻モ帰ルノデー一寸ヨリ，今見氏ノ処ヘモヨッテクル。(山丸ガ明日タツ)<sup>〔城野〕</sup>

午後，数回一陣ノ風，<sup>味</sup>□気味ノ悪イ風ガ吹イテハ，瀧ノ様ナ雨が来ル。

ケ<sup>△</sup>ルールガアティーブト云フ木ノ実ヲ，ホンノ一切レ呉レル。一寸外見ハ梨ノ様ナ  
モノデ，実ハ真白デ，□リンゴノウレ過ギタ様ニ水気がナクテバサバサシテ居ルガ，リ  
ンゴヨリハジャガイモノフカシタ様ナ舌ザワリデ，味ハ極ウスイ。イラオトヲツケテ食  
ベルトウマイ。

〔<sup>〔欄外に記す〕</sup> パンノ実。]

晩ニハパンノ実ヲ焼イテ、アイデ搗イテ、ダンゴニシテモッテ来テクレル。少シネバリ気が□アツテジャガイモノ様ナ、ソレデ居テ独特ナ味ガスル。コレモイラオトヲツケテ食ベル。

#### 十五日

氣違ヒノ様ナ天気。雨ト風ト。

#### 十六日

久シブリニ霽レタガ、午後四時過ギカラ又雨。イヤニナル。

マダ明ルイウチニアイバドルガ来タガ、今日ハ杉浦君ガ来テ居ナクッタノデ、後デ来ルト云ツテ帰ツテ行ツタ。杉浦君ハ後デモ来ナクッタガ、アイバドルハ八時半頃ニナツテヤツテ来タ。上ラセテビールヲ飲マセテ、偕テ話ガ出来ナイノデイカン。ビールヲ飲ミナガラ、オ互ニ半分位ヒシカ分ラナイ会話ヲシテ、……………ソレデモ十時迄アイバドルハ遊ンデ行ツタ。

#### 十七日

僅カニ雨降りシノミニテ、ドウヤラ持ち越ス。但シ雲多ク、天候恢復ノ兆モナシ。夕方、平寫サンニバスニ行き、鶏鍋デビールヲ御馳走ニナル。杉浦君来ズ。

#### 十八日

久々ニ晴。晴レルト暑イ。夕方カラ夜ニカケテ、スコール三四回。夜遅ク月ヨシ。夕食後、支庁長ヲ訪問セシガ、 Deng ノ後トテ早寝サレシ由、空シク帰ル。杉浦君来、一時半就寝。

#### 十九日

朝ノウチ天気ヨク、午後、雷雨烈シ、其ノ儘夜迄雨ニナル。

#### 二十日

朝ノウチ曇リ、其後雨。モウ~~~~嘘デハナクテ、本当ニイヤニナル。晩、杉浦君来。ヒョッコリアイバドル来、一時半就寝。

#### 二十一日 日曜日 〔欄外に記す〕 [(五月十六日ノ記参照)]

朝カラ天気ガヨクナクッタガ、杉浦君ガ来テ、タイシタ事モナサソウダカラ、出カケヨウトノ事、天気ガヨクカッタラマラカルノ巨石ヲ見ニ行ク事ニシテ居タノダ。

十時頃、岸川サント大工サント私ト三人デ、山崎ノアッタオカラ舟ヲ出ス。大キナサ

ンパンニ小サナカヌーラーツツンデ出ル。出ヨウトスルト、ザット雨が降ッテ来タガ、マングロープヲ出ル頃ニハ止ンデシマフ。マングロープヲ出ルト、右手ニ本寫、左手ニアラカベサン、ソシテ遙カ前方ニ軍艦寫ガ..... イツモ見ル景色ダガ舟カラ見ルノハ、海ニ出テ見ルノハ、氣持ガイイ。潮ガ引キカケテ居ルノデ櫓ガ深くオロセナイノデ、前デ杉浦君ガ竿ヲサシ、後デ岸川サンガ櫓ヲコイデ行ク。西風デ向ヒノ上ニ櫓ガキカナイノデ、舟足ハヨク出ナイガ、急グ処デモナシ、曇ッテ居テ涼シイノデ苦ニモナラナイ。マダライノハナヲ廻ッテ岩山ノ間ヲヌケテ、真直ニマラカルニ向フ。南貿ノ倉庫ノ方ニハツケナイデ、右ニ廻ッテ植木サンノ処ニツケル。カレコレ十一時半ニモナツタロウ。山崎ノアッタオニハ、植木サンガア・イミリキカラモッテ来タ蠣ガ山ノ様ニアッタ。六寸カラ七八寸モアル大キナモノダツタガ、十程舟ニツンデモッテ来タ。ソレガ汁ニナツタ。鯛ノ鑑詰ト<sup>神</sup>福神漬トガ肴ニナツタ。ソシテ杉浦君ノモッテ来タ酒ガカンサレタ。二時半迄カカッテ、三人デ四合ノ壺ヲチビへアケタ。南京米ノ御飯が大変ウマクテ三杯タベタ。

杉浦君ガ先ニ使ッテ居タ台湾人——通称ヲスケト云フ——ガ来タ。

潮ガ満チナイト舟ガ出ナイノデ、ソレ迄ヲ杉浦君ト私トスケト三人デ、海岸ニ貝ヲトリニ行ッタ。西風ガゴーゴー呻ル様ニ吹き出シテ居タノデ、海ガニゴッテシマッテ、貝ハ思フ様ニ獲レナカッタ。三時半ニハ、カキヤジャコ貝ナドノ少シト、小サナ蟹三ツ四ツヲスケガ大事ソウニカカヘテ引上ゲタ。スケガソレヲ、バパイヤト一緒ニニハイ酢ニ料理シタ。四時ニソレデ食事ニナツタ。今度ハ話ノ<sup>実</sup>種ノヨウニマズカッタ。蟹ナドハ、甲ノママ半分ニブチキッテ入ッテ居タ。オ腹モソレホドスイテハ居ナカッタ。ダカラ尚更話ノ種ニハナル。

[<sup>(欄外に記す)</sup>オクイトコティッテル Obohobong]

四時半過ギニ潮ガ満チテ来テ、カヌーノ用意ガ出来タ。オツポコボン爺サンガ漕イデクレタ。オクイトコティッテル岩ハスグ向ヒニアッタ。来ル時、アイバドルノ話デハ、此ノ辺ダガ、ナドト云ッテ見タ処ダツタ。ハジメ出ル前ニオツポコボンニ聞イタ<sup>時ニ</sup>□□□ラ、オツポコボンハスグニ思ヒ出シテ<sup>行ッ</sup>□□□云ツタ。「ソレナラスグゴソニアル。一ツハ今モ立ッテ居ル。今一ハ半分食ッテシマッテ、半分ダケ残ッテ居ル。」ト。ソコデ思ヒ出スノハ、前記ノヨウニ(五月十六日)、マラカルノモノハ、食料ノ為ニ作ッタト云ハレル事ダ。ダガ、コノオクイトコティッテル岩ハ、アルコルノ列柱トハチガッテ、全然人工ノモノデハナイ。マダライノ向ヒノ「牛ノ絵」ノ下ガ、大キクカケテ海ニ落ちて居ルヨウニ、岩山カラカケテ落ちタモノダ。只形ガ大キナ柱カ何カノ様ニ縦長クデ、仆レズニ立ッテ居<sup>(ママ)</sup>ルダケダ。<sup>(ママ)</sup>ズク隣リ根本ニ今一ツモノハ、カケ仆レテ、海ノ水ニ半分位漬カッテ居ル。コレガ半分食ハレタヤツダ。オツポコボンモココデ、<sup>(ママ)</sup>□マラカルノ寫ヲ寫ゴトモッテ行ッテ、アリエルヲ封ジメ<sup>(ママ)</sup>コル計画ダツタノダト話□□ス。オツポコボンノ伝承ハアイバドルノト一々合ッテ居ルガ、「食料ノ為」ト「ガリエル征伐」トノ関

係ハ、矢張り依然トシテ解ラナイ。兎モ角、此ノオクイトコティッテル岩ハ遺物デハナイ。

マラカルカラマダライニ出ル間ノ岩山ハ、モト続イテ居タノヲ今ノ様ニ両側キリトツテ、モツテ行クツモリダツタ、ト、オツボコボンハ話ス。コレヲノ岩山ハ、一見モトハ続イテ居タモノト思ハレルカラ、此ノ変ナ伝説ハ、昔、何カ地震カナニカデ短時日ノウチニ、是等ノ岩ガ割レテ別レタ事ヲ物語ルモノデアラシイ。

マダライノ波止場カラ上ツテ、金井氏——<sup>〔新吉〕</sup>金井氏ハ今度支庁ズメニナツテ、コロールニ来ラレタ——ノ処ヲ訪ネタガ留守デ、帰ツテ来たら道デ金井氏ニ逢ツタ。近藤サンノ処ニヨツテ、ライスカレーデ四度目ノ食事ヲスマシ、湯ヲ浴ビ、植木サンノ話ヲキイテ九時半頃、杉浦君ト一緒ニ帰ツテクル。杉浦君寝テシマフ。夜中ニナツテ風雨烈シ。

植木サンノ話デハ、岩山ノ鍾乳洞ノ中ニ神様ノ祠ガアツテ、御霊代トシテアバイノ型ト舟ノ型トガ木デ作ラレテ居ル由。十数個アツタノヲ、植木サンガトツテ来テ、二ツハ長谷部博士ニ送り、二ツハ内地ニモツテ帰ツタ由。マダ不完全ナモノナラ残ツテ居ルダロートノ事。

## 二十二日

午後、雨風。

## 二十三日

朝迄雲ツテ居タガ、久々デ霽レテ、秋ノ様ナ風ガ吹イテ、青空カラ九月ノ様ナ白日ノ光ガ強ク照ル。有難カッタガ、夕方カラ又雨ニナリ、二時間程モ降ツタガ、暫ラクシテ止ング。先達カラ支庁長ノ所ヲ訪ネヨウト思ヒナガラ、雨風デ行ク気がシナカッタガ、今日ハ思ヒキツテ出カケ、講習ノ事、アバイノ絵ノコッピノ事ナド話シテ来ル。杉浦君来。十二時半就寝。

## 二十四日

曇。小雨。夜十時頃豪雨トナル。

晩、アイバドルガ子供ニバナナトパンノ実ノ煮タノヲ持タセテ遊ビニ来ル。

アイバドルニ岩山ノ神様ノ祠ヲキイテ貰ツタラ、ガヤンガスノ側ニア・イミーヤカト云フ岩山ガアツテ、其処ニ足ノナイ腰囊カラ上ノ人形ト、家人ノ神像ガ沢山アツタトノ由。コレハモト、アリエルブノ人間ガ信仰シタモノデ、アリエルブノ人間ハ、モト其処ニ居タ事ガアル由。

昔ハ人間モ余程多カッタラシク、現在無住ノ岩山ニモソレ<sup>へ</sup>人間ガ居タノデ、岩山ヲ些細ニ尋ネルナラ、人家ヤア・バイノ跡ガ沢山アルソーダ。マカラカルノウオク<sup>△</sup>ロ・オイク<sup>△</sup>ルト云フ処ナトバ、其ノ最タルモノノ由。

〔欄外に記す〕  
[A-imīyaka. Tūongro-oingr.]

## 二十五日

曇晴。日暮前ヨリ雨。

四時頃、学校カラ帰ッテ暫ラクシタラ、金井氏が訪ネテ見エタ。六時過ギマデ色々ト話シテ行カレル。

降り続イタ霖雨<sup>ナガアメ</sup>ノ後ノ  
 タッター一日ノ晴日  
 ソンナ惜シイヨウナ一日ガ過ギテ  
 暮方ニ来タ、ドット流スヨウナ驟雨が  
 ヤガテ又ショボ〜雨ニナッテ  
 トップリト暮レタ、イヤナ晩ダ  
 ショボ〜ト単調ナ雨ノ音ト  
 湿ッポイ蟲ノ声ノ連続ダ  
 止マナイ、止マナイ  
 雨ハショボ〜ト降ルシ  
 蟲ノ声ハ湿ッポク続イテ止マナイ  
 真黒ナ空ニ  
 椰子ノ木モ見エナイ闇ダ  
 窓ノ外ニバナナノ葉ガ  
 ミスボラシク裂ケテサガッテキル

アゝ、雨ガショボ〜ト降り  
 蟲ノ声ガ単調ニ続キ  
 寝ルニハマダ早イ  
 ハネッ返ス  
 □□□□□押シヤルコトモ出来ナイ悲シイ退屈ダ

## 二十六日

曇晴、午後パラ〜雨。夜遅ク叩キツケル様ナ大雨。

杉浦君来。浜武君来。

身体・魂



病魔  
呪・表象

〔1 頁白紙〕

- ✓ 寫人ノ消エ入りシ跡□椰子静カ
- ✓ 月ニ鳴ク梟ヤ椰子ノ向フ哉
- ✓ 椰子水ヲ頂イテ飲ム椰子ノ蔭
- ✓ 絵ニ画ケバ六ヶシキナリ椰子バナナ
- ✓ 佛桑華ノ花紅キ道ニ友逢ヒヌ
- ✓ 芋ノ葉ヲ組ンデ驟雨ニ立チニケリ
- ✓ ブラクノ葉ヲ組ンデカザセバ雨過ギヌ
- ✓ 淋シサノ山鳩鳴クヤ椰子暮ルル
- ✓ ランプ暗ク屋守シキリテ鳴ク夜哉
- ✓ 蜻蛉居テランプニ騒グ遅夜哉
- ✓ 今トリシ貝ヲ酔ニシテ貫ヒクル
- ✓ スコールヤ芋ノ葉迄ト子ノ□駈ケ行ク

〔1 頁白紙〕

TakaDekhi